

新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた、 地域における医療提供体制の強化のための研究

施設共通基本票

最大質問数は28問になります

＜ご回答される医療施設のご担当者さま＞

- 各都道府県における医療提供体制の確保を図るため、5 疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神疾患）・5 事業（救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療）＋在宅医療に係る指標の見直し、疾病・事業横断的な医療提供体制の構築等が盛り込まれた各都道府県の二次医療圏単位の医療計画が策定されています。医療計画については、平時、および今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のような感染症の流行下においても対応できる計画であることが期待されています。
- 一方で、今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行により、各地域で医療需要が増大する等、地域の医療提供体制に様々な影響がありました。今後も同様の状況が起こりうることが予想され、感染症の流行に地域で適切に対応することが必要です。
- そこで本厚生労働科学研究班は、5 事業（救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療）＋在宅医療における今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による影響を明らかにし、感染症の流行等における効率的な医療提供体制の方法を検討することを目的としています。
- 本調査のデータは、医療施設が識別される形で集計を行うことはありません。調査結果は、施設・個人が識別されない形にした上で、関係する国の検討会等に報告するとともに、学会発表、論文、研究報告書等として公表する予定です。なお、本研究は、千葉大学の倫理委員会の審査・承認を得て実施しています（承認日令和2年11月19日：承認番号3926）。
- 本調査結果は、国の検討会にも報告することを予定しており、今後の医療計画や医療提供体制の在り方について検討する上で資料として活用されることが期待されております。このような調査の趣旨を踏まえ、回答者様におかれましては、お忙しい中恐縮ですが、ぜひ、調査にご協力いただきますようお願いいたします。
- 本調査は、12月28日（月）までにご回答ください。
お問い合わせ先（「新型コロナウイルス感染症による医療計画への影響に係る調査」事務局）
メールアドレス：toiawase-kaken2020@intage.com
フリーダイヤル：0120-856-780
（受付時間：祝日を除く月～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00）

令和2年度厚生労働行政推進調査事業費補助金
（厚生労働科学特別研究事業）

(特に断りのない場合は、令和２年１１月１日現在の状況をお答えください。)

◎貴施設の概況についてお伺いします。貴施設の概況等についてご回答可能な事務部門の方等がご回答くださいますようお願いいたします。

◎貴施設についてお伺いします。

問１－１ 貴施設の開設主体に、最もあてはまるものをお答えください。

(回答はひとつ)

国

1. 国立大学法人

2. 国立大学法人以外の国立法人

公的医療機関

3. 都道府県

4. 市町村

5. 公立大学法人

6. 日赤

7. 済生会

8. 厚生連

9. 上記以外の公的医療機関

その他

10. 社会保険関係団体

11. 公益法人

12. 医療法人

13. 学校法人

14. 社会福祉法人

15. 医療生協

16. 株式会社

17. その他の法人

18. 個人

問1－2 貴施設の指定等として、あてはまるものすべてをお答えください。

(回答はいくつでも)

- | | |
|---|-------------------|
| 1. 特定感染症指定医療機関 | 2. 第1種感染症指定医療機関 |
| 3. 第2種感染症指定医療機関 | 4. 高度救命救急センター |
| 5. 三次救急指定医療機関 | 6. 二次救急医療施設 |
| 7. 救急告示医療機関 | 8. 災害拠点病院 |
| 9. 原子力災害拠点病院 | 10. へき地拠点病院 |
| 11. 総合周産期母子医療センター | 12. 地域周産期母子医療センター |
| 13. 小児中核病院 | 14. 小児地域医療センター |
| 15. 小児地域支援病院 | 16. 在宅療養支援病院 |
| 17. 在宅療養支援診療所 | |
| 18. 新型コロナウイルス感染症重点医療機関 | |
| 19. 新型コロナウイルス感染症協力医療機関(疑い患者を受け入れる病院) | |
| 20. その他新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者を受け入れる医療機関 | |
| 21. 帰国者接触者外来の設置 | |
| 22. 新型インフルエンザ患者入院医療機関 | |
| 23. あてはまるものはない | |

問１－３ 貴施設の標榜診療科に、あてはまるものすべてをお答えください。

(回答はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 一般内科 | 2. 消化器内科 |
| 3. 循環器内科 | 4. 呼吸器科内科 |
| 5. 血液内科 | 6. 内分泌代謝・糖尿病内科 |
| 7. 脳神経内科 | 8. 腎臓内科 |
| 9. 膠原病・リウマチ内科 | 10. その他内科(具体的に:) |
| 11. 一般外科 | 12. 消化器外科 |
| 13. 呼吸器外科 | 14. 心臓血管外科 |
| 15. 小児外科 | 16. 乳腺外科 |
| 17. その他外科(具体的に:) | 18. 皮膚科 |
| 19. 精神科 | 20. 整形外科 |
| 21. 産婦人科 | 22. 小児科 |
| 23. 新生児科 | 24. 眼科 |
| 25. 耳鼻咽喉科 | 26. 泌尿器科 |
| 27. 脳神経外科 | 28. 放射線科 |
| 29. 麻酔科 | 30. 病理 |
| 31. 臨床検査 | 32. 救急科 |
| 33. 形成外科 | 34. リハビリテーション科 |
| 35. 総合診療科 | 36. 歯科口腔外科 |
| 37. その他(具体的に:) | |

問2 貴施設の許可病床数をご記入ください。なお、一般病床については、そのうちの非稼働病床、並びに新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者受入のため整備した病床（医療法上の特例病床等）についてもご記入ください。

（回答は数字）

① 一般病床	①のうち			②療養病床	③精神科病床	④感染症病床	⑤結核病床
	非稼働病床	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者受入のため整備した病床（医療法上の特例病床等）	ICU				
床	床	床	床	床	床	床	床

※非稼働病床とは、1年間に1度も患者を入院させなかった病床を指します。

※ICUは特定集中治療室管理料の実績・救命救急入院料1、救命救急入院料2、救命救急入院料3、救命救急入院料4、特定集中治療室管理料1、特定集中治療室管理料2、特定集中治療室管理料3、特定集中治療室管理料4、総合周産期特定集中治療室管理料（母体・胎児）、総合周産期特定集中治療室管理料（新生児）、新生児特定集中治療室管理料1、新生児特定集中治療室管理料2、小児特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料1、ハイケアユニット入院医療管理料2、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、新生児治療回復室入院医療管理料のいずれかを算定する病床。

問3 貴施設の職員数（常勤換算※1）をご記入ください。

（回答は数字）

医師	看護職員※2	臨床工学技士	左記以外の医療職※3	その他の職員
人	人	人	人	人

※1. 非常勤職員の「常勤換算」は以下の方法で計算し、小数点第1位（小数点第2位を四捨五入）までご記入ください。

- 1週間に数回勤務の場合：（非常勤職員の1週間の勤務時間）÷（貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間）
- 1カ月に数回勤務の場合：（非常勤職員の1カ月の勤務時間）÷（貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間×4）

※2. 看護職とは、保健師、助産師、看護師、准看護師を指します。

※3. 歯科医師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、診療放射線技師、臨床検査技師等の医療系資格を有する者。

問4－1 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の検査体制について、貴施設内で PCR 検査の実施は可能ですか。あてはまるものをお答えください。

（回答はひとつ）

1. 可能 ⇒ 問4－2と問4－3を回答してください
2. 不可能 ⇒ 問5－1に進んでください

（可能と回答した施設に伺います）

問4－2 貴施設内における PCR 検査の検体の受付についてあてはまるものをお答えください。

（回答はひとつ）

1. 24時間対応・休日対応可
2. 対応可能な時間・曜日等制限あり

（可能と回答した施設に伺います）

問4－3 貴施設内における PCR 検査の結果が出るまでの時間についてあてはまるものをお答えください。

（回答はひとつ）

1. 1時間以内
2. 1時間超～2時間以内
3. 2時間超～4時間以内
4. 4時間超～6時間以内
5. 6時間超

（全員回答してください）

問5－1 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の検査体制について、他施設に PCR 検査を依頼していますか。あてはまるものをお答えください。

（回答はひとつ）

1. 依頼している ⇒ 問5－2と問5－3を回答してください
2. 依頼していない ⇒ 問6－1に進んでください

（他施設に依頼していると回答した施設に伺います）

問5－2 PCR 検査を依頼している他施設の検体の受付について、あてはまるものをお答えください。

（回答はひとつ）

1. 24時間対応・休日対応可
2. 対応可能な時間・曜日等制限あり

(他施設に依頼していると回答した施設に伺います)

問5-3 PCR検査を依頼している他施設の結果が出るまでの時間について、あてはまるものをお答えください。

(回答はひとつ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 1時間以内 | 2. 1時間超～2時間以内 |
| 3. 2時間超～4時間以内 | 4. 4時間超～6時間以内 |
| 5. 6時間超～12時間以内 | 6. 12時間超～24時間以内 |
| 7. 24時間超 | |

(全員回答してください)

問6-1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策の教育を実施しましたか。実施した場合はその時の教育者について、あてはまるものすべて、○をつけてください。

(回答はいくつでも)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策の教育を実施している

- | | |
|-----------------------------|---|
| 1. 自施設の感染症専門医 | |
| 2. 自施設のその他の医師(診療科: |) |
| 3. 自施設の感染症看護専門看護師・感染管理認定看護師 | |
| 4. 自施設のその他の看護師 | |
| 5. 他施設の感染症専門医 | |
| 6. 他施設のその他の医師(診療科: |) |
| 7. 他施設の感染症看護専門看護師・感染管理認定看護師 | |
| 8. 他施設のその他の看護師 | |
| 9. その他(具体的に: |) |

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策の教育を実施していない

- | |
|--------------------------|
| 10. 実施していない ⇒ 問7に進んでください |
|--------------------------|

(対策の教育を実施していると回答した施設に伺います)

問6-2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策の受講者について、あてはまるものすべてをお答えください。

(回答はいくつでも)

- | | |
|--------------------|---|
| 1. 医療従事者 | |
| 2. 患者対応を行う非医療従事者 | |
| 3. 患者対応を行わない非医療従事者 | |
| 4. その他(具体的に: |) |

(全員回答してください)

問7 個人防護具（PPE）は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行前から備蓄していましたか。あてはまるものをお答えください。また、備蓄していた施設では何日分の備蓄をしていたかについてもお答えください。

(回答はひとつ)

1. していた (約 日分)
2. していなかった

問8-1 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対応するために、院内に本部を設置しましたか。
あてはまるものをお答えください。

(回答はひとつ)

1. はい ⇒ 問8-2を回答してください
2. いいえ ⇒ 問9-1に進んでください

(設置したと回答した施設に伺います)

問８－２ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対応するための本部は、どのようなメンバーで構成されましたか。あてはまるものをすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

1. 病院長等の幹部職員
2. 感染症を専門とする医師
3. 感染症看護専門看護師・感染管理認定看護師
4. 事務職員
5. その他(具体的に:)

(全員回答してください)

問9-1 令和2年1月以前に事業継続計画（BCP）を策定していましたか。最もあてはまるものをお答えください。

(回答はひとつ)

1. 自然災害を想定した事業継続計画(BCP)を策定していた ⇒ 問9-2と問9-3を回答してください
2. 感染症(新型インフルエンザ等)のパンデミックを想定した事業継続計画(BCP)を策定していた
⇒ 問9-2と問9-3を回答してください
3. 上記の両方を策定していた ⇒ 問9-2と問9-3を回答してください
4. どちらも策定していなかった ⇒ 問10-1に進んでください

(いずれかの事業継続計画（BCP）を策定したと回答した施設に伺います)

問9-2 令和2年1月以前に策定した事業継続計画（BCP）は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対応に有効でしたか。

(回答はひとつ)

1. 有効であった
2. 有効でなかった

(いずれかの事業継続計画（BCP）を策定したと回答した施設に伺います)

問9-3 貴施設で策定した事業継続計画（BCP）の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対応の有効性評価の理由をお答えください。

問10-1 外来で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者（疑い含む。）を受け入れましたか。

(回答はひとつ)

1. はい
2. いいえ

問10-2 入院で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者（疑い含む。）を受け入れましたか。

(回答はひとつ)

1. はい ⇒ 問11と問12と問13をお答えください
2. いいえ ⇒ 問10-1でも「いいえ」を回答した施設は問10-3を回答してください
その他は問14に進んでください

(新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者の外来・入院とも受け入れていないと回答した施設に伺います)

問 10-3 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者を受け入れなかった理由は何ですか。あてはまるものすべてをお答えください。

(回答はいくつでも)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 地域に患者がいなかった | 2. 他の医療機能を担っていた |
| 3. 病床に空きがなかった | 4. 十分な感染対策が講じられなかった |
| 5. 感染症診療に当たる医師の不足 | 6. 看護職員の不足 |
| 7. その他医療スタッフの不足 | |
| 8. その他(具体的に: |) |

問 14 に進んでください

(新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者の入院を受け入れたと回答した施設に伺います)

問 11 休床中であった(職員を配置していなかった)病床を、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)(疑い含む)受け入れのために稼働させましたか。あてはまるものをお答えください。また、稼働させた場合は最大稼働病床数についてもお答えください。

(回答はひとつ)

- | |
|----------------|
| 1. はい ⇒ 最大()床 |
| 2. 稼働させていない |

(新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者の入院を受け入れたと回答した施設に伺います)

問 12 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者(疑い含む)を入院させるための病床を確保しましたか。あてはまるものをお答えください。また、確保した場合は確保した最大病床数についてもお答えください。

(回答はひとつ)

- | |
|----------------|
| 1. はい ⇒ 最大()床 |
| 2. 確保していない |

(新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者の入院を受け入れたと回答した施設に伺います)

問 13 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者(疑い含む)を受け入れるために、患者の受入を停止した病床はありましたか。あてはまるものをお答えください。また、受け入れを停止した場合は停止した最大病床数についてもお答えください。

(回答はひとつ)

- | |
|----------------------|
| 1. はい ⇒ 最大()床 |
| 2. 患者の受け入れを停止した病床はない |

◎次の質問項目では、月別の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染患者受入数や患者延数等を入力いただきます。あらかじめお手元に資料をご用意ください。

（病床数＞0 の施設に回答をお願いします）

問 1 4 令和 2 年 3～10 月における貴施設の入院患者延べ数（当日末在院患者数＋退院患者数の 1 カ月合計）、手術実施数についてご記入ください。

※「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染患者の疑い」には、PCR 検査または抗原検査を行った者のうち、症状の有無にかかわらず全件に実施するスクリーニング目的で実施した患者は除く。

（回答は数字）

令和 2 年	3 月	4 月	5 月	6 月
入院患者延べ数	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者延べ数 (疑い含む)	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者延べ数 (診断確定のみ)	人	人	人	人
手術実施数	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者 (疑い含む) に対して行われたすべての手術実施数	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者 (診断確定のみ) に対して行われたすべての手術実施数	人	人	人	人

令和 2 年	7 月	8 月	9 月	10 月
入院患者延べ数	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者延べ数 (疑い含む)	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者延べ数 (診断確定のみ)	人	人	人	人
手術実施数	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者 (疑い含む) に対して行われたすべての手術実施数	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者 (診断確定のみ) に対して行われたすべての手術実施数	人	人	人	人

(病床数＞0 の施設に回答をお願いします)

問 15 平成 31 年 3 月～令和元年 10 月における貴施設の入院患者延べ数（当日末在院患者数＋退院患者数の 1 カ月合計）、手術実施数についてご記入ください。

※「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染患者の疑い」には、PCR 検査または抗原検査を行った者のうち、症状の有無にかかわらず全件に実施するスクリーニング目的で実施した患者は除く。

(回答は数字)

平成 31 年・令和元年	3 月	4 月	5 月	6 月
入院患者延べ数	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者延べ数 (疑い含む)	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者延べ数 (診断確定のみ)	人	人	人	人
手術実施数	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者 (疑い含む) に対して行われたすべての手術実施数	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者 (診断確定のみ) に対して行われたすべての手術実施数	人	人	人	人

平成 31 年・令和元年	7 月	8 月	9 月	10 月
入院患者延べ数	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者延べ数 (疑い含む)	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者延べ数 (診断確定のみ)	人	人	人	人
手術実施数	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者 (疑い含む) に対して行われたすべての手術実施数	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者 (診断確定のみ) に対して行われたすべての手術実施数	人	人	人	人

新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた、 地域における医療提供体制の強化のための研究

救急医療分野基本票

最大質問数は 11 問になります。

<ご回答される医療施設のご担当者さま>

- 各都道府県における医療提供体制の確保を図るため、5 疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神疾患）・5 事業（救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療）＋在宅医療に係る指標の見直し、疾病・事業横断的な医療提供体制の構築等が盛り込まれた各都道府県の二次医療圏単位の医療計画が策定されています。医療計画については、平時、および今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のような感染症の流行下においても対応できる計画であることが期待されています。
- 一方で、今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行により、各地域で医療需要が増大する等、地域の医療提供体制に様々な影響がありました。今後も同様の状況が起こりうることが予想され、感染症の流行に地域で適切に対応することが必要です。
- そこで本厚生労働科学研究班は、5 事業（救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療）＋在宅医療における今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による影響を明らかにし、感染症の流行等における効率的な医療提供体制の方法を検討することを目的としています。
- 本調査のデータは、医療施設が識別される形で集計を行うことはありません。調査結果は、施設・個人が識別されない形にした上で、関係する国の検討会等に報告するとともに、学会発表、論文、研究報告書等として公表する予定です。なお、本研究は、千葉大学の倫理委員会の審査・承認を得て実施しています（承認日令和 2 年 11 月 19 日：承認番号 3926）。
- 本調査結果は、国の検討会にも報告することを予定しており、今後の医療計画や医療提供体制の在り方について検討する上で資料として活用されることが期待されております。このような調査の趣旨を踏まえ、回答者様におかれましては、お忙しい中恐縮ですが、ぜひ、調査にご協力いただきますようお願いいたします。
- 本調査は、12 月 28 日（月）までにご回答ください。
お問い合わせ先（「新型コロナウイルス感染症による医療計画への影響に係る調査」事務局）
メールアドレス：toiawase-kaken2020@intage.com
フリーダイヤル：0120-856-780
（受付時間：祝日を除く月～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00）

令和 2 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金
（厚生労働科学特別研究事業）

(特に断りのない場合は、令和2年11月1日現在の状況をお答えください。)

◎貴施設の救急医療の概況についてお伺いします。貴施設の救急医療の概況等についてご回答可能な事務部門の方等がご回答くださいますようお願いいたします。

◎貴施設における今回の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への受け入れ体制についてお伺いします。

問16 貴施設において、院外での職員の生活について、病院としてのルールを作成しましたか。

(例：〇名以上での会食を禁止、等)

(回答はひとつ)

1. 作成した
2. 作成しなかった

問17 令和2年1月1日～10月末の期間において、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対応のために他院から医療従事者等の応援を受けましたか。応援を受けた場合は、医師・看護職・その他職員別に延べ人数をお答えください。

(回答はひとつ)

1. 応援を受けた ⇒ 応援延べ人数(医師数 人 看護職員数 人 その他職員 人)
2. 申請はしたが、応援を受けられなかった
3. 他院からの応援を申請しなかった

(他院から医療従事者等の応援を受けたと回答した方に伺います)

問18 貴施設における他院から応援受けた医療従事者等の人数は申請通りでしたか。

(回答はひとつ)

1. 申請数通りの応援を受けることができた
2. 申請数を下回る応援者数だった

問19-1 令和2年1月1日～10月末の期間において、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対応のために救急外来の看護職員を平時と比べて増やしましたか。

(回答はひとつ)

1. 増やした ⇒ 問19-2と問19-3を回答してください
2. 変わらない ⇒ 問20-1に進んでください
3. 減らした ⇒ 問20-1に進んでください

(看護職員数を増やしたと回答した方に伺います)

問19-2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応のために救急外来の看護職員を、どのように増やしましたか。

(回答はいくつでも)

- | | |
|-----------------|---|
| 1. 院内の看護職員の配置転換 | |
| 2. 院外の看護職員の応援 | |
| 3. その他(具体的に: |) |

(看護職員数を増やしたと回答した方に伺います)

問19-3 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応のために救急外来の看護職員配置について、
平時の看護職員数と最大時に何名まで増やしたかをお答えください。

(回答は半角数字)

平時()名 名最大時()名

(全員回答してください)

問20-1 令和2年1~10月における貴施設の救急外来受診患者延べ数についてご記入ください。

※「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染患者の疑い」には、PCR検査または抗原検査を行った者のうち、症状の有無にかかわらず全件に実施するスクリーニング目的で実施した患者は除く。

(回答は数字)

令和2年	1月	2月	3月	4月	5月
救急外来受診者延べ数	人	人	人	人	人
うち救急搬送患者延べ数(ドクターヘリ・ドクターカーなどを含む)	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(疑い含む)	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(診断確定のみ)	人	人	人	人	人

令和2年	6月	7月	8月	9月	10月
救急外来受診者延べ数	人	人	人	人	人
うち救急搬送患者延べ数(ドクターヘリ・ドクターカーなどを含む)	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(疑い含む)	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(診断確定のみ)	人	人	人	人	人

問20-2 平成31年1月～令和元年10月における貴施設の救急外来受診患者延べ数についてご記入ください。

※「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染患者の疑い」には、PCR検査または抗原検査を行った者のうち、症状の有無にかかわらず全件に実施するスクリーニング目的で実施した患者は除く。

（回答は数字）

平成31年・令和元年	1月	2月	3月	4月	5月
救急外来受診者延べ数	人	人	人	人	人
うち救急搬送患者延べ数(ドクターヘリ・ドクターカーなどを含む)	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(疑い含む)	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(診断確定のみ)	人	人	人	人	人

平成31年・令和元年	6月	7月	8月	9月	10月
救急外来受診者延べ数	人	人	人	人	人
うち救急搬送患者延べ数(ドクターヘリ・ドクターカーなどを含む)	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(疑い含む)	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(診断確定のみ)	人	人	人	人	人

問20-3 貴施設の救急外来の場において、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）検査を実施した患者数について、御記入ください。

（回答は数字）

※帰国者接触者外来の患者を除きます。

※来院前に、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）検査が実施され、陽性、陰性が判断されている者は除きます。

（ただし、来院前に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）検査が実施された場合にも、貴施設の救急外来にて再度検査を実施した場合には、「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）検査を実施した患者」として計上してください。）

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）検査とは、診断のための抗原検査、PCR 検査を指します。

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）検査は、外注での検査も含みます。

令和2年	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
【A+B】新型コロナウイルス感染症（COVID-19）検査実施患者数	人	人	人	人	人
【A】新型コロナウイルス感染症（COVID-19）検査陽性患者数	人	人	人	人	人
【A-1】うち、自施設に入院	人	人	人	人	人
【A-2】うち、転院	人	人	人	人	人
【A-3】うち、外来	人	人	人	人	人
【B】新型コロナウイルス感染症（COVID-19）検査陰性患者数	人	人	人	人	人
【B-1】うち、自施設に入院	人	人	人	人	人
【B-2】うち、転院	人	人	人	人	人
【B-3】うち、外来	人	人	人	人	人

※「外来」は、医療機関への入院を必要としなかった者の事を指し、自宅療養者及び宿泊療養者を含みます。

令和2年	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
【A+B】新型コロナウイルス感染症（COVID-19）検査実施患者数	人	人	人	人	人
【A】新型コロナウイルス感染症（COVID-19）検査陽性患者数	人	人	人	人	人
【A-1】うち、自施設に入院	人	人	人	人	人
【A-2】うち、転院	人	人	人	人	人
【A-3】うち、外来	人	人	人	人	人
【B】新型コロナウイルス感染症（COVID-19）検査陰性患者数	人	人	人	人	人
【B-1】うち、自施設に入院	人	人	人	人	人
【B-2】うち、転院	人	人	人	人	人
【B-3】うち、外来	人	人	人	人	人

※「外来」は、医療機関への入院を必要としなかった者の事を指し、自宅療養者及び宿泊療養者を含みます。

問20-4 貴施設の救急外来の場で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）検査を実施した患者のうち、検査結果が陽性であり、かつ、貴施設へ入院した患者数について、その退院先の内訳について御記入ください。

※先ほど問20-3でご回答いただいた令和2年の各月の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）検査陽性患者のうち自施設に入院した患者数を各月の下に青字で表示しています。

※各月の【A-1】～【A-6】の合計が、青字の検査陽性患者数のうち自施設に入院した患者数になるように回答してください。

（回答は数字）

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
令和2年	問20-3【A-1】 引用	問20-3【A-1】 引用	問20-3【A-1】 引用	問20-3【A-1】 引用	問20-3【A-1】 引用
【A-1】他の医療機関へ転院	人	人	人	人	人
【A-2】退院し、宿泊療養へ移行	人	人	人	人	人
【A-3】退院し、自宅療養へ移行	人	人	人	人	人
【A-4】自宅退院	人	人	人	人	人
【A-5】死亡退院	人	人	人	人	人
【A-6】その他施設等へ入所	人	人	人	人	人

	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
令和2年	問20-3【A-1】 引用	問20-3【A-1】 引用	問20-3【A-1】 引用	問20-3【A-1】 引用	問20-3【A-1】 引用
【A-1】他の医療機関へ転院	人	人	人	人	人
【A-2】退院し、宿泊療養へ移行	人	人	人	人	人
【A-3】退院し、自宅療養へ移行	人	人	人	人	人
【A-4】自宅退院	人	人	人	人	人
【A-5】死亡退院	人	人	人	人	人
【A-6】その他施設等へ入所	人	人	人	人	人

問20-5 貴施設の救急外来の場で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）検査を実施した患者のうち、検査結果が陰性であり、かつ、貴施設へ入院した患者数について、その退院先の内訳について御記入ください。

※先ほど問20-3でご回答いただいた令和2年の各月の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）検査陰性患者のうち自施設に入院した患者数を各月の下に青字で表示しています。

※各月の【B-1】～【B-6】の合計が、青字の検査陰性患者数のうち自施設に入院した患者数になるように回答してください。

（回答は数字）

	1月	2月	3月	4月	5月
令和2年	問20-3【B-1】 引用	問20-3【B-1】 引用	問20-3【B-1】 引用	問20-3【B-1】 引用	問20-3【B-1】 引用
【B-1】他の医療機関へ転院	人	人	人	人	人
【B-2】退院し、宿泊療養へ移行	人	人	人	人	人
【B-3】退院し、自宅療養へ移行	人	人	人	人	人
【B-4】自宅退院	人	人	人	人	人
【B-5】死亡退院	人	人	人	人	人
【B-6】その他施設等へ入所	人	人	人	人	人

	6月	7月	8月	9月	10月
令和2年	問20-3【B-1】 引用	問20-3【B-1】 引用	問20-3【B-1】 引用	問20-3【B-1】 引用	問20-3【B-1】 引用
【B-1】他の医療機関へ転院	人	人	人	人	人
【B-2】退院し、宿泊療養へ移行	人	人	人	人	人
【B-3】退院し、自宅療養へ移行	人	人	人	人	人
【B-4】自宅退院	人	人	人	人	人
【B-5】死亡退院	人	人	人	人	人
【B-6】その他施設等へ入所	人	人	人	人	人

新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた、 地域における医療提供体制の強化のための研究

救急医療分野別調査票

＜ご回答される医療施設のご担当者さま＞

- 各都道府県における医療提供体制の確保を図るため、5 疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神疾患）・5 事業（救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療）＋在宅医療に係る指標の見直し、疾病・事業横断的な医療提供体制の構築等が盛り込まれた各都道府県の二次医療圏単位の医療計画が策定されています。医療計画については、平時、および今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のような感染症の流行下においても対応できる計画であることが期待されています。
- 一方で、今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行により、各地域で医療需要が増大する等、地域の医療提供体制に様々な影響がありました。今後も同様の状況が起こりうることが予想され、感染症の流行に地域で適切に対応することが必要です。
- そこで本厚生労働科学研究班は、5 事業（救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療）＋在宅医療における今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による影響を明らかにし、感染症の流行等における効率的な医療提供体制の方法を検討することを目的としています。
- 本調査のデータは、医療施設が識別される形で集計を行うことはありません。調査結果は、施設・個人が識別されない形にした上で、関係する国の検討会等に報告するとともに、学会発表、論文、研究報告書等として公表する予定です。なお、本研究は、千葉大学の倫理委員会の審査・承認を得て実施しています（承認日令和2年11月19日：承認番号3926）。
- 本調査結果は、国の検討会にも報告することを予定しており、今後の医療計画や医療提供体制の在り方について検討する上で資料として活用されることが期待されています。このような調査の趣旨を踏まえ、回答者様におかれましては、お忙しい中恐縮ですが、ぜひ、調査にご協力いただきますようお願いいたします。
- 本調査は、12月28日（月）までにご回答ください。

お問い合わせ先（「新型コロナウイルス感染症による医療計画への影響に係る調査」事務局）
メールアドレス：toiawase-kaken2020@intage.com
フリーダイヤル：0120-856-780
（受付時間：祝日を除く月～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00）

令和2年度厚生労働行政推進調査事業費補助金

（厚生労働科学特別研究事業）

特に断りのない場合、令和２年１１月１日現在の情報についてご回答ください。

◎地域連携（※）についてお伺いします。

※地域連携とは、患者の受入れ、転院搬送等を円滑に実施するために、救急医療機関と他の医療機関、かかりつけ医、介護施設等の関係機関との連携体制のことを指す。

問１ 平時と比べて、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が流行している時期は地域連携に変化がありましたか。

（回答はひとつ）

1. 支障をきたした
2. より連携が深まった
3. 通常時とかわりなかった

問２ 貴施設は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大前の平時において、メディカルコントロール協議会に参加していましたか。

（回答はひとつ）

1. はい
2. いいえ

（メディカルコントロール協議会に参加していたと回答した先生に伺います）

問３ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大に際して、メディカルコントロール協議会の回数は変化しましたか。

（回答はひとつ）

1. 平時に比べて回数が増加した
2. 平時に比べて回数が減少した
3. 平時に比べて変化はなかった

問４ 貴施設が所属する地域のメディカルコントロール協議会は、主体的に地域連携に関与しましたか。
（例：地域のメディカルコントロール協議会で、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者が発生した際に積極的に受け入れる医療機関を設定した、退院基準を満たしているが自宅退院出来ない新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者の受入れについて協議した、等。）

（回答はひとつ）

1. 関与した
2. 関与しなかった

問5 二次救急医療機関のうち、輪番制病院群である施設にお聞きします。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大時には、感染症拡大前の平時に比べて、輪番制の当番の回数は増えましたか。

（回答はひとつ）

1. 増えた
2. 変わらない
3. 減った
4. 輪番制病院群ではない

問6 平時においてドクターカーを運用している施設にお聞きします。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大を受けて、ドクターカーの出動回数はどのように変化しましたか。

（回答はひとつ）

1. 出動回数が増えた
2. 体制を縮小したので減った
3. 体制に変化はなかったが、要請数が減った
4. 平時と比べて特段の変化はなかった
5. ドクターカーを運用していない

問7 病院救急車を保有している施設にお聞きします。貴施設の病院救急車を以下のようなケースで新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者（疑い患者を含む）の搬送もしくは移送に使用していますか。あてはまるものをすべてお答えください。

（回答はひとつ）

1. 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）（疑いを含む）の傷病者の発生現場に出動している
2. 自施設の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）（疑いを含む）の患者を他施設に転院させる際に使用している
3. 他施設の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）（疑いを含む）の患者を自施設に転院させる際に使用している
4. 都道府県（保健所）と提携し、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）（疑いを含む）の患者の移送に使用している（必ずしも自施設での診療が発生しなくてもよい）
5. その他（具体的に： _____）
6. 病院救急車を保有していない

問8 貴施設における、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者（疑い患者を含む）の搬送もしくは移送における患者等搬送事業者（いわゆる民間救急車）との連携について、あてはまるものをすべてお答えください。

（回答はいくつでも）

1. 患者等搬送事業者（いわゆる民間救急車）が搬送もしくは移送する新型コロナウイルス感染症（COVID-19）（疑いを含む）の救急患者を受け入れている
2. 患者等搬送事業者（いわゆる民間救急車）を利用して新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者（疑い患者を含む）の転院搬送を行っている
3. 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者（疑い患者を含む）の搬送もしくは移送を行っている患者等搬送事業者（いわゆる民間救急車）と連携したことはない（受け入れていない・使っていない）
4. 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者（疑い患者を含む）の搬送もしくは移送を行っている患者等搬送事業者（いわゆる民間救急車）がない・知らない、または自地域には患者等搬送事業者（いわゆる民間救急車）が存在しない・存在を知らない

◎貴施設における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）における感染管理状況についてお伺いします。

問9 救急外来での患者受入れにあたって、感染管理の観点で実施できた項目をお聞かせください。

（回答はいくつでも）

1. カーテンやパーティション等を用いてのゾーニング
2. テントやプレハブを用いた専用診療スペースの確保
3. 陰圧管理
4. 動線の分離
5. 使用物品の分離
6. 備蓄医療資機材の保有量の管理
7. その他（具体的に： _____）
8. ひとつもない・なにもできなかった

問10 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対応するにあたり、新たに必要となって購入した物品等のうち、感染対策に有用であった物品等についてお聞かせください。

（回答はいくつでも）

1. 簡易陰圧装置
2. 簡易ベッド
3. 簡易診察室
4. HEPA フィルター付き空気清浄機
5. HEPA フィルター付きパーティション
6. その他（具体的に： _____）
7. ひとつもない

問 11 貴施設における、救急外来で患者を対応する際の个人防护具(PPE)装着についてお聞きします。
 (1) 救急外来で患者を診療する際に、以下の个人防护具(PPE)の装着に関してどのように対応されて
 いましたか。最もあてはまるものをお答えください。

(回答はひとつ)

＜令和 2 年 4 月頃の感染拡大時＞

	装着していなかつた	1つのものを何回も使い回した	代用品を用いた	毎回新しいものを装着していた
N95 マスク	1	2	3	4
サージカルマスク	1	2	3	4
フェイスシールド(アイガード)	1	2	3	4
ガウン	1	2	3	4
手袋	1	2	3	4

＜令和 2 年 7 月頃の感染拡大時＞

	装着していなかつた	1つのものを何回も使い回した	代用品を用いた	毎回新しいものを装着していた
N95 マスク	1	2	3	4
サージカルマスク	1	2	3	4
フェイスシールド(アイガード)	1	2	3	4
ガウン	1	2	3	4
手袋	1	2	3	4

(2) 救急外来で患者を診療する際に、以下の个人防护具（PPE）に関して、毎回新しいものを装着しなかった理由にあてはまるものをすべてお答えください。

（回答はひとつ）

＜令和２年４月頃の感染拡大時＞

	手間がかかるため	個人防護具（PPE）の供給が不足していたため	個人防護具（PPE）の供給が安定しておらず、節約のため	感染対策として不要と判断していたため	その他
N95	1	2	3	4	5 ()
サージカルマスク	1	2	3	4	5 ()
フェイスシールド（アイガード）	1	2	3	4	5 ()
ガウン	1	2	3	4	5 ()
手袋	1	2	3	4	5 ()

＜令和２年７月頃の感染拡大時＞

	手間がかかるため	個人防護具（PPE）の供給が不足していたため	個人防護具（PPE）の供給が安定しておらず、節約のため	感染対策として不要と判断していたため	その他
N95	1	2	3	4	5 ()
サージカルマスク	1	2	3	4	5 ()
フェイスシールド（アイガード）	1	2	3	4	5 ()
ガウン	1	2	3	4	5 ()
手袋	1	2	3	4	5 ()

問１２ 今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大による救急医療提供体制の状況を踏まえ、今後の救急医療提供体制のあり方としてお考えになられることをご自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた、 地域における医療提供体制の強化のための研究

災害医療分野別調査票

＜ご回答される医療施設のご担当者さま＞

- 各都道府県における医療提供体制の確保を図るため、5 疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神疾患）・5 事業（救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療）＋在宅医療に係る指標の見直し、疾病・事業横断的な医療提供体制の構築等が盛り込まれた各都道府県の二次医療圏単位の医療計画が策定されています。医療計画については、平時、および今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のような感染症の流行下においても対応できる計画であることが期待されています。
- 一方で、今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行により、各地域で医療需要が増大する等、地域の医療提供体制に様々な影響がありました。今後も同様の状況が起りうることが予想され、感染症の流行に地域で適切に対応することが必要です。
- そこで本厚生労働科学研究班は、5 事業（救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療）＋在宅医療における今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による影響を明らかにし、感染症の流行等における効率的な医療提供体制の方法を検討することを目的としています。
- 本調査のデータは、医療施設が識別される形で集計を行うことはありません。調査結果は、施設・個人が識別されない形にした上で、関係する国の検討会等に報告するとともに、学会発表、論文、研究報告書等として公表する予定です。なお、本研究は、千葉大学の倫理委員会の審査・承認を得て実施しています（承認日令和2年11月19日：承認番号3926）。
- 本調査結果は、国の検討会にも報告することを予定しており、今後の医療計画や医療提供体制の在り方について検討する上で資料として活用されることが期待されています。このような調査の趣旨を踏まえ、回答者様におかれましては、お忙しい中恐縮ですが、ぜひ、調査にご協力いただきますようお願いいたします。
- 本調査は、12月28日（月）までにご回答ください。

お問い合わせ先（「新型コロナウイルス感染症による医療計画への影響に係る調査」事務局）
メールアドレス：toiawase-kaken2020@intage.com
フリーダイヤル：0120-856-780
（受付時間：祝日を除く月～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00）

**令和 2 年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金
（厚生労働科学特別研究事業）**

特に断りのない場合、令和 2 年 11 月 1 日現在の情報についてご回答ください。

◎DMAT（災害派遣医療チーム）についてお聞きます。

問 1 貴院内に DMAT 隊員（都道府県主催の DMAT 養成研修修了者も含むが、有資格者のうち、現在、隊員登録されていない者は除く）はいらっしゃいますか。

（回答はひとつ）

1. いる
 2. いない

（DMAT 隊員がいると回答した医療機関に伺います。）

問 2 貴院内の DMAT 隊員について、医師、看護師及び業務調整員の人数（統括 DMAT（医師のみ）、インストラクター、タスク登録者に該当する者がいる場合、その内訳）をお答えください。

（回答は半角数字）

※該当する DMAT 隊員がない場合は 0 を入力してください。

	統括DMAT	インストラクター	タスク登録者	その他のDMAT隊員
医師	人	人	人	人
看護師		人	人	人
業務調整員		人	人	人

問 3-1 貴院内で新型コロナ対策本部（以下、院内コロナ対策本部という。）を設置しましたか。

（回答はひとつ）

1. 院内コロナ対策本部を設置した
 2. 院内コロナ対策本部は設置しなかった

（貴院内で院内コロナ対策本部を設置したと回答した医療機関に伺います）

問 3-2 院内コロナ対策本部のメンバーに、DMAT 隊員は含まれていましたか。

（回答はひとつ）

1. 含まれていた ⇒ 問 4 と問 5-1 と問 5-2 を回答してください
 2. 含まれていなかった

(院内コロナ対策本部のメンバーに DMAT 隊員が含まれていたと回答した医療機関に伺います。)

問4 院内コロナ対策本部に含まれていたすべての DMAT 隊員について、医師、看護師及び業務調整員の人数(統括 DMAT (医師のみ)、インストラクター、タスク登録者に該当する者がいる場合、その内訳)をお答えください。

(回答は半角数字)

※該当する DMAT 隊員がない場合は 0 を入力してください。

	統括DMAT	インストラクター	タスク登録者	その他のDMAT隊員
医師	人	人	人	人
看護師		人	人	人
業務調整員		人	人	人

(院内コロナ対策本部を設置したと回答した医療機関に伺います。)

問5-1 院内コロナ対策本部の役割と活動内容にあてはまるものをすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

1. 診療の体制の変更(例:外来を別に設ける、診療科の制限を行う等)
2. 院内の感染対策実施・管理について
3. 院外の搬送調整
4. 入院調整
5. 医療物資の管理や調達
6. その他(具体的に:)

(院内コロナ対策本部に DMAT 隊員が含まれていたと回答した医療機関に伺います。)

問5-2 院内コロナ対策本部に含まれていた DMAT 隊員の役割と活動内容をすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

1. 診療の体制の変更(例:外来を別に設ける、診療科の制限を行う等)
2. 院内の感染対策実施・管理について
3. 院外の搬送調整
4. 入院調整
5. 医療物資の管理や調達
6. その他(具体的に:)

(院内コロナ対策本部を設置したと回答した医療機関に伺います。)

問6 院内コロナ対策本部の人員構成と災害対応にかかる本部(以下、院内災害対策本部という。)の人員構成には共通点はありましたか。共通点がある場合には、具体的に教えてください。

(回答はひとつ)

1. 共通点があった(具体的に:)
2. 共通点はなかった

(院内コロナ対策本部を設置したと回答した医療機関に伺います。)

問7 院内コロナ対策本部の人員構成と災害対応にかかる院内災害対策本部の人員構成には異なる点がありましたか。異なる点がある場合には、具体的に教えてください。

(回答はひとつ)

- | |
|---------------------|
| 1. 異なる点があった(具体的に:) |
| 2. 異なる点はなかった |

(院内コロナ対策本部に DMAT 隊員が含まれていたと回答した医療機関に伺います。)

問8-1 院内コロナ対策本部において、DMAT 隊員の参画は有用でしたか。

(回答はひとつ)

- | |
|-------------|
| 1. 有用だった |
| 2. 有用ではなかった |
| 3. わからない |

問8-2 院内コロナ対策本部において、DMAT 隊員の参画について、そのようにお答えになった理由をお答えください。

--

(貴院内に DMAT 隊員がいると回答した医療機関に伺います。)

DMAT 隊の派遣状況について、お聞きします。

問9 貴院は、令和2年3月19日以降に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の対応でDMAT 隊員を派遣しましたか。

(回答はひとつ)

- | |
|------------|
| 1. 派遣した |
| 2. 派遣しなかった |

(新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の対応でDMAT 隊員を派遣したと回答した医療機関に伺います。)

問10 派遣したDMAT 隊員は、どのような活動を行いましたか。活動内容にあてはまるものをすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 都道府県調整本部での調整活動 |
| 2. 都道府県調整本部以外(保健所等)での本部や指揮所での調整活動 |
| 3. 他病院の診療支援 |
| 4. 他病院の搬送支援 |
| 5. 介護福祉施設等の診療支援 |
| 6. 介護福祉施設等の搬送支援 |
| 7. その他(具体的に:) |

(貴院内に DMAT 隊員がいると回答した医療機関に伺います。)

個人用防護具 (PPE) の入手や管理における、DMAT 隊員の支援状況についてお聞きします。

問 1 1 個人用防護具 (PPE) の入手や管理について、DMAT 隊員の助言やサポートはありましたか。
(回答はひとつ)

1. 助言やサポートがあった
2. 助言やサポートがなかった
3. DMAT 隊員に助言やサポートを求めなかった

(DMAT 隊員の助言やサポートがあったと回答した医療機関に伺います。)

問 1 2 助言やサポートがあった場合、その内容について具体的に教えてください。

◎EMIS (広域災害救急医療情報システム) についてお聞きします。

問 1 3 貴院では、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) に対応するため、EMIS を使用しましたか。

(回答はひとつ)

1. 使用した
2. 使用しなかった

(EMIS を使用しなかったと回答した医療機関に伺います。)

問 1 4 EMIS を使用しなかった理由として、あてはまるものをすべてお答えください。
(回答はいくつでも)

1. G-MIS (新型コロナウイルス感染症医療機関等情報支援システム) を活用したから
2. EMIS の使用方法がわからなかったから
3. EMIS を使用する必要がなかったから (例: 患者がいなかった等)
4. EMIS は感染症対応に有効でなかったから
5. EMIS を使用しようとした時、都道府県が通常モードで運用していたから
6. その他 (具体的に: _____)

(EMIS を使用したと回答した医療機関に伺います。)

問 1 5 EMIS が有用だった事例や課題となる点について具体的に教えてください。

※災害時の EMIS 活用については、記載しないでください。

◎G-MIS についてお聞きします。

問 1 6 貴院では、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対応するため、G-MIS を使用しましたか。

（回答はひとつ）

1. 使用した
2. 使用しなかった

（G-MIS を使用しなかったと回答した医療機関に伺います。）

問 1 7 G-MIS を使用しなかった理由として、あてはまるものをすべてお答えください。

（回答はいくつでも）

1. EMISを活用したから
2. G-MISの使用方法がわからなかったから
3. G-MISを使用する必要がなかったから（例：患者がいなかった等）
4. G-MISは感染症対応に有効でなかったから
5. その他（具体的に： _____ ）

（問 1 6 で G-MIS を使用したと回答した、あるいは問 1 4 で EMIS を使用しなかった理由で G-MIS を活用したからと回答した医療機関に伺います。）

問 1 8 G-MIS が有用だった事例や課題となる点について具体的に教えてください。

◎ 災害拠点病院における感染症対応についてお聞きします。

問 1 9 今後、災害拠点病院で大規模な感染症対応を行う場合、災害拠点病院という観点から強化が必要と考えられる事項はありますか。

※本質問は、災害拠点病院の指定要件に関する質問ですので、その観点からお答えください。

（回答はひとつ）

1. ある
2. ない

(強化が必要と回答した医療機関に伺います。)

問20 災害拠点病院という観点から、強化が必要と考えられる事項として、あてはまるものをすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

1. 災害拠点病院が感染症対応を行うための物品等の体制整備の強化
2. 感染症対応を行う人材の保有・増員
3. 感染症対応を行うことができるDMAT隊員の養成・増員
4. 感染症対応に限らずDMAT隊員の養成・増員
5. 感染症専門家の派遣及び受入体制の整備
6. 地域の救急医療体制の強化
7. その他(具体的に: _____)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が蔓延する以前(令和2年1月以前)から災害拠点病院の整備やDMAT隊員の養成、(災害時における)都道府県保健医療調整本部との連携、小児周産期の連携する仕組み等の災害医療体制が整備されてきました。

また、感染症法に基づいて感染症指定医療機関が指定・整備されています。

医療機関によっては、災害拠点病院及び感染症指定医療機関の両方の指定を受けている施設がある一方で、いずれかの指定だけの場合もあります。

問21 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応において、既存の災害医療体制が整備されていたことによって貴施設での好事例や問題点がありましたらご記入ください。

質問は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた、 地域における医療提供体制の強化のための研究

小児医療分野基本票

最大質問数は28問です。

＜ご回答される医療施設のご担当者さま＞

- 各都道府県における医療提供体制の確保を図るため、5 疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神疾患）・5 事業（救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療）＋在宅医療に係る指標の見直し、疾病・事業横断的な医療提供体制の構築等が盛り込まれた各都道府県の二次医療圏単位の医療計画が策定されています。医療計画については、平時、および今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のような感染症の流行下においても対応できる計画であることが期待されています。
- 一方で、今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行により、各地域で医療需要が増大する等、地域の医療提供体制に様々な影響がありました。今後も同様の状況が起りうることが予想され、感染症の流行に地域で適切に対応することが必要です。
- そこで本厚生労働科学研究班は、5 事業（救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療）＋在宅医療における今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による影響を明らかにし、感染症の流行等における効率的な医療提供体制の方法を検討することを目的としています。
- 本調査のデータは、医療施設が識別される形で集計を行うことはありません。調査結果は、施設・個人が識別されない形にした上で、関係する国の検討会等に報告するとともに、学会発表、論文、研究報告書等として公表する予定です。なお、本研究は、千葉大学の倫理委員会の審査・承認を得て実施しています（承認日令和2年11月19日：承認番号3926）。
- 本調査結果は、国の検討会にも報告することを予定しており、今後の医療計画や医療提供体制の在り方について検討する上で資料として活用されることが期待されています。このような調査の趣旨を踏まえ、回答者様におかれましては、お忙しい中恐縮ですが、ぜひ、調査にご協力いただきますようお願いいたします。
- 本調査は、12月28日（月）までにご回答ください。
お問い合わせ先（「新型コロナウイルス感染症による医療計画への影響に係る調査」事務局）
メールアドレス：toiawase-kaken2020@intage.com
フリーダイヤル：0120-856-780
（受付時間：祝日を除く月～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00）

令和 2 年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金
（厚生労働科学特別研究事業）

(特に断りのない場合は、令和2年11月1日現在の状況をお答えください。)

◎貴施設の小児医療の概況についてお伺いします。貴施設の小児医療の概況等についてご回答可能な事務部門の方等がご回答くださいますようお願いいたします。

◎小児医療分野基本票と周産期医療分野基本票の間54～問55-5は、同じ質問です。Web 調査画面では重複はありません。

◎貴施設の概況についてお伺いします。

問54 貴施設は小児または妊産婦を専門に診療する医療機関（いわゆる、こども病院）ですか。
(回答はひとつ)

- | |
|--------|
| 1. はい |
| 2. いいえ |

問55-1-1 小児科病床数（単独計上）（※NICU・GCU・PICUは含まない）をお答えください。
※小児科の患者が病棟の入院患者の半数以上を占める病棟の病床数の和。
(回答は数字)

床

⇒ 「0床」の場合は問55-1-4に進んでください。

(小児科病床数>0の施設に伺います)

問55-1-2 貴施設の小児入院医療管理料の届出としてあてはまるものをお答えください。
(回答はひとつ)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 小児入院医療管理料1 | 2. 小児入院医療管理料2 |
| 3. 小児入院医療管理料3 | 4. 小児入院医療管理料4 |
| 5. 小児入院医療管理料5 | 6. なし |

(小児科病床数>0の施設に伺います)

問55-1-3 小児科医師数（常勤換算）をお答えください。
(回答は数字)

人

※1. 非常勤職員の「常勤換算」は以下の方法で計算し、小数点第1位（小数点第2位を四捨五入）までご記入ください。

- 1週間に数回勤務の場合：（非常勤職員の1週間の勤務時間）÷（貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間）
- 1カ月に数回勤務の場合：（非常勤職員の1カ月の勤務時間）÷（貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間×4）

問55-1-4小児科に関連する当直の有無を以下の中から、最もあてはまるものをお答えください。
(回答はひとつ)

1. 小児科のみ 2. 小児科とNICU 3. NICUのみ 4. なし

問55-2-1 ICU 病床数 (PICU 及び ICU のうち主に小児用として用いる病床数) をお答えください。

※PICU：小児集中治療室は診療報酬上の要件を満たす満たさないにかかわらず記入。

(回答は数字)

床

⇒ 「0 床」の場合は問55-3-1に進んでください。

(小児用として運用しているICU (PICU) >0 の施設に伺います)

問55-2-2 小児特定集中治療管理料の届出の有無をお答えください。

(回答はひとつ)

1. あり 2. なし

(小児用として運用しているICU (PICU) >0 の施設に伺います)

問55-2-3 PICU 専属医師数 (常勤換算) をお答えください。

(回答は数字)

人

※1. 非常勤職員の「常勤換算」は以下の方法で計算し、小数点第1位 (小数点第2位を四捨五入) までご記入ください。

■1週間に数回勤務の場合：(非常勤職員の1週間の勤務時間) ÷ (貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間)

■1カ月に数回勤務の場合：(非常勤職員の1カ月の勤務時間) ÷ (貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間×4)

問55-3-1 NICU 病床数をお答えください。

※NICU は新生児特定集中治療室管理料の施設基準を満たしているものをいう。(「総合周産期特定集中治療室管理料」に含まれる「新生児集中治療室」の病床を含む。)

(回答は数字)

床

⇒ 「0 床」の場合は問55-4-1に進んでください。

(NICU>0 の施設に伺います)

問55-3-2 貴施設にあてはまる区分をお答えください。

(回答はひとつ)

1. 総合周産期特定集中治療室管理料2 (新生児集中治療室管理料)
2. 新生児特定集中治療室管理料1
3. 新生児特定集中治療室管理料2

問55-4-1 GCU 病床数をお答えください。

※GCU：新生児治療回復室は診療報酬上の要件を満たす満たさないにかかわらず記入。

(回答は数字)

床

(GCU>0の施設に伺います)

問55-4-2 新生児治療回復室入院医療管理料・小児入院医療管理料 1～5 のいずれを算定していますか。あてはまる区分をお答えください。

(回答はひとつ)

1. 新生児治療回復室入院医療管理料・小児入院医療管理料1
2. 新生児治療回復室入院医療管理料・小児入院医療管理料2
3. 新生児治療回復室入院医療管理料・小児入院医療管理料3
4. 新生児治療回復室入院医療管理料・小児入院医療管理料4
5. 新生児治療回復室入院医療管理料・小児入院医療管理料5
6. なし

(GCU>0の施設に伺います)

問55-4-3 新生児治療回復室入院医療管理料の有無をお答えください。

(回答はひとつ)

1. あり 2. なし

(NICU>0の施設に伺います)

問55-4-4 NICU 専属(新生児科)医師数(常勤換算)をお答えください。

(回答は数字)

人

※1. 非常勤職員の「常勤換算」は以下の方法で計算し、小数点第1位(小数点第2位を四捨五入)までご記入ください。

■1週間に数回勤務の場合：(非常勤職員の1週間の勤務時間)÷(貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間)

■1カ月に数回勤務の場合：(非常勤職員の1カ月の勤務時間)÷(貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間×4)

(NICU>0の施設に伺います)

問55-4-5 NICU 当直の体制についてあてはまるものをお答えください。

(回答はひとつ)

1. 小児科当直とは別	2. 小児科当直が兼務	3. なし
-------------	-------------	-------

問55-4-6 オンコール体制の有無をお答えください。

(回答はひとつ)

1. あり 2. なし

（小児科に関連する当直で小児科または NICU の当直があると回答した方に伺います）

問55-5 1日の当直人数について、以下をお答えください。

※該当なしは0と回答してください。

※PICU やNICU が0床の場合、下記の「PICU 当直（兼務含む）」や「NICU 当直（兼務含む）」の入力項目は回答画面では表示されません。

（回答は数字）

小児科当直(兼務含む)	人
PICU 当直(兼務含む)	人
NICU 当直(兼務含む)	人
小児科と NICU 全体の当直(兼務を含まない)	人

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者診療の可否（15 歳未満）

問56-1 貴施設の15歳未満の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者または疑い患者を受け入れ可否をお答えください

（回答はひとつ）

1. 可 ⇒ 問56-2を回答してください

2. 否 ⇒ 問56-3を回答してください

（受け入れ可と回答した施設に伺います）

問56-2 貴施設で受け入れ可とした15歳未満の患者をお答えください。

（回答はひとつ）

1. 陽性患者のみ

2. 疑い患者のみ

3. 両方

問56-4に進んでください

（受け入れ否と回答した施設に伺います）

問56-3 貴施設では15歳未満の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者または疑い患者以外の患者を受け入れる役割を担っていましたか。

（回答はひとつ）

1. はい

2. いいえ

問56-4 貴施設で15歳未満の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者または疑い患者を受け入れ可否を決めた経緯について、もっともあてはまるものをお答えください。

（回答はひとつ）

1. 貴施設の独自の判断

2. 近隣の医療機関と調整を経て判断

3. 小児医療圏(2次医療圏)内の調整

4. 都道府県による調整(都道府県からの直接の依頼、都道府県における関係機関との協議を経て決定等を含む)

5. その他(具体的に:

)

問57 貴施設における平成31年1月～令和元年10月と令和2年1月～10月の15歳未満の小児の診療状況についてお答えください。（15歳未満の小児）

（回答は数字）

※入院患者延べ数（当日末在院患者数＋退院患者数の1カ月合計）

小児内科入院延べ患者数（15歳未満の小児）

	1月	2月	3月	4月	5月
平成31年・令和元年	人	人	人	人	人
令和2年	人	人	人	人	人

	6月	7月	8月	9月	10月
平成31年・令和元年	人	人	人	人	人
令和2年	人	人	人	人	人

※入院患者延べ数（当日末在院患者数＋退院患者数の1カ月合計）

小児内科以外（小児外科・眼科・耳鼻科など）の入院延べ患者数（15歳未満の小児）

	1月	2月	3月	4月	5月
平成31年・令和元年	人	人	人	人	人
令和2年	人	人	人	人	人

	6月	7月	8月	9月	10月
平成31年・令和元年	人	人	人	人	人
令和2年	人	人	人	人	人

※外来患者延べ数（当日の初診患者数＋再診患者数の1カ月合計）

一般小児科急性外来延べ患者数（15歳未満の小児）

	1月	2月	3月	4月	5月
平成31年・令和元年	人	人	人	人	人
令和2年	人	人	人	人	人

	6月	7月	8月	9月	10月
平成31年・令和元年	人	人	人	人	人
令和2年	人	人	人	人	人

※外来患者延べ数（当日の初診患者数＋再診患者数の 1 カ月合計）

一般小児科慢性外来延べ患者数（15 歳未満の小児）

※ここでの一般小児科慢性外来とは、小児慢性外来の内、予防接種と乳児健診を除く外来とします。

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
平成 31 年・令和元年	人	人	人	人	人
令和 2 年	人	人	人	人	人

	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
平成 31 年・令和元年	人	人	人	人	人
令和 2 年	人	人	人	人	人

※外来患者延べ数（当日の初診患者数＋再診患者数の 1 カ月合計）

診療時間外の 15 歳未満の延べ患者数（往診は含まない）

※土曜日午前に診療を行っている場合は、土曜午後以降が時間外となります。

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
平成 31 年・令和元年	人	人	人	人	人
令和 2 年	人	人	人	人	人

	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
平成 31 年・令和元年	人	人	人	人	人
令和 2 年	人	人	人	人	人

15 歳未満の紹介患者数（実数）

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
平成 31 年・令和元年	人	人	人	人	人
令和 2 年	人	人	人	人	人

	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
平成 31 年・令和元年	人	人	人	人	人
令和 2 年	人	人	人	人	人

15 歳未満の逆紹介患者数（実数）

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
平成 31 年・令和元年	人	人	人	人	人
令和 2 年	人	人	人	人	人

	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
平成 31 年・令和元年	人	人	人	人	人
令和 2 年	人	人	人	人	人

新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた、 地域における医療提供体制の強化のための研究

小児医療分野別調査票

＜ご回答される医療施設のご担当者さま＞

- 各都道府県における医療提供体制の確保を図るため、5 疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神疾患）・5 事業（救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療）＋在宅医療に係る指標の見直し、疾病・事業横断的な医療提供体制の構築等が盛り込まれた各都道府県の二次医療圏単位の医療計画が策定されています。医療計画については、平時、および今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のような感染症の流行下においても対応できる計画であることが期待されています。
- 一方で、今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行により、各地域で医療需要が増大する等、地域の医療提供体制に様々な影響がありました。今後も同様の状況が起こりうることが予想され、感染症の流行に地域で適切に対応することが必要です。
- そこで本厚生労働科学研究班は、5 事業（救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療）＋在宅医療における今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による影響を明らかにし、感染症の流行等における効率的な医療提供体制の方法を検討することを目的としています。
- 本調査のデータは、医療施設が識別される形で集計を行うことはありません。調査結果は、施設・個人が識別されない形にした上で、関係する国の検討会等に報告するとともに、学会発表、論文、研究報告書等として公表する予定です。なお、本研究は、千葉大学の倫理委員会の審査・承認を得て実施しています（承認日令和2年11月19日：承認番号3926）。
- 本調査結果は、国の検討会にも報告することを予定しており、今後の医療計画や医療提供体制の在り方について検討する上で資料として活用されることが期待されています。このような調査の趣旨を踏まえ、回答者様におかれましては、お忙しい中恐縮ですが、ぜひ、調査にご協力いただきますようお願いいたします。
- 本調査は、12月28日（月）までにご回答ください。

お問い合わせ先（「新型コロナウイルス感染症による医療計画への影響に係る調査」事務局）
メールアドレス：toiawase-kaken2020@intage.com
フリーダイヤル：0120-856-780
（受付時間：祝日を除く月～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00）

令和 2 年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金
（ 厚生労働科学特別研究事業 ）

特に断りのない場合は、令和2年11月1日現在の状況をお答えください。

◎貴施設についてお伺いします。

重症度の定義(参考)新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の診療の手引き 第3版

無症状病原体保有者:症状を認めないが、SARS-CoV-2 が検出された

軽症: $\text{SpO}_2 \geq 96\%$

中等症Ⅰ 呼吸不全なし $93\% < \text{SpO}_2 < 96\%$

中等症Ⅱ 呼吸不全あり $\text{SpO}_2 \leq 93\%$

重症 ICU に入室 or 人工呼吸器が必要

問1 貴施設の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)15歳未満の小児患者の重症度ごとの受け入れ可能病床数をお答えください。

(回答は半角数字)

	小児病棟	成人病棟	ICU	PICU
重症	床	床	床	床
中等症	床	床	床	床
軽症・無症状	床	床	床	床

問2 貴施設では小児の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者を診療していますか。

(回答はひとつ)

1. している

2. していない

(診療していると回答した方に伺います。)

問 3 令和 2 年 1～10 月に新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の小児患者の状況について、以下の質問をお答えください。

(回答は半角数字)

①小児の新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 入院患者数 (疑い患者を含む) (実数)

※「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 感染患者の疑い」には、PCR 検査または抗原検査を行った者のうち、症状の有無にかかわらず全件に実施するスクリーニング目的で実施した患者は除く

令和 2 年	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
入院患者数(疑い患者を含む)	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

②小児の新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 重症患者数 (実数)

令和 2 年	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
重症患者数	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

重症:ICU に入室 or 人工呼吸器が必要(参考)新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の診療の手引き 第 3 版

③小児の新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 外来患者数 (疑い患者を含む) (実数) うち確定患者数 (実数)

※「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 感染患者の疑い」には、PCR 検査または抗原検査を行った者のうち、症状の有無にかかわらず全件に実施するスクリーニング目的で実施した患者は除く

令和 2 年	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
外来患者数(疑い患者を含む)	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
うち確定患者数	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

問 4 発熱や呼吸症状のある小児患者を入院させる場合、病院の原則として、どのように対応することになっていましたか。平成 31 年・令和元年と令和 2 年のそれぞれについて、あてはまるものをお答えください。

(回答はそれぞれひとつ)

平成 31 年・令和元年	1. 大部屋に入院 3. 感染症病棟に入院	2. 個室に入院 4. 受け入れていない
令和 2 年	1. 大部屋に入院 3. 感染症病棟に入院	2. 個室に入院 4. 受け入れていない

問 5 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染ピーク時に、小児患者の入院体制に変更がありましたか。

（回答はそれぞれひとつ）

入院患者の受け入れ制限	1. あった	2. なかった
早期退院の促進	1. あった	2. なかった
一部病室を閉鎖し、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対応病室に配置した	1. あった	2. なかった

問 6 令和 2 年のコロナ禍の影響で、医師 1 人当たりの一般小児科急性外来で 1 時間当たりに診療可能な人数は、平成 31 年・令和元年と比べて、どの程度影響がありましたか。（診療のための準備の時間も含めて）最も当てはまるものを、お答えください。

（回答はひとつ）

医師 1 人の 1 時間当たりに診療可能な人数の平成 31 年・令和元年を 100%とした場合の令和 2 年の影響度	1. 全く影響はなかった	2. 10%未満減少
	3. 10%～20%未満減少	4. 20%～30%未満減少
	5. 30%～40%未満減少	6. 40%～50%未満減少
	7. 50%～60%未満減少	8. 60%～70%未満減少
	9. 70%～80%未満減少	10. 80%～90%未満減少
	11. 90%以上減少	

小児の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）をはじめとする新興感染症への対応

問 7 行政が主催する新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策に関する会議に、病院小児科として参加したことがありましたか。

（回答はひとつ）

1. 参加したことがある
2. 参加したことがない

（参加したことがあると回答した先生に伺います。）

問 8 会議の主催者に該当するものをすべてお答えください。

（回答はいくつでも）

1. 市区町村
2. 都道府県
3. その他（具体的に：_____）

(参加したことがあると回答した先生に伺います。)

問 9 行政が主催する新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 対策に関する会議の対象範囲として、該当するものをすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

1. 小児医療協議会として開催
2. 周産期に限定
3. 救急に限定
4. その他(具体的に:

)

(参加したことがあると回答した先生に伺います。)

問 10 会議を開催した結果、地域の小児医療提供体制に、変化はありましたか。

(回答はひとつ)

1. 変化はあった
2. 変化はなかった

(変化があったと回答した先生に伺います。)

問 11 会議の開催後に小児医療提供体制の変化について、具体的に教えてください。

質問は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた、 地域における医療提供体制の強化のための研究

周産期医療分野基本票

最大質問数は24問です。

＜ご回答される医療施設のご担当者さま＞

- 各都道府県における医療提供体制の確保を図るため、5 疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神疾患）・5 事業（救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療）＋在宅医療に係る指標の見直し、疾病・事業横断的な医療提供体制の構築等が盛り込まれた各都道府県の二次医療圏単位の医療計画が策定されています。医療計画については、平時、および今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のような感染症の流行下においても対応できる計画であることが期待されています。
- 一方で、今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行により、各地域で医療需要が増大する等、地域の医療提供体制に様々な影響がありました。今後も同様の状況が起りうることが予想され、感染症の流行に地域で適切に対応することが必要です。
- そこで本厚生労働科学研究班は、5 事業（救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療）＋在宅医療における今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による影響を明らかにし、感染症の流行等における効率的な医療提供体制の方法を検討することを目的としています。
- 本調査のデータは、医療施設が識別される形で集計を行うことはありません。調査結果は、施設・個人が識別されない形にした上で、関係する国の検討会等に報告するとともに、学会発表、論文、研究報告書等として公表する予定です。なお、本研究は、千葉大学の倫理委員会の審査・承認を得て実施しています（承認日令和2年11月19日：承認番号3926）。
- 本調査結果は、国の検討会にも報告することを予定しており、今後の医療計画や医療提供体制の在り方について検討する上で資料として活用されることが期待されています。このような調査の趣旨を踏まえ、回答者様におかれましては、お忙しい中恐縮ですが、ぜひ、調査にご協力いただきますようお願いいたします。
- 本調査は、12月28日（月）までにご回答ください。
お問い合わせ先（「新型コロナウイルス感染症による医療計画への影響に係る調査」事務局）
メールアドレス：toiawase-kaken2020@intage.com
フリーダイヤル：0120-856-780
（受付時間：祝日を除く月～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00）

令和2年度厚生労働行政推進調査事業費補助金
（厚生労働科学特別研究事業）

小児医療分野と周産期医療分野の問54～問55-5は同じ質問になります。調査画面上では重複はありません。小児医療分野に該当しない施設で、周産期医療分野に該当している施設担当者様は、問54～問55-5を回答いただいたら後に、問58-1以降の周産期医療分野の質問のご回答をお願いします。小児医療分野と周産期医療分野の両方に該当している施設担当者様は、問58-1に進んで、周産期医療分野の質問のご回答をお願いします。

(特に断りのない場合は、令和2年11月1日時点の状況をお答えください。)

◎貴施設の周産期医療等の概況についてお伺いします。貴施設の周産期医療等の概況等についてご回答可能な事務部門の方等がご回答くださいますようお願いいたします。

◎貴施設の概況についてお伺いします。

問54 貴施設は小児または妊産婦を専門に診療する医療機関（いわゆる、こども病院）ですか。
(回答はひとつ)

- | |
|--------|
| 1. はい |
| 2. いいえ |

問55-1-1 小児科病床数（単独計上）（※NICU・GCU・PICUは含まない）をお答えください。
※小児科の患者が病棟の入院患者の半数以上を占める病棟の病床数の和。
(回答は数字)

床

⇒ 「0床」の場合は問55-1-4に進んでください。

(小児科病床数>0の施設に伺います)

問55-1-2 貴施設の小児入院医療管理料の届出としてあてはまるものをお答えください。
(回答はひとつ)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 小児入院医療管理料1 | 2. 小児入院医療管理料2 |
| 3. 小児入院医療管理料3 | 4. 小児入院医療管理料4 |
| 5. 小児入院医療管理料5 | 6. なし |

(小児科病床数>0の施設に伺います)

問55-1-3 小児科医師数（常勤換算）をお答えください。
(回答は数字)

人

※1. 非常勤職員の「常勤換算」は以下の方法で計算し、小数点第1位（小数点第2位を四捨五入）までご記入ください。

- 1週間に数回勤務の場合：（非常勤職員の1週間の勤務時間）÷（貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間）
- 1カ月に数回勤務の場合：（非常勤職員の1カ月の勤務時間）÷（貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間×4）

問55-1-4小児科に関連する当直の有無を以下の中から、最もあてはまるものをお答えください。
(回答はひとつ)

- | | | | |
|----------|-------------|-----------|-------|
| 1. 小児科のみ | 2. 小児科とNICU | 3. NICUのみ | 4. なし |
|----------|-------------|-----------|-------|

問55-2-1 ICU 病床数 (PICU 及び ICU のうち主に小児用として用いる病床数) をお答えください。

※PICU：小児集中治療室は診療報酬上の要件を満たす満たさないにかかわらず記入。

(回答は数字)

床

⇒ 「0 床」の場合は問55-3-1に進んでください。

(小児用として運用しているICU (PICU) >0 の施設に伺います)

問55-2-2 小児特定集中治療管理料の届出の有無をお答えください。

(回答はひとつ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. あり | 2. なし |
|-------|-------|

(小児用として運用しているICU (PICU) >0 の施設に伺います)

問55-2-3 PICU 専属医師数 (常勤換算) をお答えください。

(回答は数字)

人

※1. 非常勤職員の「常勤換算」は以下の方法で計算し、小数点第1位 (小数点第2位を四捨五入) までご記入ください。

■1週間に数回勤務の場合：(非常勤職員の1週間の勤務時間) ÷ (貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間)

■1カ月に数回勤務の場合：(非常勤職員の1カ月の勤務時間) ÷ (貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間×4)

問55-3-1 NICU 病床数をお答えください。

※NICU は新生児特定集中治療室管理料の施設基準を満たしているものをいう。(「総合周産期特定集中治療室管理料」に含まれる「新生児集中治療室」の病床を含む。)

(回答は数字)

床

⇒ 「0 床」の場合は問55-4-1に進んでください。

(NICU>0 の施設に伺います)

問55-3-2 貴施設にあてはまる区分をお答えください。

(回答はひとつ)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 総合周産期特定集中治療室管理料2 (新生児集中治療室管理料) |
| 2. 新生児特定集中治療室管理料1 |
| 3. 新生児特定集中治療室管理料2 |

問55-4-1 GCU 病床数をお答えください。

※GCU：新生児治療回復室は診療報酬上の要件を満たす満たさないにかかわらず記入。

(回答は数字)

床

(GCU>0の施設に伺います)

問55-4-2 新生児治療回復室入院医療管理料・小児入院医療管理料 1～5 のいずれを算定していますか。あてはまる区分をお答えください。

(回答はひとつ)

1. 新生児治療回復室入院医療管理料・小児入院医療管理料1
2. 新生児治療回復室入院医療管理料・小児入院医療管理料2
3. 新生児治療回復室入院医療管理料・小児入院医療管理料3
4. 新生児治療回復室入院医療管理料・小児入院医療管理料4
5. 新生児治療回復室入院医療管理料・小児入院医療管理料5
6. なし

(GCU>0の施設に伺います)

問55-4-3 新生児治療回復室入院医療管理料の有無をお答えください。

(回答はひとつ)

1. あり 2. なし

(NICU>0の施設に伺います)

問55-4-4 NICU 専属(新生児科)医師数(常勤換算)をお答えください。

(回答は数字)

人

※1. 非常勤職員の「常勤換算」は以下の方法で計算し、小数点第1位(小数点第2位を四捨五入)までご記入ください。

■1週間に数回勤務の場合：(非常勤職員の1週間の勤務時間)÷(貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間)

■1カ月に数回勤務の場合：(非常勤職員の1カ月の勤務時間)÷(貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間×4)

(NICU>0の施設に伺います)

問55-4-5 NICU 当直の体制についてあてはまるものをお答えください。

(回答はひとつ)

1.小児科当直とは別	2.小児科当直が兼務	3.なし
------------	------------	------

問55-4-6 オンコール体制の有無をお答えください。

(回答はひとつ)

1. あり 2. なし

(小児科に関連する当直で小児科または NICU の当直があると回答した方に伺います。)

問55-5 1日の当直人数について、以下をお答えください。

※該当なしは0と回答してください。

※PICU や NICU が 0 床の場合、下記の「PICU 当直 (兼務含む)」や「NICU 当直 (兼務含む)」の入力項目は回答画面では表示されません。

(回答は数字)

小児科当直(兼務含む)	人
PICU 当直(兼務含む)	人
NICU 当直(兼務含む)	人
小児科と NICU 全体の当直(兼務を含まない)	人

問 58 以下の病床数をお答えください。

(回答は半角数字)

産科の病床数	MFICU
床	床

※産科の病床数は、それぞれ当該診療科の患者が病棟の入院患者の半数以上を占める病棟の病床数の和。

※MFICU は、総合周産期特定集中治療室管理料 (母体・胎児)、の施設基準または要件を満たすものをいう。

※産科の病床数に MFICU の病床数は含まないでください。

◎貴院の実績等

問59 平成31年1月～令和元年10月までと令和2年1月～10月の分娩などの実績件数をお答えください。

※各月の③うち37週以降の早産以外件数（死産含）と④うち妊娠28週以降37週未満の早産件数（死産含）⑤うち妊娠28週未満の早産件数（死産含）の合計が、①分娩件数（死産含、妊娠22週以降）になるように回答してください。

（回答は数字）

分娩件数		1月	2月	3月	4月	5月
①分娩件数（死産含、妊娠22週以降）	平成31年・令和元年	件	件	件	件	件
	令和2年	件	件	件	件	件
	①うち帝王切開数（死産含）	平成31年・令和元年	件	件	件	件
		令和2年	件	件	件	件
	③うち37週以降の早産以外件数（死産含）	平成31年・令和元年	件	件	件	件
		令和2年	件	件	件	件
	④うち妊娠28週以降37週未満の早産件数（死産含）	平成31年・令和元年	件	件	件	件
		令和2年	件	件	件	件
	⑤うち妊娠28週未満の早産件数（死産含）	平成31年・令和元年	件	件	件	件
		令和2年	件	件	件	件
	母体搬送受け入れ実績	平成31年・令和元年	件	件	件	件
		令和2年	件	件	件	件

分娩件数		6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
①分娩件数(死産含、 妊娠22週以降)	平成 31 年・ 令和元年	件	件	件	件	件
	令和 2 年	件	件	件	件	件
	②うち帝王切開数 (死産含)	平成 31 年・ 令和元年	件	件	件	件
		令和 2 年	件	件	件	件
	③うち 37 週以降の 早産以外件数 (死産含)	平成 31 年・ 令和元年	件	件	件	件
		令和 2 年	件	件	件	件
	④うち妊娠 28 週以 降 37 週未満の早産 件数 (死産含)	平成 31 年・ 令和元年	件	件	件	件
		令和 2 年	件	件	件	件
	⑤うち妊娠 28 週未 満の早産件数 (死産含)	平成 31 年・ 令和元年	件	件	件	件
		令和 2 年	件	件	件	件
	母体搬送受け入れ実績	平成 31 年・ 令和元年	件	件	件	件
		令和 2 年	件	件	件	件

◎貴院の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）等の妊産婦・新生児の受け入れ実績等

問60 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）関連妊産婦・新生児受入実績（症例数）を記入してください。

（回答は数字）

※ここでの妊産婦は妊婦と産褥婦をいいます。また産婦は産褥婦をいいます。

※「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染患者の疑い」は、PCR 検査または抗原検査を行った者のうち、症状の有無にかかわらず全件に実施するスクリーニング目的で実施した患者は除いた患者をいいます。

実績(症例数)			妊産婦		
			検査陽性	疑い	感染者の濃厚接触者
妊娠中(分娩なし)	令和 2 年1月～5月		人	人	人
	令和 2 年 6 月～10月		人	人	人
分娩対応した妊婦	令和 2 年1月～5月	37 週以降	人	人	人
	令和 2 年 6 月～10月	37 週未満	人	人	人
産 婦（産 褥 婦）	令和 2 年1月～5月		人	人	人
	令和 2 年 6 月～10月		人	人	人

実績(症例数)		新生児		
		検査結果未着	検査結果陰性	検査結果陽性
陽性または疑い・濃厚接触者母体から出生した新生児	令和 2 年1月～5月	人	人	人
	令和 2 年 6 月～10月	人	人	人

問61 他院からの新型コロナウイルス感染症（COVID-19）関連妊産婦・新生児の受入お断りした症例数を記入してください。

（回答は数字）

※ここでの妊産婦は妊婦と産褥婦をいいます。また産婦は産褥婦をいいます。

※「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染患者の疑い」は、PCR 検査または抗原検査を行った者のうち、症状の有無にかかわらず全件に実施するスクリーニング目的で実施した患者は除いた患者をいいます。

お断りした症例数		妊産婦		
		検査陽性	疑い	感染者の濃厚接触者
妊娠中	令和2年 1月～5月	人	人	人
	令和2年 6月～10月	人	人	人
分娩中	令和2年 1月～5月	人	人	人
	令和2年 6月～10月	人	人	人
産婦（産褥婦）	令和2年 1月～5月	人	人	人
	令和2年 6月～10月	人	人	人

お断りした症例数		新生児		
		検査結果未着	検査結果陰性	検査結果陽性
新生児	令和2年 1月～5月	人	人	人
	令和2年 6月～10月	人	人	人

(問6 1 他院からの新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者受入お断りの実績数が1人以上の施設に伺います)

問6 2-1 他院からの新型コロナウイルス感染症(COVID-19)関連妊産婦・新生児の受入お断りした理由にあてはまるものをすべてお答えください。また、その中で最も大きい理由を1つだけお答えください。

※ここでの妊産婦は妊婦と産褥婦をいいます。また産婦は産褥婦をいいます。

(お断りした理由: 回答はいくつでも)

(最も大きな理由: 回答はひとつ)

	お断りした理由	最も大きな理由
1. 対応できる医師・スタッフがいないかった ⇒ 問6 2-2を回答してください	1	1
2. 通常診療のため、受け入れる人的な余裕がなかった	2	2
3. 院内に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対応可能な病床の空きがなかった	3	3
4. 産科病棟内に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対応可能な病床の空きがなかった	4	4
5. 新生児用の病床で新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対応可能な病床の空きがなかった	5	5
6. 分娩室の構造上対応できなかった	6	6
7. 緊急手術対応等の手術室の体制が取れなかった	7	7
8. 検査体制上対応できなかった	8	8
9. 病院としての方針	9	9
10. 十分な個人防護具(PPE)が無かった	10	10
11. 感染対策が十分になされていなかった	11	11
12. その他(具体的に:)	12	12

(他院からの新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者受入をお断りした理由で「対応できる医師・スタッフがいないかった」と回答した施設に伺います)

問6 2-2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)関連妊産婦・新生児に対応できる医師・スタッフにあてはまるものをすべてお答えください。

※ここでの妊産婦は妊婦と産褥婦をいいます

(回答はいくつでも)

1. 感染症の専門家 2. 産婦人科医 3. 新生児科医 4. 助産師 5. 看護師 6. その他(具体的に:)
--

問63 貴院の所在する地域他施設が新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者発生等（院内感染やクラスター含）の影響で妊産婦・新生児の受け入れが困難になった場合に、他施設かかりつけの非感染妊産婦・新生児の受入について貴院の対応としてあてはまるものを選択してください。

※ここでの妊産婦は妊婦と産褥婦をいいます。また産婦は産褥婦をいいます。

（回答は2つまで）

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">1. 他院からの非感染妊産婦・新生児受け入れ実績あり2. 他院からの非感染妊産婦・新生児受け入れお断りあり
(お断りの理由:)3. 他院からの非感染妊産婦・新生児受け入れ実績なし |
|--|

新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた、 地域における医療提供体制の強化のための研究

周産期医療分野別調査票

＜ご回答される医療施設のご担当者さま＞

- 各都道府県における医療提供体制の確保を図るため、5 疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神疾患）・5 事業（救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療）＋在宅医療に係る指標の見直し、疾病・事業横断的な医療提供体制の構築等が盛り込まれた各都道府県の医療計画が策定されています。医療計画については、平時、および今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のような感染症の流行下においても対応できる計画であることが期待されています。
- 一方で、今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行により、各地域で医療需要が増大する等、地域の医療提供体制に様々な影響がありました。今後も同様の状況が起こりうることが予想され、感染症の流行に地域で適切に対応することが必要です。
- そこで本厚生労働科学研究班は、5 事業（救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療）＋在宅医療における今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による影響を明らかにし、感染症の流行等における効率的な医療提供体制の方法を検討することを目的としています。
- 本調査のデータは、医療施設が識別される形で集計を行うことはありません。調査結果は、施設・個人が識別されない形にした上で、関係する国の検討会等に報告するとともに、学会発表、論文、研究報告書等として公表する予定です。なお、本研究は、千葉大学の倫理委員会の審査・承認を得て実施しています（承認日令和2年11月19日：承認番号3926）。
- 本調査結果は、国の検討会にも報告することを予定しており、今後の医療計画や医療提供体制の在り方について検討する上で資料として活用されることが期待されております。このような調査の趣旨を踏まえ、回答者様におかれましては、お忙しい中恐縮ですが、ぜひ、調査にご協力いただきますようお願いいたします。
- 本調査は、12月28日（月）までにご回答ください。

お問い合わせ先（「新型コロナウイルス感染症による医療計画への影響に係る調査」事務局）
メールアドレス：toiawase-kaken2020@intage.com
フリーダイヤル：0120-856-780
（受付時間：祝日を除く月～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00）

**令和2年度厚生労働行政推進調査事業費補助金
（厚生労働科学特別研究事業）**

特に断りのない場合は、令和2年11月1日時点の状況をお答えください。

問 1—1 貴院で対応している診療科についてお答えください。

(回答はひとつ)

1. 産科と新生児科の両方
2. 産科のみ
3. 新生児科のみ

(産科と新生児科の両方と回答した施設に伺います。)

問 1—2 産科と新生児科の質問で、回答者は分かりますか。

(回答はひとつ)

1. 産科と新生児科で回答者は同じ
2. 産科と新生児科で回答者は分かれる

※記載の上での注意事項：

2医療機関が連携して周産期母子医療センターの指定を受けている場合には、主に妊産婦等の対応を行う医療機関が産科対象質問(問2～問10—3)をお答え頂き、病的新生児等の対応を行う医療機関が新生児科対象質問(問11～問16—5)をお答えください。

(問 1—1 で「産科と新生児科の両方」「産科のみ」と回答した施設に伺います。)

(産科対象質問)

◎貴院の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)等の妊産婦への対応

問2 貴院で以下のケースごとに受け入れの可否をお答えください。受け入れない場合は理由もお答えください。

(回答はひとつ)

※ここでの妊産婦は妊婦と産褥婦をいいます。また産婦は産褥婦をいいます。

※「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染患者の疑い」は、PCR検査または抗原検査を行った者のうち、症状の有無にかかわらず全件に実施するスクリーニング目的で実施した患者を除いた患者をいいます。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)妊産婦	1.受け入れる	2.受け入れない (理由:)
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)疑い妊産婦	1.受け入れる	2.受け入れない (理由:)
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者の濃厚接触者である妊産婦	1.受け入れる	2.受け入れない (理由:)

(問2で「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)妊産婦を受け入れる」と回答した施設に伺います。)

問2-1 貴院で以下のケースごとに受け入れ可能な新型コロナウイルス感染症(COVID-19)妊産婦をお答えください。

(回答はいくつでも)

※ここでの妊産婦は妊婦と産褥婦をいいます。また産婦は産褥婦をいいます。

※ハイリスク・ローリスク:一次施設で対応可能な妊娠分娩はローリスク、それ以外はハイリスク。

産科合併症の有無別	1. ハイリスク妊産婦を受け入れる 2. ローリスク妊産婦を受け入れる
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の重症度別	1. 無症状妊産婦を受け入れる 2. 軽症妊産婦を受け入れる 3. 中等症妊産婦を受け入れる 4. 重症妊産婦を受け入れる
受け入れが可能な妊娠週数	1. 妊娠37週以降の妊婦を受け入れる 2. 妊娠32週以降、妊娠37週未満の妊婦を受け入れる 3. 妊娠28週以降、妊娠32週未満の妊婦を受け入れる 4. 妊娠24週以降、妊娠28週未満の妊婦を受け入れる 5. 妊娠22週以降、妊娠24週未満の妊婦を受け入れる 6. 妊娠22週未満の妊婦を受け入れる 7. 産婦(産褥婦)を受け入れる 8. 特に週数は決めていない

(問2で「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)妊産婦を受け入れる」と回答した施設に伺います。)

問2-2 貴院の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)妊婦の分娩への対応について、あてはまるものをお答えください。※分娩には経膈分娩及び帝王切開術を含む。

(回答はひとつ)

1. 分娩に対応する
2. 分娩に対応しない

(問 2 で「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 妊産婦を受け入れる」と回答した施設に伺います。)

問 2-3 貴院の新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 妊産婦の受け入れ病床について以下から選択をしてください。

(回答はいくつでも)

※ここでの妊産婦は妊婦と産褥婦をいいます。また産婦は産褥婦をいいます。

分娩開始前	1. 産科病棟以外の新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 対応病棟 2. 産科病棟内の新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 対応病床 3. その他の病床 (具体的に)
経膈分娩進行中の妊婦	1. 産科病棟以外の新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 対応病棟 2. 産科病棟内の新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 対応病床 3. その他の病床 (具体的に) 4. 分娩 (帝王切開を含) には対応しない、もしくは経膈分娩には対応しない (帝王切開のみ対応する)
産婦	1. 産科病棟以外の新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 対応病棟 2. 産科病棟内の新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 対応病床 3. その他の病床 (具体的に)

（問 2 で「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）疑い妊産婦を受け入れる」と回答した施設に伺います。）

問 3-1 貴院で以下のケースごとに受け入れ可能な新型コロナウイルス感染症（COVID-19）疑い妊産婦をお答えください。

（回答はいくつでも）

※ここでの妊産婦は妊婦と産褥婦をいいます。また産婦は産褥婦をいいます。

※「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染患者の疑い」は、PCR 検査または抗原検査を行った者のうち、症状の有無にかかわらず全件に実施するスクリーニング目的で実施した患者を除いた患者をいいます。

産科合併症の有無別	<ol style="list-style-type: none"> 1. ハイリスク妊産婦を受け入れる 2. ローリスク妊産婦を受け入れる
新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症 (COVID-19)疑いの重症度別	<ol style="list-style-type: none"> 1. 無症状妊産婦を受け入れる 2. 軽症妊産婦を受け入れる 3. 中等症妊産婦を受け入れる 4. 重症妊産婦を受け入れる
受け入れが可能な妊娠週数	<ol style="list-style-type: none"> 1. 妊娠37週以降の妊婦を受け入れる 2. 妊娠32週以降、妊娠37週未満の妊婦を受け入れる 3. 妊娠28週以降、妊娠32週未満の妊婦を受け入れる 4. 妊娠24週以降、妊娠28週未満の妊婦を受け入れる 5. 妊娠22週以降、妊娠24週未満の妊婦を受け入れる 6. 妊娠22週未満の妊婦を受け入れる 7. 産婦を受け入れる 8. 特に週数は決めていない

（問 2 で「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）疑い妊産婦を受け入れる」と回答した施設に伺います。）

問 3-2 貴院の新型コロナウイルス感染症疑い妊婦の分娩への対応について、あてはまるものをお答えください。

※分娩には経膈分娩及び帝王切開術を含む

（回答はひとつ）

※「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染患者の疑い」は、PCR 検査または抗原検査を行った者のうち、症状の有無にかかわらず全件に実施するスクリーニング目的で実施した患者を除いた患者をいいます。

<ol style="list-style-type: none"> 1. 分娩に対応する 2. 分娩に対応しない

(問2で「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)疑い妊産婦を受け入れる」と回答した施設に伺います。)

問3-3 貴院の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)疑い妊産婦の受け入れ病床について以下から選択をしてください。

(回答はいくつでも)

※ここでの妊産婦は妊婦と産褥婦をいいます。また産婦は産褥婦をいいます。

※「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染患者の疑い」は、PCR検査または抗原検査を行った者のうち、症状の有無にかかわらず全件に実施するスクリーニング目的で実施した患者を除いた患者をいいます。

分娩開始前	1. 産科病棟以外の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応病棟 2. 産科病棟内の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応病床 3. その他の病床(具体的に)
経膈分娩進行中の妊婦	1. 産科病棟以外の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応病棟 2. 産科病棟内の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応病床 3. その他の病床(具体的に) 4. 分娩(帝王切開を含)には対応しない、もしくは経膈分娩には対応しない(帝王切開のみ対応する)
産婦	1. 産科病棟以外の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応病棟 2. 産科病棟内の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応病床 3. その他の病床(具体的に)

(問2で「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者の濃厚接触者である妊産婦を受け入れる」と回答した施設に伺います。と回答した施設に伺います。)

問4-1 貴院で以下のケースごとに受け入れ可能な新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の者の濃厚接触者である妊産婦をお答えください。

(回答はいくつでも)

※ここでの妊産婦は妊婦と産褥婦をいいます。また産婦は産褥婦をいいます。

※ハイリスク・ローリスク：一次施設で対応可能な妊娠分娩はローリスク、それ以外はハイリスク。

産科合併症の有無別	1. ハイリスク妊産婦を受け入れる 2. ローリスク妊産婦を受け入れる
受け入れが可能な妊娠週数	1. 妊娠37週以降の妊婦を受け入れる 2. 妊娠32週以降、妊娠37週未満の妊婦を受け入れる 3. 妊娠28週以降、妊娠32週未満の妊婦を受け入れる 4. 妊娠24週以降、妊娠28週未満の妊婦を受け入れる 5. 妊娠22週以降、妊娠24週未満の妊婦を受け入れる 6. 妊娠22週未満の妊婦を受け入れる 7. 産婦を受け入れる 8. 特に週数は決めていない

(問2で「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者の濃厚接触者である妊産婦を受け入れる」と回答した施設に伺います。)

問4-4 貴院の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の者の濃厚接触者である妊産婦の受け入れ病棟について以下から選択をしてください。

(回答はいくつでも)

※ここでの妊産婦は妊婦と産褥婦をいいます。また産婦は産褥婦をいいます。

分娩開始前	1. 産科病棟以外の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応病棟 2. 産科病棟内の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応病床 3. その他の病床(具体的に)
経膈分娩進行中の妊婦	1. 産科病棟以外の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応病棟 2. 産科病棟内の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応病床 3. その他の病床(具体的に) 4. 分娩(帝王切開を含)には対応しない、もしくは経膈分娩には対応しない (帝王切開のみ対応する)
産婦	1. 産科病棟以外の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応病棟 2. 産科病棟内の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応病床 3. その他の病床(具体的に)

◎貴院の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者等の分娩に対応する場合の方針

(問2-2「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)妊産婦の分娩に対応する」と回答した施設に伺います。)

問5-1 貴院の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)妊婦の分娩方針について以下から最もあてはまるものをお選びください。

(回答はひとつ)

※ここでの妊産婦は妊婦と産褥婦をいいます

- | |
|----------------------------------|
| 1. 帝王切開術を行う
2. 状況により分娩方法を判断する |
|----------------------------------|

(問5-1「帝王切開術を行う」と回答した施設に伺います。)

問5-2 貴院の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)妊婦の分娩方針で帝王切開術を選択する理由をすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

※ここでの妊産婦は妊婦と産褥婦をいいます。また産婦は産褥婦をいいます。

1. 院内感染防止目的
2. 分娩室が感染症に対応していないため(陰圧室がない等)
3. 個人防護具(PPE)が足りていないため
4. 人手がたりないため
5. その他(具体的に:)

(問5-1「状況により分娩方法を判断する」と回答した施設に伺います。)

問5-3 貴院の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)妊婦が経膈分娩を行う際に、どのような対応をしていますか。あてはまるものをすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

1. 既存の陰圧対応の分娩室で対応する
2. 臨時的に陰圧対応とした分娩室で対応する
3. 既存の貴院内の陰圧室を臨時的に分娩室として対応する
4. 陰圧対応ではない分娩室で対応する
5. その他(具体的に:)

(問5-1「状況により分娩方法を判断する」と回答した施設に伺います。)

問5-4 貴院の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)妊婦の分娩は状況により方法を判断する基準をすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

1. 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の重症度で判断を行う
2. 産科的適応で判断する
3. その他(具体的に:)

(問5-4「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の重症度で判断を行う」と回答した施設に伺います。)

問5-5 貴院で新型コロナウイルス感染症(COVID-19)妊婦の分娩が帝王切開術となる重症度(妊娠についての重症度ではなく、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の重症度)をすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

1. 重症
2. 中等症
3. 軽症
4. 無症状

問5-6 貴院の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）妊婦に対して帝王切開術を行う際に、どのような対応をしていますか。あてはまるものをすべてお答えください。

（回答はいくつでも）

1. 既存の陰圧対応の手術室で対応する
2. 臨時的に陰圧対応とした手術室で対応する
3. 陰圧対応ではない手術室で対応する
4. その他（具体的に： _____）

（問5-1「分娩は帝王切開術を行う」と回答した施設に伺います。）

問5-7 十分なインフォームドコンセントの末、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の妊婦が経膈分娩を希望した場合に貴院ではどのような対応をしますか。

（回答はひとつ）

1. 貴院で経膈分娩を行う
2. 他院を紹介する
3. その他（具体的に： _____）

◎貴院における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）疑い患者、未検査及び検査結果待ちの濃厚接触者である妊婦の分娩に対応する場合の方針

（問3-2「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）疑い妊産婦の分娩に対応する」または問4-2「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の者の濃厚接触者である妊婦の分娩に対応する」と回答した施設に伺います。）

問6-1 貴院の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）疑い妊婦または検査及び検査結果待ちの濃厚接触者である妊婦の分娩方針について以下から最もあてはまるものをお選びください。

（回答はひとつ）

※「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染患者の疑い」は、PCR 検査または抗原検査を行った者のうち、症状の有無にかかわらず全件に実施するスクリーニング目的で実施した患者を除いた患者をいいます。

1. 帝王切開術を行う
2. 状況により分娩方法を判断する

(問6-1「帝王切開術を行う」と回答した施設に伺います。)

問6-2 貴院の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)疑い妊婦または検査及び検査結果待ちの濃厚接触者である妊婦の分娩方針で帝王切開術を選択する理由をすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

※「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染患者の疑い」は、PCR検査または抗原検査を行った者のうち、症状の有無にかかわらず全件に実施するスクリーニング目的で実施した患者を除いた患者をいいます。

1. 院内感染防止目的
2. 分娩室が感染症に対応していないため(陰圧室がない等)
3. 個人防護具(PPE)が足りていないため
4. 人手がたりないため
5. その他(具体的に:)

(問6-1「状況により方法を判断する」と回答した施設に伺います。)

問6-3 貴院の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)疑い妊婦または検査及び検査結果待ちの濃厚接触者である妊婦の分娩は状況により方法を判断する基準をすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

※「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染患者の疑い」は、PCR検査または抗原検査を行った者のうち、症状の有無にかかわらず全件に実施するスクリーニング目的で実施した患者を除いた患者をいいます。

1. 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)を疑う理由になった症状の重症度で判断を行う
2. 産科的適応で判断する
3. その他(具体的に:)

(問6-3「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)を疑う理由になった症状の重症度で判断を行う」と回答した施設に伺います。)

問6-4 貴院で新型コロナウイルス感染症(COVID-19)疑い妊婦または検査及び検査結果待ちの濃厚接触者である妊婦の分娩が帝王切開術となる重症度(妊娠についての重症度ではなく、疑う理由になった症状の重症度)をすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

※「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染患者の疑い」は、PCR検査または抗原検査を行った者のうち、症状の有無にかかわらず全件に実施するスクリーニング目的で実施した患者を除いた患者をいいます。

1. 重症
2. 中等症
3. 軽症
4. 無症状

◎新型コロナウイルス感染症（COVID-19）妊産婦・新生児受け入れ体制を整備した際の課題と実際の対応

（問１－１で「産科と新生児科の両方」「産科のみ」と回答した施設に伺います。）

施設の構造に関する課題（動線）

問７－１ 貴院の緊急入院時の動線について、以下から最もあてはまるものをお選びください。

（回答はひとつ）

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 動線を分けられる 2. 動線を分けられない |
|---|

（問１－１で「産科と新生児科の両方」「産科のみ」と回答した施設に伺います。）

施設の構造に関する課題（ゾーニング）

問７－２ 貴院のゾーニングについて、以下から最もあてはまるものをお選びください。

（回答はひとつ）

産科病棟	<ol style="list-style-type: none"> 1. ゾーニングできる 2. ゾーニングできない
分娩室	<ol style="list-style-type: none"> 1. ゾーニングできる 2. ゾーニングできない
手術室	<ol style="list-style-type: none"> 1. ゾーニングできる 2. ゾーニングできない

(問1-1で「産科と新生児科の両方」「産科のみ」と回答した施設に伺います。)

問7-3 貴院の陰圧設備の整備状況について、以下からあてはまるものをお選びください。

また、整備済み、整備予定は病床・室数もお答えください。

(回答は2つまで)

※整備済みでさらに増設予定がある場合は「整備済み」と「整備予定」の両方をお答え下さい。

MFICU	1. 整備済み 病床数() 2. 整備予定 病床数() 3. 整備予定なし
分娩室	1. 整備済み 室数() 2. 整備予定 室数() 3. 整備予定なし
手術室	1. 整備済み 室数() 2. 整備予定 室数() 3. 整備予定なし
産科病棟	1. 整備済み 室数() 2. 整備予定 室数() 3. 整備予定なし

◎通常診療体制との関係

(問2でいずれか「受け入れる」と回答した施設に伺います。)

問8-1 貴院の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者の受け入れに当たって貴院での取り組みについてあてはまるものをすべて選択してください。

(回答はいくつでも)

1. MFICUの入院制限を行う
2. 母体搬送の受け入れ制限を行う
3. 分娩予約数を制限する
4. 里帰り分娩の受け入れを中止する
5. 里帰り分娩受け入れの制限を行う
6. 立会分娩を中止する
7. 立会分娩を制限する
8. 面会を禁止する
9. 面会を制限する
10. 妊婦健診の通院間隔を延す
11. 妊婦健診にオンライン診療を導入する
12. その他 (対応の内容)
13. 特に何も変更はない

(問1-1で「産科と新生児科の両方」「産科のみ」と回答した施設に伺います。)

問8-2 貴院の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)等妊産婦・新生児の受け入れ如何にかかわらず貴院での取り組みについてあてはまるものをすべて選択してください。

(回答はいくつでも)

※ここでの妊産婦は妊婦と産褥婦をいいます。

1. 里帰り分娩の受け入れを中止した
2. 里帰り分娩受け入れの制限を行った
3. 立会分娩を中止した
4. 立会分娩を制限した
5. 妊婦健診の通院間隔を延ばした
6. 妊婦健診にオンライン診療を導入した
7. その他 (対応の内容 その理由と概要)
8. 特に何も変更はなかった

問 8-3 貴院の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策についてその他なにか取り組みがありましたらお書きください。

※何もない場合は「なし」と入力してください。

※自由回答欄には 1,000 文字まで入力できます。

◎都道府県における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に係る産科医療提供体制の整備状況について

（問 1-1 で「産科と新生児科の両方」「産科のみ」と回答した施設に伺います。）

問 9-1 貴院が所在する都道府県の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者等の産科医療提供体制について、以下から最もあてはまるものをお選びください。

※産科症例の受け入れ体制とは、新型コロナウイルス感染症等の妊産婦の受け入れ体制をさします。（回答はひとつ）

1. 産科症例の受け入れ体制は整備されていると考えている
2. 産科症例の受け入れ体制が整備されていないと考えている

(問9-1「産科症例の受け入れ体制が整備されていないと考えている」と回答した施設に伺います。)

問9-2 貴院が所在する都道府県の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者等の産科症例の受け入れ体制が整備されていないと考える理由について、あてはまるものをすべてお選びください。

(回答はいくつでも)

※ここでの妊産婦は妊婦と産褥婦をいいます。

※「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染患者の疑い」は、PCR検査または抗原検査を行った者のうち、症状の有無にかかわらず全件に実施するスクリーニング目的で実施した患者を除いた患者をいいます。

1. 陽性妊産婦受け入れ施設を知らない
2. 陽性妊産婦の受け入れ施設は決まっているが足りないと感じている
3. 疑い妊産婦の定義等地域としての対応方針が決まっていない、もしくは知らない
4. 疑い妊産婦の受け入れ施設が決まっていないもしくは知らない
5. 疑い妊産婦の受け入れ施設は決まっているが足りないと考えている
6. 濃厚接触者である妊産婦の受け入れ施設が決まっていないもしくは知らない
7. 濃厚接触者である妊産婦の受け入れ施設が決まっているが足りないと考えている
8. 陽性・疑い・濃厚接触者の妊産婦から生まれた新生児の受け入れ施設が決まっていない、もしくは知らない
9. 陽性・疑い・濃厚接触者の妊産婦から生まれた新生児の受け入れ施設が足りないと考えている
10. その他(具体的に:)

(問1-1で「産科と新生児科の両方」「産科のみ」と回答した施設に伺います。)

問9-3 貴院が所在する都道府県の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)等産科症例の受け入れ先調整体制整備について、以下から最もあてはまるものをお選びください。

※受け入れ先調整体制とは、新型コロナウイルス感染症等の妊産婦の入院先の調整を行う体制をさします。

(回答はひとつ)

1. 産科症例の受け入れ先調整体制が整備されていると考えている
2. 産科症例の受け入れ先調整体制が整備されていないと考えている

(問9-3で「産科症例の受け入れ先調整体制が整備されていると考えている」と回答した施設に伺います。)

問9-4 貴院が所在する都道府県における新型コロナウイルス感染症(COVID-19)等産科症例の入院調整を行う機関は以下のどこになりますか。あてはまるものをすべてお選びください。

(回答はいくつでも)

1. 保健所
2. 都道府県庁新型コロナ対策本部など
3. 災害時小児周産期リエゾン
4. 総合周産期母子医療センター
5. その他(具体的に: _____)

(問9-3で「産科症例の受け入れ先調整体制が整備されていると考えている」と回答した施設に伺います。)

問9-5 産科症例の受け入れ先調整体制の概要を教えてください。

※自由回答欄には 1,000 文字まで入力できます。

◎感染症対策の取り組みについて

（問 1-1 で「産科と新生児科の両方」「産科のみ」と回答した施設に伺います。）

問 10-1 平時より新興感染症・再興感染症の流行が起こった時のための対応訓練を行っていましたか。以下から最もあてはまるものをお選びください。

（回答はひとつ）

1. 対応訓練をしていた
2. 対応訓練をしていなかった

（問 1-1 で「産科と新生児科の両方」「産科のみ」と回答した施設に伺います。）

問 10-2 感染症対応の事業継続計画（BCP）を策定していましたか。以下から最もあてはまるものをお選びください。

（回答はひとつ）

1. 策定している
2. 策定していない

（問 1-1 で「産科と新生児科の両方」「産科のみ」と回答した施設に伺います。）

問 10-3 平時より貴院が所在する都道府県の感染症予防計画について内容を把握していましたか。以下から最もあてはまるものをお選びください。

（回答はひとつ）

1. 把握している
2. 把握していない

(新生児科の先生に伺います)

◎貴院の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）等の対応

(問 1-1 で「産科と新生児科の両方」「新生児科のみ」と回答した施設に伺います。)

問 11 貴院で以下のケースごとに受け入れの可否をお答えください。受け入れない場合は理由もお答えください。

(回答はひとつ)

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の母体から生まれた新生児 児の未検もしくは結果未着	1. 受け入れる	2. 受け入れない (理由:)
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の母体から生まれた新生児 児の検査結果陰性	1. 受け入れる	2. 受け入れない (理由:)
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の母体から生まれた新生児 児の検査結果陽性	1. 受け入れる	2. 受け入れない (理由:)

(問 1 1 で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の母体から生まれた新生児を受け入れると回答した施設に伺います)

問 1 2 貴院で以下のケースごとに新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の母体から生まれた新生児への対応方針にあてはまるものをお答えください。

(回答はひとつ)

		新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の母体から生まれた新生児への対応方針		
		Q12_1 未検もしくは結果未着	Q12_2 結果陰性	Q12_3 結果陽性
合併症の有無	①呼吸障害等の合併症を有する病的新生児の受け入れ	1. 受け入れる 2. 受け入れない	1. 受け入れる 2. 受け入れない	1. 受け入れる 2. 受け入れない
	②特に合併症を有さない新生児の受け入れ	1. 受け入れる 2. 受け入れない	1. 受け入れる 2. 受け入れない	1. 受け入れる 2. 受け入れない
在胎週数別	③妊娠 37 週以降	1. 受け入れる 2. 受け入れない	1. 受け入れる 2. 受け入れない	1. 受け入れる 2. 受け入れない
	④妊娠 32 週以降妊娠 37 週未満	1. 受け入れる 2. 受け入れない	1. 受け入れる 2. 受け入れない	1. 受け入れる 2. 受け入れない
	⑤妊娠 28 週以降妊娠 32 週未満	1. 受け入れる 2. 受け入れない	1. 受け入れる 2. 受け入れない	1. 受け入れる 2. 受け入れない
	⑥妊娠 24 週以降妊娠 28 週未満	1. 受け入れる 2. 受け入れない	1. 受け入れる 2. 受け入れない	1. 受け入れる 2. 受け入れない
	⑦妊娠 22 週以降妊娠 24 週未満	1. 受け入れる 2. 受け入れない	1. 受け入れる 2. 受け入れない	1. 受け入れる 2. 受け入れない

(問 1 1 で新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の母体から生まれた新生児を受け入れると回答した施設に伺います)

問 1 3 以下のケースについて、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の母体から生まれた新生児の貴院の受け入れ方針について、あてはまるものをすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

		新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の母体から生まれた新生児		
		未検もしくは結果未着	結果陰性	結果陽性
合併症のない新生児の受け入れ病棟	産科病棟の新型コロナウイルス感染症対応新生児病床	1	1	1
	産科病棟の一般新生児室 (隔離あり)	2	2	2
	産科病棟の一般新生児室 (隔離なし)	3	3	3
	母児同室 (隔離あり)	4	4	4
	NICU の新型コロナウイルス感染症対応病床	5	5	5
	その他の病床 (通常 NICU 病床含む)	6	6	6

		新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の母体から生まれた新生児		
		未検もしくは結果未着	結果陰性	結果陽性
呼吸障害等の合併症を有する病的新生児の受け入れ病棟	産科病棟の新型コロナウイルス感染症対応新生児病床	1	1	1
	産科病棟の一般新生児室 (隔離あり)	2	2	2
	産科病棟の一般新生児室 (隔離なし)	3	3	3
	母児同室 (隔離あり)	4	4	4
	NICU の新型コロナウイルス感染症対応病床	5	5	5
	その他の病床 (通常 NICU 病床含む)	6	6	6

◎新型コロナウイルス感染症（COVID-19）妊産婦・新生児受け入れ体制を整備した際の課題と実際の対応

（問１－１で「産科と新生児科の両方」「新生児科のみ」と回答した施設に伺います。）

施設の構造に関する課題（動線）

問１４－１ 貴院の緊急入院時の動線について、以下から最もあてはまるものをお選びください。

（回答はひとつ）

- | |
|-----------------------------|
| 1. 動線を分けられる
2. 動線を分けられない |
|-----------------------------|

（問１－１で「産科と新生児科の両方」「新生児科のみ」と回答した施設に伺います。）

施設の構造に関する課題（ゾーニング）

問１４－２ 貴院のゾーニングについて、以下から最もあてはまるものをお選びください。

（回答はひとつ）

NICU	1. ゾーニングできる 2. ゾーニングできない
GCU	1. ゾーニングできる 2. ゾーニングできない
新生児室	1. ゾーニングできる 2. ゾーニングできない

（問１－１で「産科と新生児科の両方」「新生児科のみ」と回答した施設に伺います。）

問１４－３ 貴院の陰圧設備の整備状況について、以下からあてはまるものをお選びください。

また、整備済み、整備予定は病床・室数もお答えください

（回答は２つまで）

※整備済みでさらに増設予定がある場合は「整備済み」と「整備予定」の両方をお答え下さい。

※陰圧室は前室の有無を問いません。

NICU	1. 整備済み 病床数() 2. 整備予定 病床数() 3. 整備予定なし
新生児室	1. 整備済み 病床数() 2. 整備予定 病床数() 3. 整備予定なし

◎通常診療体制との関係

(問11で「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の母体から生まれた新生児を受け入れる」と回答した施設に伺います。)

問15-1 貴院の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者の受け入れに当たって貴院での取り組みについてあてはまるものをすべて選択してください。

(回答はいくつでも)

1. NICUの入院制限を行う
2. 新生児搬送の受け入れ制限を行う
3. 面会を禁止
4. 面会を制限
5. その他(対応の内容))
6. 特に何も変更はない

(問1-1で「産科と新生児科の両方」「新生児科のみ」と回答した施設に伺います。)

問15-2 貴院の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)等妊産婦・新生児の受け入れ如何にかかわらず貴院での取り組みについてあてはまるものをすべて選択してください。

(回答はいくつでも)

※ここでの妊産婦は妊婦と産褥婦をいいます

1. 面会を禁止
2. 面会を制限
3. その他(対応の内容 その理由と概要))
4. 特に何も変更はない

(問1-1で「新生児科のみ」と回答した施設に伺います。)

問15-3 貴院の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策について、その他なにか取り組みがありましたらお書きください。

※自由回答欄には1,000文字まで入力できます。

問１６－１ 貴院が所在する都道府県の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者等の新生児医療提供体制について、以下から最もあてはまるものをお選びください。

1. 新生児症例の受け入れ体制は整備されていると考えている
2. 新生児症例の受け入れ体制が整備されていないと考えている

問１６－２ 貴院が所在する都道府県の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者等の周産期医療提供体制が整備されていないと考える理由について、あてはまるものをすべてお選びください。

※「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染患者の疑い」は、PCR 検査または抗原検査を行った者のうち、症状の有無にかかわらず全件に実施するスクリーニング目的で実施した患者を除いた患者をいいます。

1. 陽性・疑い・濃厚接触者の妊産婦から生まれた新生児の受け入れ施設が決まっていない、もしくは知らない
2. 陽性・疑い・濃厚接触者の妊産婦から生まれた新生児の受け入れ施設が足りないと考えている
3. その他(具体的に:)

(回答はひとつ)

1. 新生児症例の受け入れ先調整体制が整備されていると考えている
2. 新生児症例の受け入れ先調整体制が整備されていないと考えている

(問16-3で「新生児症例の受け入れ先調整体制が整備されていると考えている」と回答した施設に伺います。)

問16-4 貴院が所在する都道府県における新型コロナウイルス感染症(COVID-19)等新生児症例の入院調整を行う機関は以下のどこになりますか。あてはまるものをすべてお選びください。

(回答はいくつでも)

1. 保健所
2. 都道府県庁コロナ対策本部など
3. 災害時小児周産期リエゾン
4. 総合周産期母子医療センター
5. その他(具体的に: _____)

(問16-3で「新生児症例の受け入れ先調整体制が整備されていると考えている」と回答した施設に伺います。)

問16-5 新生児症例の受け入れ先調整体制の概要を教えてください。

※自由回答欄には1,000文字まで入力できます。

質問は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた、 地域における医療提供体制の強化のための研究

へき地医療支援機構分野別調査票

＜ご回答される支援機構のご担当者さま＞

- 各都道府県における医療提供体制の確保を図るため、5 疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神疾患）・5 事業（救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療）＋在宅医療に係る指標の見直し、疾病・事業横断的な医療提供体制の構築等が盛り込まれた各都道府県の二次医療圏単位の医療計画が策定されています。医療計画については、平時、および今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のような感染症の流行下においても対応できる計画であることが期待されています。
- 一方で、今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行により、各地域で医療需要が増大する等、地域の医療提供体制に様々な影響がありました。今後も同様の状況が起こりうることを予想され、感染症の流行に地域で適切に対応することが必要です。
- そこで本厚生労働科学研究班は、5 事業（救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療）＋在宅医療における今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による影響を明らかにし、感染症の流行等における効率的な医療提供体制の方法を検討することを目的としています。
- 本調査のデータは、医療施設が識別される形で集計を行うことはありません。調査結果は、施設・個人が識別されない形にした上で、関係する国の検討会等に報告するとともに、学会発表、論文、研究報告書等として公表する予定です。なお、本研究は、千葉大学の倫理委員会の審査・承認を得て実施しています（承認日令和2年11月19日：承認番号3926）。
- 本調査結果は、国の検討会にも報告することを予定しており、今後の医療計画や医療提供体制の在り方について検討する上で資料として活用されることが期待されています。このような調査の趣旨を踏まえ、回答者様におかれましては、お忙しい中恐縮ですが、ぜひ、調査にご協力いただきますようお願いいたします。
- 本調査は、12月28日（月）までにご回答ください。

お問い合わせ先（「新型コロナウイルス感染症による医療計画への影響に係る調査」事務局）
メールアドレス：toiawase-kaken2020@intage.com
フリーダイヤル：0120-856-780
（受付時間：祝日を除く月～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00）

令和2年度厚生労働行政推進調査事業費補助金
（厚生労働科学特別研究事業）

特に断りのない場合は、令和2年11月1日現在の状況をお答えください。

◎貴機構の状況についてお聞かせください。

問1 都道府県をお答えください。

(回答はひとつ)

1. 北海道	2. 青 森	3. 岩 手	4. 宮 城	5. 秋 田
6. 山 形	7. 福 島	8. 茨 城	9. 栃 木	10. 群 馬
11. 埼 玉	12. 千 葉	13. 東 京	14. 神奈川	15. 新 潟
16. 富 山	17. 石 川	18. 福 井	19. 山 梨	20. 長 野
21. 岐 阜	22. 静 岡	23. 愛 知	24. 三 重	25. 滋 賀
26. 京 都	27. 大 阪	28. 兵 庫	29. 奈 良	30. 和歌山
31. 鳥 取	32. 島 根	33. 岡 山	34. 広 島	35. 山 口
36. 徳 島	37. 香 川	38. 愛 媛	39. 高 知	40. 福 岡
41. 佐 賀	42. 長 崎	43. 熊 本	44. 大 分	45. 宮 崎
46. 鹿児島	47. 沖 縄			

問2 ヘき地医療支援機構を構成する人数を教えてください。

(回答は半角数字)

※該当する職員がいない場合は0とお答えください。

職 種	常 勤	非常勤
都道府県職員	人	人
医師	人	人
看護師	人	人
医師・看護師以外の医療従事者	人	人
その他(具体的に)	人	人

問3 貴都道府県の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の陽性患者数^{（※）}を教えてください。

（回答は半角数字）

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
令和 2 年	人	人	人	人	人

	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
令和 2 年	人	人	人	人	人

（※）報告日ベース

◎以下の質問には、委託先の状況も含めてお答えください。

問4-1 ヘき地医療拠点病院から新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関連したヘき地医療拠点病院の機能や体制についての相談はありましたか。（例：患者の受け入れ、ヘき地で予定していた研修会の中止等）

（回答はひとつ）

1. あった ⇒ 問4-2を回答してください
2. なかった ⇒ 問5-1に進んでください

（相談があったと回答した機構に伺います。）

問4-2 相談はどのような内容でしたか。

問5-1 ヘき地診療所から新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関連したヘき地診療所の機能や体制について相談はありましたか。（例：検査の実施、患者発生時の対応、在宅医療の方法等）

（回答はひとつ）

1. あった ⇒ 問5-2を回答してください
2. なかった ⇒ 問6-1に進んでください

（相談があったと回答した機構に伺います。）

問5-2 相談はどのような内容でしたか。

問6-1 それ以外の施設（へき地医療拠点病院でない一般の医療機関や保健所、役所など）からへき地に係る新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関する相談はありましたか。

（回答はひとつ）

1. あった ⇒ 問6-2と問6-3を回答してください
2. なかった ⇒ 問7-1に進んでください

（相談があったと回答した機構に伺います。）

問6-2 どのような施設からの相談でしたか。

（相談があったと回答した機構に伺います。）

問6-3 相談はどのような内容でしたか。

問7-1 平成31年1月～令和元年10月と令和2年1月～10月における貴機構への代診医派遣（臨時で短期の医師の派遣）の依頼件数と実施件数を教えてください。

（回答は半角数字）

依頼件数	1月	2月	3月	4月	5月
平成31年・ 令和元年	件	件	件	件	件
令和2年	件	件	件	件	件

依頼件数	6月	7月	8月	9月	10月
平成31年・ 令和元年	件	件	件	件	件
令和2年	件	件	件	件	件

実施件数	1月	2月	3月	4月	5月
平成31年・ 令和元年	件	件	件	件	件
令和2年	件	件	件	件	件

実施件数	6月	7月	8月	9月	10月
平成31年・ 令和元年	件	件	件	件	件
令和2年	件	件	件	件	件

問7-2 先にお答えいただいた、代診医派遣（臨時で短期の医師の派遣）の依頼件数、実施件数の変化は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が影響していますか。

（回答はひとつ）

1. あった ⇒ 問7-3を回答してください
2. なかった ⇒ 問8-1に進んでください
3. 変化なし ⇒ 問8-1に進んでください

（代診医派遣（臨時で短期の医師の派遣）の依頼件数、実施件数の変化は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が影響していると回答された機構に伺います。）

問7-3 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が影響して、代診医派遣の依頼件数、実施件数に変化が生じた理由をご記入ください。

問8－1 平成31年1月～令和元年10月と令和2年1月～10月における貴機構への医師派遣（中長期的に行う定期的な医師の派遣）の依頼件数と実施件数を教えてください。

（回答は半角数字）

依頼件数	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
平成 31 年・ 令和元年	件	件	件	件	件
令和 2 年	件	件	件	件	件

依頼件数	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
平成 31 年・ 令和元年	件	件	件	件	件
令和 2 年	件	件	件	件	件

実施件数	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
平成 31 年・ 令和元年	件	件	件	件	件
令和 2 年	件	件	件	件	件

実施件数	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
平成 31 年・ 令和元年	件	件	件	件	件
令和 2 年	件	件	件	件	件

問8－2 先にお答えいただいた、医師派遣（中長期的に行う定期的な医師の派遣）の依頼件数、実施件数の変化は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が影響していますか。

（回答はひとつ）

1. あった ⇒ 問8－3を回答してください
2. なかった ⇒ 問9－1に進んでください
3. 変化なし ⇒ 問9－1に進んでください

（医師派遣（中長期的に行う定期的な医師の派遣）の依頼件数、実施件数の変化は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が影響していると回答された機構に伺います。）

問8-3 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が影響して、医師派遣（中長期的に行う定期的な医師の派遣）の依頼件数、実施件数に変化が生じた理由をご記入ください。

問9-1 平成31年1月～令和元年10月と令和2年1月～10月における貴機構のへき地への巡回診療の件数をご記入ください。

（回答は半角数字）

巡回診療	1月	2月	3月	4月	5月
平成31年・ 令和元年	件	件	件	件	件
令和2年	件	件	件	件	件

巡回診療	6月	7月	8月	9月	10月
平成31年・ 令和元年	件	件	件	件	件
令和2年	件	件	件	件	件

問9-2 先にお答えいただいた、巡回診療の件数の変化は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が影響していますか。

（回答はひとつ）

1. あった ⇒ 問9-3を回答してください
 2. なかった ⇒ 問10-1に進んでください
 3. 変化なし ⇒ 問10-1に進んでください

（巡回診療件数の変化は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が影響していると回答された機構に
伺います。）

問 9－3 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が影響して、巡回診療の件数に変化が生じた理由
をご記入ください。

問 10－1 貴機構が主催する各種のへき地医療関連研修会の実施回数に変化はありましたか。
（回答はひとつ）

1. あった ⇒ 問 10－2 と問 10－3 を回答してください
2. なかった ⇒ 問 11－1 に進んでください

問 10－2 貴機構が主催する各種のへき地医療関連研修会の開催方法について変化はありましたか。
（回答はいくつでも）

1. 時間を短縮した
2. オンライン化した
3. その他（具体的に： _____ ）

問 10－3 研修の内容について変化があれば教えてください（例：新型コロナウイルス感染症
（COVID-19）に関する研修会の要望が増えた等）。

問 1 1 - 1 貴機構は保健医療担当者等、都道府県の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策の
担当者とへき地医療の体制維持等についての打ち合わせを実施しましたか。

（回答はひとつ）

1. 実施した ⇒ 問 1 1 - 2 を回答してください
2. 実施しなかった ⇒ 問 1 2 - 1 に進んでください

（打ち合わせを実施しなかったと回答された機構に伺います。）

問 1 1 - 2 実施しなかった理由に当てはまるものをすべて教えてください。

（回答はいくつでも）

1. 都道府県等からの要請がなかった
2. 感染者が周辺地域にいなかった（少なかった）
3. その他（具体的に： _____）

問 1 2 - 1 貴機構は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）（疑いを含む）患者の受け入れ体制（搬
送を含む）づくりについて指導や助言を実施しましたか。

（回答はひとつ）

1. 実施した ⇒ 問 1 2 - 2 を回答してください
2. 実施しなかった ⇒ 問 1 3 - 1 に進んでください

（「実施した」と回答された機構に伺います。）

問 1 2 - 2 どの施設に対して行いましたか。該当するものをすべてお答えください。

（回答はいくつでも）

1. へき地医療拠点病院
2. へき地診療所
3. 上記以外の医療機関
4. 保健所
5. その他（具体的に： _____）

問13-1 貴機構は院内感染対策の指導をしましたか。

(回答はひとつ)

1. した ⇒ 問13-2を回答してください
2. しなかった ⇒ 問14-1に進んでください

(「指導した」と回答された機構に伺います。)

問13-2 どの施設に対して指導しましたか。該当するものをすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

1. へき地医療拠点病院
2. へき地診療所
3. 上記以外の医療機関
4. 保健所
5. その他(具体的に:)

問14-1 へき地でのクラスター発生を想定したシミュレーションをしましたか。

(回答はひとつ)

1. した ⇒ 問14-2を回答してください
2. しなかった ⇒ 問15-1に進んでください

(「シミュレーションをした」と回答された機構に伺います。)

問14-2 どの施設と行ないましたか。該当するものをすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

1. へき地医療拠点病院
2. へき地診療所
3. 上記以外の医療機関
4. 保健所
5. その他(具体的に:)

問15-1 ヘき地の医師が感染した場合についての対応策を協議しましたか。

(回答はひとつ)

1. した ⇒ 問15-2を回答してください
2. しなかった ⇒ 問16-1に進んでください

(「協議した」と回答された機構に伺います。)

問15-2 どの施設と行ないましたか。該当するものをすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

1. ヘき地医療拠点病院
2. ヘき地診療所
3. 上記以外の医療機関
4. 保健所
5. その他(具体的に:)

◎都道府県内で新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の発生が初めて確認される前と、確認された後での変化について教えてください。

【都道府県内で新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の発生が初めて確認される前】

問16-1 貴機構とヘき地医療拠点病院との連絡・調整は円滑に行われていると思いますか。

(回答はひとつ)

1. はい
2. いいえ

問16-2 連絡・調整が機能している要因や阻害している要因、改善すべき点について教えてください。

【都道府県内で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の発生が初めて確認された後】

問16-3 貴機構とへき地医療拠点病院との連絡・調整は円滑に行われていると思いますか。

（回答はひとつ）

1. はい

2. いいえ

問16-4 連絡・調整が機能している要因や阻害している要因、改善すべき点について教えてください。

◎都道府県内で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の発生が初めて確認される前と、確認された後での変化について教えてください。

【都道府県内で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の発生が初めて確認される前】

問17-1 貴機構とへき地診療所との連絡・調整は円滑に行われていると思いますか。

（回答はひとつ）

1. はい

2. いいえ

問17-2 連絡・調整が機能している要因や阻害している要因、改善すべき点について教えてください。

【都道府県内で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の発生が初めて確認された後】

問17-3 貴機構とへき地診療所との連絡・調整は円滑に行われていると思いますか。

（回答はひとつ）

1. はい

2. いいえ

問17-4 連絡・調整が機能している要因や阻害している要因、改善すべき点について教えてください。

◎都道府県内で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の発生が初めて確認される前と、確認された後での変化について教えてください。

【都道府県内で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の発生が初めて確認される前】

問18-1 貴機構とその他の施設や機関（へき地医療拠点病院でない一般の医療機関や保健所、役所など）との連絡・調整は円滑に行われていると思いますか。

（回答はひとつ）

1. はい

2. いいえ

問18-2 連絡・調整が機能している要因や阻害している要因、改善すべき点について教えてください。

【都道府県内で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の発生が初めて確認された後】

問18-3 貴機構とその他の施設や機関（へき地医療拠点病院でない一般の医療機関や保健所、役所など）との連絡・調整は円滑に行われていると思いますか。

（回答はひとつ）

1. はい

2. いいえ

問18-4 連絡・調整が機能している要因や阻害している要因、改善すべき点について教えてください。

問19 ヘき地医療支援機構が関係して行った事案のうち、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対応における好事例を具体的に教えてください（例：ヘき地に派遣される医師に対して新型コロナウイルス感染症（COVID-19）についての講習を実施した等）。

問20 これまでにご回答いただいた事項以外で、貴へき地医療支援機構の活動を行うに当たって、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対応の中で新たに生じた課題、問題点がありましたらご記入ください。

--

※今後の参考になるような事例等については具体的に聞き取りをさせていただく場合がございますので、差し障りのない範囲で、ご担当部署と連絡先をご記入ください。

○ ご担当部署	
○ 連絡先(TEL もしくは E-mail アドレス)	

※へき地医療支援機構の業務を委託されている場合は、委託先のご連絡先を教えてください。

○ 委託先名称	
○ 委託内容	
○ 連絡先(TEL もしくは E-mail アドレス)	

質問は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた、 地域における医療提供体制の強化のための研究

へき地医療拠点病院基本票

最大質問数は 34 問になります。

＜ご回答される医療施設のご担当者さま＞

- 各都道府県における医療提供体制の確保を図るため、5 疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神疾患）・5 事業（救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療）＋在宅医療に係る指標の見直し、疾病・事業横断的な医療提供体制の構築等が盛り込まれた各都道府県の二次医療圏単位の医療計画が策定されています。医療計画については、平時、および今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のような感染症の流行下においても対応できる計画であることが期待されています。
- 一方で、今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行により、各地域で医療需要が増大する等、地域の医療提供体制に様々な影響がありました。今後も同様の状況が起こりうることを予想され、感染症の流行に地域で適切に対応することが必要です。
- そこで本厚生労働科学研究班は、5 事業（救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療）＋在宅医療における今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による影響を明らかにし、感染症の流行等における効率的な医療提供体制の方法を検討することを目的としています。
- 本調査のデータは、医療施設が識別される形で集計を行うことはありません。調査結果は、施設・個人が識別されない形にした上で、関係する国の検討会等に報告するとともに、学会発表、論文、研究報告書等として公表する予定です。なお、本研究は、千葉大学の倫理委員会の審査・承認を得て実施しています（承認日令和 2 年 11 月 19 日：承認番号 3926）。
- 本調査結果は、国の検討会にも報告することを予定しており、今後の医療計画や医療提供体制の在り方について検討する上で資料として活用されることが期待されています。このような調査の趣旨を踏まえ、回答者様におかれましては、お忙しい中恐縮ですが、ぜひ、調査にご協力いただきますようお願いいたします。
- 本調査は、12 月 28 日（月）までにご回答ください。
お問い合わせ先（「新型コロナウイルス感染症による医療計画への影響に係る調査」事務局）
メールアドレス：toiawase-kaken2020@intage.com
フリーダイヤル：0120-856-780
（受付時間：祝日を除く月～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00）

令和 2 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金
（厚生労働科学特別研究事業）

(特に断りのない場合は、令和2年11月1日現在の状況をお答えください。)

◎貴施設のへき地医療の概況についてお伺いします。貴施設のへき地医療の概況等についてご回答可能な事務部門の方等がご回答くださいますようお願いいたします。

◎へき地の診療体制の変化についてお伺いします。

問21-1 へき地からの新型コロナウイルス感染症（COVID-19）以外の救急診療に関する対応に変化（例えば縮小や中止）はありましたか。

(回答はひとつ)

1. あった ⇒ 問21-2を回答してください
 2. なかった ⇒ 問22に進んでください

(対応に変化があったと回答した施設に伺います)

問21-2 対応の変化について具体的に教えてください。

問22 平成31年1月～令和元年10月と令和2年1月～10月におけるへき地への代診医派遣の件数をご記入ください。

(回答は半角数字)

代診医派遣	1月	2月	3月	4月	5月
平成31年・令和元年	件	件	件	件	件
令和2年	件	件	件	件	件

代診医派遣	6月	7月	8月	9月	10月
平成31年・令和元年	件	件	件	件	件
令和2年	件	件	件	件	件

問23 平成31年1月～令和元年10月と令和2年1月～10月におけるへき地への巡回診療の実施件数をご記入ください。

(回答は半角数字)

巡回診療	1月	2月	3月	4月	5月
平成31年・令和元年	件	件	件	件	件
令和2年	件	件	件	件	件

巡回診療	6月	7月	8月	9月	10月
平成31年・令和元年	件	件	件	件	件
令和2年	件	件	件	件	件

問24-1 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行を契機に、オンライン診療を新しく導入しましたか。

(回答はひとつ)

1. 流行を契機に新たに導入した ⇒ 問24-2を回答してください
2. 流行前から導入していた ⇒ 問24-2を回答してください
3. 未導入 ⇒ 問25-1に進んでください

(オンライン診療を新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の「流行を契機に新たに導入した」、もしくは「流行前から導入していた」と回答された施設に伺います)

問24-2 平成31年1月～令和元年10月と令和2年1月～10月におけるオンライン診療を行った患者数についてご記入ください。

(回答は半角数字)

	1月	2月	3月	4月	5月
平成31年・令和元年	人	人	人	人	人
令和2年	人	人	人	人	人

	6月	7月	8月	9月	10月
平成31年・令和元年	人	人	人	人	人
令和2年	人	人	人	人	人

問25-1 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行を契機に、オンライン受診勧奨（情報通信機器を通して患者の診察を行い、医療機関への受診勧奨をリアルタイムにより行う行為）を新しく導入しましたか。

（回答はひとつ）

1. 流行を契機に新たに導入した ⇒ 問25-2を回答してください
2. 流行前から導入していた ⇒ 問25-2を回答してください
3. 未導入 ⇒ 問26に進んでください

（オンライン受診勧奨を新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の「流行を契機に新たに導入した」、もしくは「流行前から導入していた」と回答された施設に伺います）

問25-2 平成31年1月～令和元年10月と令和2年1月～10月におけるオンライン受診勧奨を行った患者数についてご記入ください。

（回答は半角数字）

	1月	2月	3月	4月	5月
平成31年・令和元年	人	人	人	人	人
令和2年	人	人	人	人	人

	6月	7月	8月	9月	10月
平成31年・令和元年	人	人	人	人	人
令和2年	人	人	人	人	人

問26 遠隔画像診断（テレラジオロジー）等の実施に変化はありましたか。

（回答はひとつ）

1. 増えた
2. 減った
3. 変わらない
4. 未導入

問27-1 ヘき地診療所、またはへき地の医療機関から新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療を実施する際の支援要請がありましたか。

（回答はひとつ）

1. あった ⇒ 問27-2をお答えください
2. なかった ⇒ 問28-1に進んでください

（「支援要請があった」と回答された施設に伺います）

問27-2 どのような支援要請がありましたか。あてはまるものをすべてお答えください。

（回答はいくつでも）

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 1. 検査をする際の人員の派遣 | 2. 診療をする際の医師や看護師の派遣 |
| 3. 検査をする際の試薬や機器の提供 | 4. 診察や検査をする際の個人防護具(PPE)の提供 |
| 5. その他(具体的に: |) |

問28-1 ヘき地診療所に提供するための個人防護具(PPE)を備蓄していますか。

（回答はひとつ）

- | |
|------------------------|
| 1. はい ⇒ 問28-2をお答えください |
| 2. いいえ ⇒ 問29-1に進んでください |

（ヘき地診療所に提供するための個人防護具(PPE)を備蓄していると回答した施設に伺います）

問28-2 どのような個人防護具(PPE)をヘき地診療所に提供するために備蓄していますか。あてはまるものをすべてお答えください。

（回答はいくつでも）

- | |
|----------------|
| 1. サージカルマスク |
| 2. N95マスク |
| 3. フェイスシールド |
| 4. ゴーグル |
| 5. ガウン |
| 6. ビニールエプロン |
| 7. 防護服(カバーオール) |
| 8. 手袋 |
| 9. その他(具体的に: |
|) |

問29-1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応はヘき地医療拠点病院としての平時の業務に影響しましたか。

（回答はひとつ）

- | |
|---------------------------|
| 1. 大いにあった ⇒ 問29-2をお答えください |
| 2. 少しあった ⇒ 問29-2をお答えください |
| 3. 変わらない ⇒ 問30-1に進んでください |

（「大いにあった」または「少しあった」と回答した施設に伺います）

問29-2 どのような面で影響がありましたか。できるだけ具体的に教えてください。

◎周辺地域との関わりについてお伺いします。

問30-1 医療機関以外からへき地医療拠点病院として新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対応に関連した依頼や相談を受けたことはありましたか（例：へき地の学校から感染対策の講義を依頼された）。

（回答はひとつ）

1. あった ⇒ 問30-2と問30-3をお答えください
2. なかった ⇒ 問31-1に進んでください

（あったと回答した施設に伺います）

問30-2 依頼元にあてはまるものをすべて教えてください。

（回答はいくつでも）

1. 学校
2. 企業
3. 行政機関
4. その他（具体的に： _____）

（あったと回答した施設に伺います。）

問30-3 依頼内容にあてはまるものをすべて教えてください。

（回答はいくつでも）

1. 感染対策
2. 健康相談
3. 啓発活動
4. 外国人対応
5. その他（具体的に： _____）

◎その他の変化についてお伺いします。

問３１－１ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行の前と後で、病院全体の医師の人数に変化はありましたか。

（回答はひとつ）

1. 増えた ⇒ 問３１－２をお答えください
2. 減った ⇒ 問３１－２をお答えください
3. 変わらない ⇒ 問３２－１に進んでください

（「増えた」・「減った」と回答した施設に伺います）

問３１－２ 病院全体の医師の人数が変化した理由を具体的に教えてください。

問３２－１ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行の前と後で、病院全体の看護師の人数に変化はありましたか。

（回答はひとつ）

1. 増えた ⇒ 問３２－２をお答えください
2. 減った ⇒ 問３２－２をお答えください
3. 変わらない ⇒ 問３３－１に進んでください

（「増えた」・「減った」と回答した施設に伺います）

問３２－２ 病院全体の看護師の人数が変化した理由を具体的に教えてください。

問３３－１ 県内からの非常勤の応援医師の地域研修の受け入れに影響はありましたか。

（回答はひとつ）

1. あった ⇒ 問３３－２をお答えください
2. なかった ⇒ 問３４－１に進んでください
3. もともと受け入れていない ⇒ 問３４－１に進んでください

(影響があったと回答した施設に伺います)

問33-2 どのような影響がありましたか。最もあてはまるものをお答えください。

(回答はひとつ)

1. 一時的に非常勤の応援医師の受け入れを断ったが、現在は再開している
2. 現在も非常勤の応援医師の受け入れを断っている
3. 非常勤の応援医師の受け入れを断らず継続しているが、研修の方法や内容を見直した
4. その他(具体的に:)

問34-1 県外からの非常勤の応援医師の地域研修の受け入れに影響はありましたか。

(回答はひとつ)

1. あった ⇒ 問34-2をお答えください
2. なかった ⇒ 問35-1に進んでください
3. もともと受け入れていない ⇒ 問35-1に進んでください

(影響があったと回答した施設に伺います)

問34-2 どのような影響がありましたか。最もあてはまるものをお答えください。

(回答はひとつ)

1. 一時的に非常勤の応援医師の受け入れを断ったが、現在は再開している
2. 現在も非常勤の応援医師の受け入れを断っている
3. 非常勤の応援医師の受け入れを断らず継続しているが、研修の方法や内容を見直した
4. その他(具体的に:)

問35-1 臨床研修医の受け入れ(へき地医療拠点病院としての研修の受け入れ)に影響はありましたか。

(回答はひとつ)

1. あった ⇒ 問35-2をお答えください
2. なかった ⇒ 問36-1に進んでください
3. もともと受け入れていない ⇒ 問36-1に進んでください

(影響があったと回答した施設に伺います)

問35-2 どのような影響がありましたか。最もあてはまるものをお答えください。

(回答はひとつ)

1. 一時的に臨床研修医の受け入れを断ったが、現在は再開している
2. 現在も臨床研修医の受け入れを断っている
3. 臨床研修医の受け入れを断らず継続しているが、研修の方法や内容を見直した
4. その他(具体的に:)

問36-1 医学生の地域実習の受け入れ（へき地医療拠点病院としての実習の受け入れ）に影響はありましたか。

（回答はひとつ）

- 1. あった ⇒ 問36-2をお答えください
- 2. なかった ⇒ 問37に進んでください
- 3. もともと受け入れていない ⇒ 問37に進んでください

（影響があったと回答した施設に伺います）

問36-2 どのような影響がありましたか。最もあてはまるものをお答えください。

（回答はひとつ）

- 1. 一時的に医学生を受け入れを断ったが、現在は再開している
- 2. 現在も医学生を受け入れを断っている
- 3. 医学生を受け入れを断らず継続しているが、実習の方法や内容を見直した
- 4. その他（具体的に： _____）

問37 へき地診療所の医師が、へき地医療拠点病院で定期的（例えば週1回）に研修を受けることがあります。この研修の受け入れに影響はありましたか。

（回答はひとつ）

- 1. 大いにあった
- 2. 少しあった
- 3. 変わらない
- 4. もともと研修を受け入れていない

問38 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関する貴施設の対応で、好事例を具体的にご記入ください（例：開業診療所の医師に検体採取の講習会をした、対策本部への派遣要請などに応じた）。

--

問39 これまでにご回答いただいた事項以外で、貴施設新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関して新たに発生した課題や問題点がありましたらご記入ください。

--

病院名をご記入ください

病院名	
-----	--

※今後の参考になるような事例等については具体的に聞き取り等をさせていただく場合がございますので、差し障りのない範囲で、ご担当部署と連絡先をご記入ください。

○ ご担当者様部署	
○ ご担当者様氏名	
○ 連絡先(TELもしくはE-mail アドレス)	
電話番号	
E-mail アドレス	

新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた、 地域における医療提供体制の強化のための研究

へき地診療所調査票

貴診療所名	
-------	--

<ご回答される医療施設のご担当者さま>

- 各都道府県における医療提供体制の確保を図るため、5 疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神疾患）・5 事業（救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療）＋在宅医療に係る指標の見直し、疾病・事業横断的な医療提供体制の構築等が盛り込まれた各都道府県の二次医療圏単位の医療計画が策定されています。医療計画については、平時、および今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のような感染症の流行下においても対応できる計画であることが期待されています。
- 一方で、今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行により、各地域で医療需要が増大する等、地域の医療提供体制に様々な影響がありました。今後も同様の状況が起りうることが予想され、感染症の流行に地域で適切に対応することが必要です。
- そこで本厚生労働科学研究班は、5 事業（救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療）＋在宅医療における今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による影響を明らかにし、感染症の流行等における効率的な医療提供体制の方法を検討することを目的としています。
- 本調査のデータは、医療施設が識別される形で集計を行うことはありません。調査結果は、施設・個人が識別されない形にした上で、関係する国の検討会等に報告するとともに、学会発表、論文、研究報告書等として公表する予定です。なお、本研究は、千葉大学の倫理委員会の審査・承認を得て実施しています（承認日令和2年11月19日：承認番号3926）。
- 本調査結果は、国の検討会にも報告することを予定しており、今後の医療計画や医療提供体制の在り方について検討する上で資料として活用されることが期待されています。このような調査の趣旨を踏まえ、回答者様におかれましては、お忙しい中恐縮ですが、ぜひ、調査にご協力いただきますようお願いいたします。
- 本調査は、12月28日（月）までにご回答の上、同封の返送用封筒でご返送ください。
お問い合わせ先（「新型コロナウイルス感染症による医療計画への影響に係る調査」事務局）
メールアドレス：toiawase-kaken2020@intage.com
フリーダイヤル：0120-856-780
（受付時間：祝日を除く月～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00）

**令和 2 年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金
（厚生労働科学特別研究事業）**

特に断りのない場合、令和２年１１月１日現在の情報についてご回答ください。

◎ 貴施設についてお伺いします。

問１－１ 貴施設の開設主体に、最もあてはまる番号に○をつけてください。

(○はひとつ)

国	
1. 国立大学法人	2. 国立大学法人以外の国立法人
公的医療機関	
3. 都道府県	4. 市町村
5. 公立大学法人	6. 日赤
7. 済生会	8. 厚生連
9. 上記以外の公的医療機関	
その他	
10. 社会保険関係団体	11. 公益法人
12. 医療法人	13. 学校法人
14. 社会福祉法人	15. 医療生協
16. 株式会社	17. その他の法人
18. 個人	

問１－２ 貴施設の指定等として、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

(○はいくつでも)

1. 特定感染症指定医療機関	2. 第1種感染症指定医療機関
3. 第2種感染症指定医療機関	4. 高度救命救急センター
5. 三次救急指定医療機関	6. 二次救急医療施設
7. 救急告示医療機関	8. 災害拠点病院
9. 原子力災害拠点病院	10. へき地拠点病院
11. 総合周産期母子医療センター	12. 地域周産期母子医療センター
13. 小児中核病院	14. 小児地域医療センター
15. 小児地域支援病院	16. 在宅療養支援病院
17. 在宅療養支援診療所	
18. 新型コロナウイルス感染症重点医療機関	
19. 新型コロナウイルス感染症協力医療機関(疑い患者を受け入れる病院)	
20. その他新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者を受け入れる医療機関	
21. 帰国者接触者外来の設置	
22. 新型インフルエンザ患者入院医療機関	
23. あてはまるものはない	

問1-3 貴施設の標榜診療科に、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

(○はいくつでも)

1. 内科※ ¹	2. 外科※ ²
3. 整形外科	4. 脳神経外科
5. 小児科(新生児科含む)	6. 精神科
7. 眼科	8. 皮膚科
9. 耳鼻咽喉科	10. 泌尿器科
11. 産婦人科・産科・婦人科	12. リハビリテーション科
13. 救急科	14. 総合診療科
15. 歯科・歯科口腔外科	
16. その他(具体的に: _____)	

※1. 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内科、血液内科、感染症内科、アレルギー内科、リウマチ内科、心療内科、神経内科は、「内科」としてご回答ください。

※2. 外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肛門外科、小児外科は、「外科」としてご回答ください。

問2 貴施設の許可病床数をご記入ください。なお、一般病床については、そのうちの非稼働病床、並びに新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者受入のため整備した病床(医療法上の特例病床等)についてもご記入ください。

(回答は数字)

①一般病床				②療養病床	③精神科病床	④感染症病床	⑤結核病床
床	①のうち非稼働病床	①のうち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者受入のため整備した病床(医療法上の特例病床等)	①のうちICU	床	床	床	床
床	床	床	床	床	床	床	床

※非稼働病床とは、1年間に1度も患者を入院させなかった病床を指します。

※ICUは特定集中治療室管理料の実績・救命救急入院料1、救命救急入院料2、救命救急入院料3、救命救急入院料4、特定集中治療室管理料1、特定集中治療室管理料2、特定集中治療室管理料3、特定集中治療室管理料4、総合周産期特定集中治療室管理料(母体・胎児)、総合周産期特定集中治療室管理料(新生児)、新生児特定集中治療室管理料1、新生児特定集中治療室管理料2、小児特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料1、ハイケアユニット入院医療管理料2、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、新生児治療回復室入院医療管理料のいずれかを算定する病床。

問3 貴施設の職員数（常勤換算※1）をご記入ください。

（回答は数字）

医師	看護職員※2	臨床工学技士	左記以外の 医療職※3	その他の職員
人	人	人	人	人

※1. 非常勤職員の「常勤換算」は以下の方法で計算し、小数点第1位（小数点第2位を四捨五入）までご記入ください。

■ 1週間に数回勤務の場合：（非常勤職員の1週間の勤務時間）÷（貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間）

■ 1カ月に数回勤務の場合：（非常勤職員の1カ月の勤務時間）÷（貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間×4）

※2. 看護職とは、保健師、助産師、看護師、准看護師を指します。

※3. 歯科医師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、診療放射線技師、臨床検査技師等の医療系資格を有する者。

問4-1 外来で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者（疑い含む。）を受け入れましたか。

あてはまる番号に○をつけてください。

（○はひとつ）

1. はい
2. いいえ

問4-2 入院で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者（疑い含む。）を受け入れましたか。

あてはまる番号に○をつけてください。

（○はひとつ）

1. はい
2. いいえ

（新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者の外来・入院とも受け入れていないと回答した施設に伺います。）

問4-3 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者を受け入れなかった理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

（○はいくつでも）

1. 地域に患者がいなかった
2. 他の医療機能を担っていた
3. 病床に空きがなかった
4. 十分な感染対策が講じられなかった
5. 感染症診療に当たる医師の不足
6. 看護職員の不足
7. その他医療スタッフの不足
8. その他（具体的に： _____）

問5 令和2年1～10月における貴施設の外来患者延べ数（当日の初診患者数＋再診患者数の1ヵ月合計）、救急搬送延べ数、救急外来（walk in）延べ数、入院患者延べ数（当日末在院患者数＋退院患者数の1ヵ月合計）、手術延べ数についてご記入ください。

※「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染患者の疑い」には、PCR検査または抗原検査を行った者のうち、症状の有無にかかわらず全件に実施するスクリーニング目的で実施した患者は除く。

（回答は数字）

令和2年	1月	2月	3月	4月	5月
外来患者(時間内)延べ数	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(疑い含む)	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(診断確定のみ)	人	人	人	人	人
外来患者(時間外)延べ数	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(疑い含む)	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(診断確定のみ)	人	人	人	人	人
救急搬送患者延べ数	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(疑い含む)	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(診断確定のみ)	人	人	人	人	人

令和2年	6月	7月	8月	9月	10月
外来患者(時間内)延べ数	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(疑い含む)	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(診断確定のみ)	人	人	人	人	人
外来患者(時間外)延べ数	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(疑い含む)	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(診断確定のみ)	人	人	人	人	人
救急搬送患者延べ数	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(疑い含む)	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(診断確定のみ)	人	人	人	人	人

令和2年	1月	2月	3月	4月	5月
入院患者延べ数	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(疑い含む)	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(診断確定のみ)	人	人	人	人	人
手術実施延べ数	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(疑い含む) ※上記の患者に対して行われたすべての手術	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(診断確定のみ) ※上記の患者に対して行われたすべての手術	人	人	人	人	人

令和2年	6月	7月	8月	9月	10月
入院患者延べ数	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(疑い含む)	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(診断確定のみ)	人	人	人	人	人
手術実施延べ数	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(疑い含む) ※上記の患者に対して行われたすべての手術	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(診断確定のみ) ※上記の患者に対して行われたすべての手術	人	人	人	人	人

問6 平成31年1月～令和元年10月における貴施設の外来患者延べ数（当日の初診患者数＋再診患者数の1カ月合計）、救急搬送延べ数、救急外来（walk in）延べ数、入院患者延べ数（当日末在院患者数＋退院患者数の1カ月合計）、手術延べ数についてご記入ください。

※「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染患者の疑い」には、PCR検査または抗原検査を行った者のうち、症状の有無にかかわらず全件に実施するスクリーニング目的で実施した患者は除く。

（回答は数字）

平成31年・令和元年	1月	2月	3月	4月	5月
外来患者(時間内)延べ数	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(疑い含む)	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(診断確定のみ)	人	人	人	人	人
外来患者(時間外)延べ数	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(疑い含む)	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(診断確定のみ)	人	人	人	人	人
救急搬送患者延べ数	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(疑い含む)	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(診断確定のみ)	人	人	人	人	人

平成31年・令和元年	6月	7月	8月	9月	10月
外来患者(時間内)延べ数	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(疑い含む)	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(診断確定のみ)	人	人	人	人	人
外来患者(時間外)延べ数	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(疑い含む)	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(診断確定のみ)	人	人	人	人	人
救急搬送患者延べ数	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(疑い含む)	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者延べ数(診断確定のみ)	人	人	人	人	人

平成 31 年・令和元年	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
入院患者延べ数	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者延べ数 (疑い含む)	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者延べ数 (診断確定のみ)	人	人	人	人	人
手術実施延べ数	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者延べ数 (疑い含む) ※上記の患者に対して行われたすべての手術	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者延べ数 (診断確定のみ) ※上記の患者に対して行われたすべての手術	人	人	人	人	人

平成 31 年・令和元年	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
入院患者延べ数	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者延べ数 (疑い含む)	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者延べ数 (診断確定のみ)	人	人	人	人	人
手術実施延べ数	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者延べ数 (疑い含む) ※上記の患者に対して行われたすべての手術	人	人	人	人	人
うち新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者延べ数 (診断確定のみ) ※上記の患者に対して行われたすべての手術	人	人	人	人	人

問7ー1 休床中であった（職員を配置していなかった）病床を、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）（疑い含む）受け入れのために稼働させましたか。あてはまる番号に○をつけてください。また、稼働させた場合は最大稼働病床数についてもお答えください。（○はひとつ）

1. はい⇒最大()床 2. 稼働させていない

問7-2 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者（疑い含む）を入院させるための病床を確保しましたか。あてはまる番号に○をつけてください。また、確保した場合は確保した最大病床数についてもお答えください。

（○はひとつ）

1. はい⇒最大()床
2. 確保していない

問7-3 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者（疑い含む）を受け入れるために、患者の受入を停止した病床はありましたか。あてはまる番号に○をつけてください。また、受け入れを停止した場合は停止した最大病床数についてもお答えください。

（○はひとつ）

1. はい⇒最大()床
2. 患者の受け入れを停止した病床はない

問8-1 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の検査体制について、貴施設内で PCR 検査の実施は可能ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

（○はひとつ）

1. 可能 ⇒ 問8-2と問8-3を回答してください
2. 不可能 ⇒ 問9-1に進んでください

（可能と回答した施設に伺います。）

問8-2 貴施設内における PCR 検査の検体の受付についてあてはまる番号に○をつけてください。

（○はひとつ）

1. 24時間対応・休日対応可
2. 対応可能の時間・曜日等制限あり

（可能と回答した施設に伺います。）

問8-3 貴施設内における PCR 検査の結果が出るまでの時間についてあてはまる番号に○をつけてください。

（○はひとつ）

1. 1時間以内
2. 1時間超～2時間以内
3. 2時間超～4時間以内
4. 4時間超～6時間以内
5. 6時間超

(全員回答してください。)

問9-1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の検査体制について、他施設にPCR検査を依頼していますか。あてはまる番号に○をつけてください。

(○はひとつ)

1. 依頼している ⇒ 問9-2と問9-3を回答してください
2. 依頼していない ⇒ 問10-1に進んでください

(他施設に依頼していると回答した施設に伺います。)

問9-2 PCR検査を依頼している他施設の検体の受付について、あてはまる番号に○をつけてください。

(○はひとつ)

1. 24時間対応・休日対応可
2. 対応可能な時間・曜日等制限あり

(他施設に依頼していると回答した施設に伺います。)

問9-3 PCR検査を依頼している他施設の結果が出るまでの時間について、あてはまる番号に○をつけてください。

(○はひとつ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 1時間以内 | 2. 1時間超～2時間以内 |
| 3. 2時間超～4時間以内 | 4. 4時間超～6時間以内 |
| 5. 6時間超～12時間以内 | 6. 12時間超～24時間以内 |
| 7. 24時間超 | |

(全員回答してください。)

問10-1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策の教育を実施しましたか。実施した場合はその時の教育者について、あてはまる番号すべて、○をつけてください。

(○はいくつでも)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策の教育を実施している

1. 自施設の感染症専門医
2. 自施設のその他の医師(診療科:)
3. 自施設の感染症看護専門看護師・感染管理認定看護師
4. 自施設のその他の看護師
5. 他施設の感染症専門医
6. 他施設のその他の医師(診療科:)
7. 他施設の感染症看護専門看護師・感染管理認定看護師
8. 他施設のその他の看護師
9. その他(具体的に:)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策の教育を実施していない

10. 実施していない ⇒ 問11に進んでください

(対策の教育を実施していると回答した施設に伺います。)

問10-2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策の受講者について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

(○はいくつでも)

1. 医療従事者
2. 患者対応を行う非医療従事者
3. 患者対応を行わない非医療従事者
4. その他(具体的に:

)

(全員回答してください。)

問11 個人防護具(PPE)は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行前から備蓄していませんか。あてはまる番号に○をつけてください。また、備蓄していた施設では何日分の備蓄をしていたかについてもお答えください。

(○はひとつ)

1. していた (約 _____ 日分)
2. していなかった

問12-1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対応するために、院内に本部を設置しましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

(○はひとつ)

1. はい ⇒ 問12-2を回答してください
2. いいえ ⇒ 問13-1に進んでください

(設置したと回答した施設に伺います。)

問12-2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対応するための本部は、どのようなメンバーで構成されましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

(○はいくつでも)

1. 病院長等の幹部職員
2. 感染症を専門とする医師
3. 感染症看護専門看護師・感染管理認定看護師
4. 事務職員
5. その他(具体的に:

)

(全員回答してください。)

問13-1 令和2年1月以前に事業継続計画(BCP)を策定していましたか。最もあてはまる番号に○をつけてください。

(○はひとつ)

1. 自然災害を想定した事業継続計画(BCP)を策定していた ⇒ 問13-2と問13-3を回答してください
2. 感染症(新型インフルエンザ等)のパンデミックを想定した事業継続計画(BCP)を策定していた ⇒ 問13-2と問13-3を回答してください
3. 上記の両方を策定していた ⇒ 問13-2と問13-3を回答してください
4. どちらも策定していなかった ⇒ 問14に進んでください

(いずれかの事業継続計画(BCP)を策定したと回答した施設に伺います。)

問13-2 令和2年1月以前に策定した事業継続計画(BCP)は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応に有効でしたか。あてはまる番号に○をつけてください。

(○はひとつ)

1. 有効であった
2. 有効でなかった

(いずれかの事業継続計画(BCP)を策定したと回答した施設に伺います。)

問13-3 貴施設で策定した事業継続計画(BCP)の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応の有効性評価の理由をお答えください。

◎診療体制の変化についてお伺いします。

問14 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の検査ができるかどうかの問い合わせが、患者からありましたか。最もあてはまる番号に○をつけてください。

（○はひとつ）

- | | |
|---|---|
| 1. あった
2. なかった
3. 患者以外からあった（具体的に： | ） |
|---|---|

問15 発熱や呼吸器症状のある患者から受診相談があった際にどのような対応をしましたか。令和2年1月～10月について、最もあてはまる番号すべてに○をつけてください。

（○はいくつでも）

- | | |
|--|---|
| 1. 他の医療機関に受診を勧めた
2. 自院に受診を勧めた
3. 受診自体を勧めなかった
4. その他（具体的に： | ） |
|--|---|

問16 平成31年1月～令和元年10月と令和2年1月～10月におけるへき地への巡回診療の実施回数をご記入ください。

（回答は数字）

	1月	2月	3月	4月	5月
平成31年・令和元年	回	回	回	回	回
令和2年	回	回	回	回	回

	6月	7月	8月	9月	10月
平成31年・令和元年	回	回	回	回	回
令和2年	回	回	回	回	回

問17-1 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行を契機に、オンライン診療を新しく導入しましたか。最もあてはまる番号に○をつけてください。

（○はひとつ）

- | |
|--|
| 1. 流行を契機に新たに導入した ⇒ 問17-2を回答してください
2. 流行前から導入していた ⇒ 問17-2を回答してください
3. 未導入 ⇒ 問18-1に進んでください |
|--|

（オンライン診療を新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の「流行を契機に新たに導入した」、もしくは「流行前から導入していた」と回答した施設に伺います。）

問17-2 平成31年1月～令和元年10月と令和2年1月～10月におけるオンライン診療を行った患者数についてご記入ください。

（回答は数字）

	1月	2月	3月	4月	5月
平成31年・令和元年	人	人	人	人	人
令和2年	人	人	人	人	人

	6月	7月	8月	9月	10月
平成31年・令和元年	人	人	人	人	人
令和2年	人	人	人	人	人

（全員回答してください。）

問18-1 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行を契機に、オンライン受診勧奨（情報通信機器を通して患者の診察を行い、医療機関への受診勧奨をリアルタイムにより行う行為）を新しく導入しましたか。最もあてはまる番号に○をつけてください。

（○はひとつ）

1. 流行を契機に新たに導入した ⇒ 問18-2を回答してください
2. 流行前から導入していた ⇒ 問18-2を回答してください
3. 未導入 ⇒ 問19に進んでください

（オンライン受診勧奨を新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の「流行を契機に新たに導入した」、もしくは「流行前から導入していた」と回答した施設に伺います。）

問18-2 平成31年1月～令和元年10月と令和2年1月～10月におけるオンライン受診勧奨を行った患者数についてご記入ください。

（回答は数字）

	1月	2月	3月	4月	5月
平成31年・令和元年	人	人	人	人	人
令和2年	人	人	人	人	人

	6月	7月	8月	9月	10月
平成31年・令和元年	人	人	人	人	人
令和2年	人	人	人	人	人

(全員回答してください。)

問19 遠隔画像診断(テレラジオロジー)等の実施に変化はありましたか。最もあてはまる番号に○をつけてください。

(○はひとつ)

- | | | | |
|--------|--------|----------|----------------|
| 1. 増えた | 2. 減った | 3. 変わらない | 4. もともと実施していない |
|--------|--------|----------|----------------|

問20-1 貴施設は離島にある施設ですか。最もあてはまる番号に○をつけてください。

(○はひとつ)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 離島にある ⇒ 問20-2と問20-3をお答えください |
| 2. 離島ではない ⇒ 問21-1に進んでください |

(離島にある施設と回答した施設に伺います。)

問20-2 都道府県内で新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の発生が初めて確認される前の、離島から本土への救急患者搬送手段を教えてください。最もあてはまる番号に○をつけてください。

(○はひとつ)

- | | |
|--------------|---------|
| 1. ヘリコプター | 2. フェリー |
| 3. その他(具体的に: |) |

(離島にある施設と回答した施設に伺います。)

問20-3 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者、または新型コロナウイルス感染症(COVID-19)疑い患者を離島から搬送する場合、平時の搬送方法に変更はありましたか。最もあてはまる番号に○をつけてください。変更があった場合は、その手段も合わせてご記入ください(例:平時はヘリコプターだが新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者、または新型コロナウイルス感染症(COVID-19)疑い患者にはフェリーを利用する方針とした)。

(○はひとつ)

- | | |
|-------------------|---|
| 1. 変更があった(具体的な手段: |) |
| 2. 変更なし | |

(全員回答してください。)

問21-1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者の診察の際に、へき地医療拠点病院やへき地医療支援機構に支援要請をしましたか。最もあてはまる番号に○をつけてください。

(○はひとつ)

- | |
|---|
| 1. はい ⇒ 問21-2をお答えください |
| 2. いいえ ⇒ 問22-1に進んでください |
| 3. 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者は診察していない ⇒ 問22-1に進んでください |

(「支援要請をした」と回答した施設に伺います。)

問21-2 どのような支援要請をしましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 1. 検査をする際の人員の派遣 | 2. 診療をする際の医師や看護師の派遣 |
| 3. 検査をする際の試薬や機器の提供 | 4. 診察や検査をする際の個人防護具(PPE)の提供 |
| 5. その他(具体的に: |) |

(全員回答してください。)

問22-1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応はへき地診療所としての平時の業務に影響しましたか。最もあてはまる番号に○をつけてください。

(○はひとつ)

1. 大いにあった ⇒ 問22-2をお答えください
2. 少しあった ⇒ 問22-2をお答えください
3. 変わらない ⇒ 問23-1に進んでください

(「大いにあった」または「少しあった」と回答した施設に伺います。)

問22-2 どのような面で影響がありましたか。できるだけ具体的に教えてください。

◎周辺地域との関わりについてお伺いします。

(全員回答してください。)

問23-1 医療機関以外から新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応に関連した依頼や相談はありましたか。最もあてはまる番号に○をつけてください。(例：へき地の学校から感染対策の講義を依頼された。)

(○はひとつ)

1. あった ⇒ 問23-2と問23-3をお答えください
2. なかった ⇒ 問24-1に進んでください

(医療機関以外から依頼や相談が「あった」と回答した施設に伺います。)

問23-2 依頼元に、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

(○はいくつでも)

- | | | |
|---------------------|-------|---------|
| 1. 学校 | 2. 企業 | 3. 行政機関 |
| 4. その他(具体的に: _____) | | |

(医療機関以外から依頼や相談が「あった」と回答した施設に伺います。)

問23-3 依頼内容に、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

(○はいくつでも)

- | |
|---------------------|
| 1. 感染対策 |
| 2. 健康相談 |
| 3. 啓発活動 |
| 4. 外国人対応 |
| 5. その他(具体的に: _____) |

◎その他の変化についてお伺いします。

（全員回答してください。）

問24-1 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行の前と後で、診療所全体の医師の人数に変化はありましたか。最もあてはまる番号に○をつけてください。

（○はひとつ）

1. 増えた ⇒ 問24-2をお答えください
2. 減った ⇒ 問24-2をお答えください
3. 変わらない ⇒ 問25-1に進んでください

（診療所全体の医師の人数が「増えた」あるいは「減った」と回答した施設に伺います。）

問24-2 診療所全体の医師の人数が変化した理由を具体的に教えてください。

（全員回答してください。）

問25-1 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行の前と後で、診療所全体の看護師の人数に変化はありましたか。最もあてはまる番号に○をつけてください。

（○はひとつ）

1. 増えた ⇒ 問25-2をお答えください
2. 減った ⇒ 問25-2をお答えください
3. 変わらない ⇒ 問26-1に進んでください

（診療所全体の看護師の人数が「増えた」あるいは「減った」と回答した施設に伺います。）

問25-2 診療所全体の看護師の人数が変化した理由を具体的に教えてください。

(全員回答してください。)

問26-1 県内からの非常勤の応援医師の地域研修の受け入れに影響はありましたか。最もあてはまる番号に○をつけてください。

(○はひとつ)

1. あった ⇒ 問26-2を回答してください
2. なかった ⇒ 問27-1に進んでください
3. もともと受け入れていない ⇒ 問27-1に進んでください

(影響があったと回答した施設に伺います。)

問26-2 どのような影響がありましたか。最もあてはまる番号に○をつけてください。

(○はひとつ)

1. 一時的に非常勤の応援医師の受け入れを断ったが、現在は再開している
2. 現在も非常勤の応援医師の受け入れを断っている
3. 非常勤の応援医師の受け入れを断らず継続しているが、研修の方法や内容を見直した
4. その他(具体的に:)

(全員回答してください。)

問27-1 県外からの非常勤の応援医師の地域研修の受け入れに影響はありましたか。最もあてはまる番号に○をつけてください。

(○はひとつ)

1. あった ⇒ 問27-2を回答してください
2. なかった ⇒ 問28-1に進んでください
3. もともと受け入れていない ⇒ 問28-1に進んでください

(影響があったと回答した施設に伺います。)

問27-2 どのような影響がありましたか。最もあてはまる番号に○をつけてください。

(○はひとつ)

1. 一時的に非常勤の応援医師の受け入れを断ったが、現在は再開している
2. 現在も非常勤の応援医師の受け入れを断っている
3. 非常勤の応援医師の受け入れを断らず継続しているが、研修の方法や内容を見直した
4. その他(具体的に:)

(全員回答してください。)

問28-1 医学生の地域実習の受け入れに影響はありましたか。最もあてはまる番号に○をつけてください。

(○はひとつ)

1. あった ⇒ 問28-2を回答してください
2. なかった ⇒ 問29に進んでください
3. もともと受け入れていない ⇒ 問29に進んでください

(影響があったと回答した施設に伺います。)

問28-2 どのような影響がありましたか。最もあてはまる番号に○をつけてください。

(○はひとつ)

1. 一時的に医学生の受け入れを断ったが、現在は再開している
2. 現在も医学生の受け入れを断っている
3. 医学生の受け入れを断らず継続しているが、実習の方法や内容を見直した
4. その他(具体的に: _____)

(全員回答してください。)

問29 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関する貴施設の対応で、好事例を具体的にご記入ください(例:診療所内の職員に感染対策の講習をした、対策本部への派遣要請に応じた)。

--

(全員回答してください。)

問30 これまでにご回答いただいた事項以外で、貴施設で新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関して新たに発生した課題や問題点がありましたらご記入ください。

--

設問は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

※今後の参考になるような事例等については、具体的に聞き取り等をさせていただく場合がございますので、差し障りのない範囲で、ご担当部署と連絡先をご記入ください。

○ ご担当部署	
○ 連絡先(TELもしくはE-mail アドレス)	

新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた、 地域における医療提供体制の強化のための研究

在宅療養支援病院・在宅療養支援診療所基本票

最大質問数は15問になります。

＜ご回答される医療施設のご担当者さま＞

- 各都道府県における医療提供体制の確保を図るため、5 疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神疾患）・5 事業（救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療）＋在宅医療に係る指標の見直し、疾病・事業横断的な医療提供体制の構築等が盛り込まれた各都道府県の二次医療圏単位の医療計画が策定されています。医療計画については、平時、および今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のような感染症の流行下においても対応できる計画であることが期待されています。
- 一方で、今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行により、各地域で医療需要が増大する等、地域の医療提供体制に様々な影響がありました。今後も同様の状況が起こりうることを予想され、感染症の流行に地域で適切に対応することが必要です。
- そこで本厚生労働科学研究班は、5 事業（救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療）＋在宅医療における今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による影響を明らかにし、感染症の流行等における効率的な医療提供体制の方法を検討することを目的としています。
- 本調査のデータは、医療施設が識別される形で集計を行うことはありません。調査結果は、施設・個人が識別されない形にした上で、関係する国の検討会等に報告するとともに、学会発表、論文、研究報告書等として公表する予定です。なお、本研究は、千葉大学の倫理委員会の審査・承認を得て実施しています（承認日令和2年11月19日：承認番号3926）。
- 本調査結果は、国の検討会にも報告することを予定しており、今後の医療計画や医療提供体制の在り方について検討する上で資料として活用されることが期待されています。このような調査の趣旨を踏まえ、回答者様におかれましては、お忙しい中恐縮ですが、ぜひ、調査にご協力いただきますようお願いいたします。
- 本調査は、12月28日（月）までにご回答ください。
お問い合わせ先（「新型コロナウイルス感染症による医療計画への影響に係る調査」事務局）
メールアドレス：toiawase-kaken2020@intage.com
フリーダイヤル：0120-856-780
（受付時間：祝日を除く月～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00）

**令和2年度厚生労働行政推進調査事業費補助金
（厚生労働科学特別研究事業）**

(特に断りのない場合は、令和2年11月1日現在の状況をお答えください。)

◎貴施設の在宅医療の概況についてお伺いします。貴施設の在宅医療の概況等についてご回答可能な事務部門の方等がご回答くださいますようお願いいたします。

問40 貴施設の在宅医療を担当する職員数（実人数／常勤換算数^{※1}）についてお答えください。
（回答は数字）

	医師	看護職員 ^{※2}	薬剤師	理学療法士 作業療法士 言語療法士	管理栄養士	左記以外の 医療職 ^{※3}	その他の職員
実人数	人	人	人	人	人	人	人
常勤換算数	人	人	人	人	人	人	人

※1. 非常勤職員の「常勤換算」は以下の方法で計算し、小数点第1位（小数点第2位を四捨五入）までご記入ください。

- 1週間に数回勤務の場合：（非常勤職員の1週間の勤務時間）÷（貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間）
- 1カ月に数回勤務の場合：（非常勤職員の1カ月の勤務時間）÷（貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間×4）

※2. 看護職とは、保健師、助産師、看護師、准看護師を指します。

※3. 歯科医師、臨床工学技士、診療放射線技師、臨床検査技師等の医療系資格を有する者。

問41 在宅医療を担当する職員数で令和2年1月～10月に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行による離職者数（実人数）をお答えください。

※定年退職や出産・育児による離職といった、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が流行しなくてもありうるもの以外について報告ください。例えば、以下のような場合が含まれます。

- ・職員本人が感染し、それを契機に離職した
- ・家族等、周囲の方が感染し、それを契機に離職した
- ・感染拡大に伴い、家族等が利用していた保育や介護等のサービスが休止し、離職した
- ・感染拡大に伴い、医療機関の仕事の質が変化し、離職した
- ・感染拡大に伴い、医療機関の仕事の量が変化し、離職した
- ・感染拡大に伴い、医療機関の職場の人間関係が変化し、離職した
- ・感染拡大に伴い、医局人事等の判断が変化し、離職した

（回答は数字）

	医師	看護職員 ^{※2}	薬剤師	理学療法士 作業療法士 言語療法士	管理栄養士	左記以外の 医療職 ^{※3}	その他の職員
離職者数 （実人数）	人	人	人	人	人	人	人

問42 貴施設の届出区分をお答えください。

(回答はひとつ)

1. 機能強化型在宅療養支援病院・診療所(単独型)
2. 機能強化型在宅療養支援病院・診療所(連携型)
3. 上記以外の在宅療養支援病院・診療所
4. 在宅療養支援病院・診療所ではない(現在は届出を撤回)

問43 貴施設の患者に対する24時間訪問看護の提供体制についてお答えください。

(回答はひとつ)

1. 貴施設のみで24時間訪問看護の提供が可能
2. 他の保険医療機関との連携により24時間訪問看護の提供が可能
3. 他の訪問看護ステーションとの連携により24時間訪問看護の提供が可能
4. 24時間訪問看護の提供が可能な体制となっていない

問44 貴施設は24時間対応の薬局と連携していますか。

(回答はひとつ)

1. 連携している
2. 連携していない

問45 令和2年2月・5月・8月に訪問診療・往診・訪問看護を行った患者について、以下の質問をお答えください。

患者数は延べ人数と（ ）人）には実患者数をお答えください。

（回答は数字）

	令和2年2月	令和2年5月	令和2年8月
訪問診療を行った延べ患者数 (実患者数)	(人 人)	(人 人)	(人 人)
うち、オンライン診療や電話 等による診療を行った延べ 患者数(実患者数)	(人 人)	(人 人)	(人 人)
うち、新規の実患者数	(人 人)	(人 人)	(人 人)
うち、看取りに向けて在 宅に移行した新規の実 患者数	(人 人)	(人 人)	(人 人)
うち、オンライン在宅管理料 の算定件数	件	件	件
うち、看取り加算の算定件数	件	件	件
うち、在宅ターミナルケア加 算件数	件	件	件
うち、死亡診断加算の算定 件数	件	件	件
うち、新型コロナウイルス感 染症(COVID-19)に感染し た実患者数	(人 人)	(人 人)	(人 人)
往診を行った延べ患者数 (実患者数)	(人 人)	(人 人)	(人 人)
訪問看護※を行った延べ患者数 (実患者数)	(人 人)	(人 人)	(人 人)

※訪問看護については自施設で直接実施したものに限る（訪問看護ステーションとして、別途、設置している場合は除く。）。

問46 平成31年2月・令和元年5月・8月に訪問診療・往診・訪問看護を行った患者について、以下の質問をお答えください。

患者数は延べ人数と（ ）人）には実患者数をお答えください。

（回答は数字）

	平成31年2月	令和元年5月	令和元年8月
訪問診療を行った延べ患者数 (実患者数)	(人 人)	(人 人)	(人 人)
うち、オンライン診療や電話 等による診療を行った延べ 患者数(実患者数)	(人 人)	(人 人)	(人 人)
うち、新規の実患者数	(人 人)	(人 人)	(人 人)
うち、看取りに向けて在 宅に移行した新規の実 患者数	(人 人)	(人 人)	(人 人)
うち、オンライン在宅管理料 の算定件数	件	件	件
うち、看取り加算の算定件数	件	件	件
うち、在宅ターミナルケア加 算件数	件	件	件
うち、死亡診断加算の算定 件数	件	件	件
うち、新型コロナウイルス感 染症(COVID-19)に感染し た実患者数	(人 人)	(人 人)	(人 人)
往診を行った延べ患者数 (実患者数)	(人 人)	(人 人)	(人 人)
訪問看護※を行った延べ患者数 (実患者数)	(人 人)	(人 人)	(人 人)

※訪問看護については自施設で直接実施したものに限る（訪問看護ステーションとして、別途、設置している場合は除く。）。

問47 個人防護具（PPE）をどのように入手しましたか。

（回答はいくつでも）

1. 国や都道府県からの配布
2. 寄付
3. 通常と同じ業者からの購入
4. 通常とは異なる業者からの購入
5. G-MIS における SOS 機能の活用
6. 同一法人内で在庫の融通
7. 地域の他の医療機関からの支援
8. その他（具体的に： _____）

問48 令和2年1月以前より災害時等の非常時に備えて事業継続計画（BCP）を策定していましたか。

（回答はひとつ）

1. はい ⇒ 問49を回答してください
2. いいえ ⇒ 問50に進んでください

（問48「はい」と回答した施設に伺います）

問49 災害時等の非常時に備えて令和2年1月以前に策定した事業継続計画（BCP）について、以下の質問にお答えください。

（回答はそれぞれひとつ）

事業継続計画（BCP）に地域の関係医療機関等との連携を踏まえた内容が含まれていますか	1.はい 2.いいえ
事業継続計画（BCP）に物資の流通業者や医療機器メーカーとの調整や事前の取り決め等が含まれていますか	1.はい 2.いいえ
事業継続計画（BCP）にパンデミックを踏まえた内容が含まれていますか	1.はい 2.いいえ

問50 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）を踏まえて、パンデミックに備えた事業継続計画（BCP）を策定しましたか。

（回答はひとつ）

1. はい
2. いいえ

問51 都道府県等と契約等を行い、検査に協力する医療機関となっていますか。

（回答はひとつ）

1. はい
2. いいえ
3. 現在、都道府県等と調整中

問52 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大によって、ターミナルケアを行った件数はどのように変化しましたか。

※在宅ターミナルケア加算や看取り加算等を算定された利用者だけではなく、加算は算定されなかったが実際は算定要件に合致するような状態の利用者についてご回答ください。

（回答はひとつ）

1. 増加した ⇒ 問53を回答してください
2. 変わらない ⇒ 在宅療養支援病院・在宅療養支援診療所基本票は終了です
3. 減少した ⇒ 問53を回答してください

（「増加した」または「減少した」と回答した施設に伺います）

問53 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大によって、ターミナルケアを行った件数が変化した理由として最もあてはまるものについてお答えください。

（回答はひとつ）

1. 現在入院・入所中の医療機関・介護施設からの依頼
2. 患者本人からの希望
3. 患者家族等からの希望
4. その他（具体的に： _____ ）

新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた、 地域における医療提供体制の強化のための研究

在宅療養支援病院・在宅療養支援診療所分野別調査票

＜ご回答される医療施設のご担当者さま＞

- 各都道府県における医療提供体制の確保を図るため、5 疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神疾患）・5 事業（救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療）＋在宅医療に係る指標の見直し、疾病・事業横断的な医療提供体制の構築等が盛り込まれた各都道府県の二次医療圏単位の医療計画が策定されています。医療計画については、平時、および今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のような感染症の流行下においても対応できる計画であることが期待されています。
- 一方で、今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行により、各地域で医療需要が増大する等、地域の医療提供体制に様々な影響がありました。今後も同様の状況が起こりうることが予想され、感染症の流行に地域で適切に対応することが必要です。
- そこで本厚生労働科学研究班は、5 事業（救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療）＋在宅医療における今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による影響を明らかにし、感染症の流行等における効率的な医療提供体制の方法を検討することを目的としています。
- 本調査のデータは、医療施設が識別される形で集計を行うことはありません。調査結果は、施設・個人が識別されない形にした上で、関係する国の検討会等に報告するとともに、学会発表、論文、研究報告書等として公表する予定です。なお、本研究は、千葉大学の倫理委員会の審査・承認を得て実施しています（承認日令和2年11月19日：承認番号3926）。
- 本調査結果は、国の検討会にも報告することを予定しており、今後の医療計画や医療提供体制の在り方について検討する上で資料として活用されることが期待されています。このような調査の趣旨を踏まえ、回答者様におかれましては、お忙しい中恐縮ですが、ぜひ、調査にご協力いただきますようお願いいたします。
- 本調査は、12月28日（月）までにご回答ください。
お問い合わせ先（「新型コロナウイルス感染症による医療計画への影響に係る調査」事務局）
メールアドレス：toiawase-kaken2020@intage.com
フリーダイヤル：0120-856-780
（受付時間：祝日を除く月～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00）

令和2年度厚生労働行政推進調査事業費補助金
（厚生労働科学特別研究事業）

特に断りのない場合は、令和2年11月1日現在の状況をお答えください。

問1 令和2年1～10月に、在宅医療を担当している先生方は、オンライン在宅管理料を算定しましたか。

(回答はひとつ)

1. 算定した
2. 算定していない

(「オンライン在宅管理料を算定していない」と回答した施設に伺います。)

問2 令和2年1～10月に、在宅医療を担当している先生方が、オンライン在宅管理料を算定しなかった理由をお答えください。

(回答はいくつでも)

1. 適応可能な患者がいらないから
2. 適切な対応方法がわからないから
3. ICT機器などの数が十分でないから
4. 患者側の同意が得られないから
5. 診療報酬が少ないから
6. その他(具体的に:)

問3 令和2年1～10月に、新規患者のうち、在宅医療に移行した理由として増えているものを3つまでお答えください。

(回答は3つまで)

1. 通院していたが、待合室等での感染リスクがあると考え訪問診療を希望したため
2. 通院していたが、通院介助者が感染リスクを恐れて通院の介助ができなくなったため
3. 通院していたが、外出自粛によりフレイルが進行し、通院困難となったため
4. 入院していたが、感染リスクがあると考えて退院を希望したため
5. 入院していたが、看取りに向けて在宅での療養を希望したため
6. 入院していたが、医療機関に退院を促されたため
7. 入所施設が新規の受け入れを中断しており、在宅療養を行うしかなかったため
8. その他(具体的に:)
9. 増えている理由は特にない

問4 貴施設の感染症を専門とした職員をすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

1. 感染症専門医
2. 感染症看護専門看護師・感染管理認定看護師
3. その他(具体的に:)
4. 感染症専門はいない

問5 先生は貴施設の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関わる感染症対策の教育・指導を受けましたか。

(回答はひとつ)

1. 受けた
2. 受けていない

(「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関わる感染症対策の教育・指導を受けた」と回答した施設に伺います。)

問6 先生が受けた新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関わる感染症対策の教育・指導は、どなたから受けましたか。該当するものをすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

貴施設内の職員

1. 感染症専門医
2. その他の医師
3. 感染症看護専門看護師・感染管理認定看護師
4. その他(具体的に:)

貴施設外

5. 感染症専門医
6. その他の医師
7. 感染症看護専門看護師・感染管理認定看護師
8. その他(具体的に:)

問7 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関わる感染対策や最新の知見について、どのように情報を収集しましたか。あてはまるものをすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

1. 感染症専門医や感染症看護専門看護師・感染管理認定看護師から提供される情報
2. 行政からの事務連絡
3. 学会や職能団体等のガイドライン
4. 国立感染症研究所の指針
5. その他(具体的に:)
6. 情報収集はしていない

問 8 貴施設の感染症対策について、貴施設外で相談しましたか。あてはまるものをすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

1. 外部の感染症専門医や感染管理認定看護師・感染症看護専門看護師
2. 保健所
3. 地区医師会
4. 在宅医療関連団体
5. 他の医療機関の専門家
6. その他(具体的に: _____)
7. 貴施設内で解決できた(貴施設外に相談したことはなかった)

問9 地域の在宅医療・介護関係機関が統一した感染対策を行えるようマニュアルを整備・運用しましたか。

(回答はひとつ)

1. はい
2. いいえ

(「マニュアルを整備・運用した」と回答した施設に伺います。)

問10 マニュアル等は、どのように作成しましたか。最もあてはまるものをひとつお答えください。

(回答はひとつ)

1. 貴施設職員が主体的に作成した
2. 地域の関係者で共同作成した
3. 学会や職能団体等のガイドライン、国立感染症研究所の指針などを共有した
4. その他(具体的に: _____)

問11 令和2年1月以前より、地域における在宅医療・介護関係者間で、感染症対策にかかる研修会など統一した感染対策を行うための学習・共有の機会がありましたか。

(回答はひとつ)

1. はい
2. いいえ

問12 貴施設は他の在宅医療・介護関係機関に対し感染症対策について助言・指導を行いましたか。

(回答はひとつ)

1. はい
2. いいえ

問13 令和2年1～10月の間で在宅医療を担当する職員で、予定外の人材確保が必要となったことがありましたか。

(回答はひとつ)

1. はい
2. いいえ

(「予定外の人材確保が必要となったことがある」と回答した施設に伺います。)

問14 予定外の人材確保が必要となった理由として、当てはまるものをすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

1. 職員に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染者・濃厚接触者が発生したため
2. 職員で急な退職者が発生したため
3. 患者数が急に増加したため
4. 1人当たりの訪問診療にかかる時間が長くなり、より多くの人材が必要となったため
5. 保育所等の休園に伴い職員の出勤が困難となったため
6. 事務作業が増加したため
7. その他(具体的に:)

(「予定外の人材確保が必要となったことがある」と回答した施設に伺います。)

問15 予定外の人材確保を必要とした職種をすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

1. 医師
2. 看護職員
3. 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士
4. 事務職員
5. その他(具体的に:)

問16 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大によって、どのようなことが負担になりましたか。主なものを3つまでお答えください。

（回答は3つまで）

1. 感染防護対策
2. 患者・家族等とのコミュニケーション
3. 職員の罹患や濃厚接触等によるシフト変更
4. 保育所等の休園に伴う職員の出勤困難
5. 事務作業の増加
6. 訪問前の電話等による患者の状態確認及び訪問順の調整
7. 離職を希望する職員の増加
- （該当する職種： ）
8. その他（具体的に： ）
9. 特に負担になることはなかった

質問は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた、 地域における医療提供体制の強化のための研究

訪問看護ステーション分野別調査票

＜ご回答される訪問看護ステーションのご担当者さま＞

- 各都道府県における医療提供体制の確保を図るため、5 疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神疾患）・5 事業（救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療）＋在宅医療に係る指標の見直し、疾病・事業横断的な医療提供体制の構築等が盛り込まれた各都道府県の二次医療圏単位の医療計画が策定されています。医療計画については、平時、および今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のような感染症の流行下においても対応できる計画であることが期待されています。
- 一方で、今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行により、各地域で医療需要が増大する等、地域の医療提供体制に様々な影響がありました。今後も同様の状況が起こりうることが予想され、感染症の流行に地域で適切に対応することが必要です。
- そこで本厚生労働科学研究班は、5 事業（救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療）＋在宅医療における今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による影響を明らかにし、感染症の流行等における効率的な医療提供体制の方法を検討することを目的としています。
- 本調査のデータは、医療施設が識別される形で集計を行うことはありません。調査結果は、施設・個人が識別されない形にした上で、関係する国の検討会等に報告するとともに、学会発表、論文、研究報告書等として公表する予定です。なお、本研究は、千葉大学の倫理委員会の審査・承認を得て実施しています（承認日令和2年11月19日：承認番号3926）。
- 本調査結果は、国の検討会にも報告することを予定しており、今後の医療計画や医療提供体制の在り方について検討する上で資料として活用されることが期待されております。このような調査の趣旨を踏まえ、回答者様におかれましては、お忙しい中恐縮ですが、ぜひ、調査にご協力いただきますようお願いいたします。
- 本調査は、12月28日（月）までにご回答ください。

お問い合わせ先（「新型コロナウイルス感染症による医療計画への影響に係る調査」事務局）
メールアドレス：toiawase-kaken2020@intage.com
フリーダイヤル：0120-856-780
（受付時間：祝日を除く月～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00）

令和2年度厚生労働行政推進調査事業費補助金

（厚生労働科学特別研究事業）

特に断りのない場合は、令和2年11月1日現在の状況をお答えください。

◎貴施設についてお伺いします。貴施設について回答できる管理者の方等がご回答くださいますようお願いいたします。

問1 貴訪問看護ステーションの開設主体をお答えください。
(回答はひとつ)

1. 都道府県・市区町村・地方独立行政法人・広域連合・一部事務組合
2. 日本赤十字社・社会保険関係団体
3. 医療法人
4. 医師会
5. 看護協会
6. 社団・財団法人(医師会・看護協会は含まない)
7. 社会福祉法人(社会福祉協議会含む)
8. 農業協同組合及び連合会
9. 消費生活協同組合及び連合会
10. 営利法人(株式・合名・合資・有限会社)
11. 特定非営利活動法人(NPO)
12. その他(具体的に: _____)

問2 貴訪問看護ステーションの(実人数/常勤換算)について以下の質問にお答えください。

	職員数	
	実人数	常勤換算
看護師・保健師・助産師	人	
准看護師	人	
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士	人	
その他の職員	人	

※1. 非常勤職員の「常勤換算」は以下の方法で計算し、小数点第1位(小数点第2位を四捨五入)までご記入ください。

■ 1週間に数回勤務の場合: (非常勤職員の1週間の勤務時間) ÷ (貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間)

■ 1カ月に数回勤務の場合: (非常勤職員の1カ月の勤務時間) ÷ (貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間 × 4)

問 3 貴訪問看護ステーションの以下の届出区分について、あてはまるものをお答えください。

<p>問3_1</p> <p>看護体制強化加算の届出状況</p> <p>【介護保険】</p> <p>回答はいくつでも</p>	<p>1. (訪問看護事業所) 看護体制強化加算(Ⅰ)</p> <p>2. (訪問看護事業所) 看護体制強化加算(Ⅱ)</p> <p>3. (介護予防訪問看護事業所) 看護体制強化加算</p> <p>4. 届出なし</p>
<p>問3_2</p> <p>機能強化型訪問看護療養費にかかる届出状況</p> <p>【医療保険】</p> <p>回答は1つ</p>	<p>1. 機能強化型訪問看護管理療養費1</p> <p>2. 機能強化型訪問看護管理療養費2</p> <p>3. 機能強化型訪問看護管理療養費3</p> <p>4. 届出なし</p>
<p>問3_3</p> <p>ターミナルケア加算の届出状況</p> <p>【介護保険】</p> <p>回答は1つ</p>	<p>1. 届出なし</p> <p>2. 届出あり</p>
<p>問3_4</p> <p>訪問看護ターミナルケア療養費の届出状況</p> <p>【医療保険】</p> <p>回答は1つ</p>	<p>1. 訪問看護ターミナルケア療養費1</p> <p>2. 訪問看護ターミナルケア療養費2</p> <p>3. なし</p>
<p>問3_5</p> <p>緊急時訪問看護加算の届出状況</p> <p>【介護保険】</p> <p>回答は1つ</p>	<p>1. 届出なし</p> <p>2. 届出あり</p>
<p>問3_6</p> <p>24時間対応体制加算の届出状況</p> <p>【医療保険】</p> <p>回答は1つ</p>	<p>1. 届出なし</p> <p>2. 届出あり</p>
<p>問3_7</p> <p>特別管理加算の届出状況</p> <p>【医療保険】</p> <p>回答は1つ</p>	<p>1. 届出なし</p> <p>2. 届出あり</p>
<p>問3_8</p> <p>特別管理加算の届出状況</p> <p>【介護保険】</p> <p>回答は1つ</p>	<p>1. 届出なし</p> <p>2. 届出あり</p>

（「緊急時訪問看護加算の届出あり」と回答した施設に伺います。）

問 4 令和 2 年及び平成 31 年～令和元年の 2 月・5 月・8 月における緊急時訪問看護加算の算定件数をお答えください。

緊急時訪問看護加算の算定件数	2 月	5 月	8 月
令和 2 年	件	件	件
平成 31 年・令和元年	件	件	件

（「24 時間対応体制加算の届出あり」と回答した施設に伺います。）

問 5 令和 2 年及び平成 31 年～令和元年の 2 月・5 月・8 月における24 時間対応体制加算の算定件数をお答えください。

24 時間対応体制加算の算定件数	2 月	5 月	8 月
令和 2 年	件	件	件
平成 31 年・令和元年	件	件	件

問 6 令和 2 年の 2 月・5 月・8 月に訪問看護を行った利用者についてお答えください。

令和 2 年		2 月	5 月	8 月
訪問看護を行った利用者実数(医療保険と介護保険の合計)		人	人	人
	うち訪問看護を行った新規利用者実数	人	人	人
	うち電話等による訪問看護を行った※利用者実数		人	人
	うち、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者であった利用者実数	人	人	人

※ 算定の有無は問わず、電話等による訪問看護について訪問看護管理療養費(医療保険)や 20 分未満の訪問看護費(介護保険)の算定要件に合致する状態の利用者について、ご回答ください。

問 7 平成 31 年 2 月・令和元年の 5 月・8 月に訪問看護を行った利用者についてお答えください。

平成 31 年・令和元年		2 月	5 月	8 月
訪問看護を行った利用者実数(医療保険と介護保険の合計)		人	人	人
	うち訪問看護を行った新規利用者実数	人	人	人

問 8 令和 2 年 4～10 月に、電話等による訪問看護を行った場合に訪問看護管理療養費(医療保険)や 20 分未満の訪問看護費(介護保険)を算定しましたか。

(回答はひとつ)

1. 算定した
2. 算定していない

（「訪問看護管理療養費（医療保険）や 20 分未満の訪問看護費（介護保険）を算定していない」と回答した施設に伺います。）

問 9 電話等による訪問看護を行った場合に訪問看護管理療養費（医療保険）や 20 分未満の訪問看護費（介護保険）を算定しなかった理由をお答えください。

（回答はいくつでも）

1. 適応可能な利用者がいないから
2. 適切な対応方法がわからないから
3. ICT機器や電話などの数が十分でないから
4. 利用者側の同意が得られないから
5. その他（具体的に： _____）

問 10 令和 2 年 1～10 月に、新規利用者のうち、在宅医療に移行した（訪問看護を導入した）理由として増えているものを 3 つまで お答えください。

（回答は 3 つまで）

1. 通院していたが、待合室等での感染リスクがあると考え訪問看護を希望したため
2. 通院していたが、通院介助者が感染リスクを恐れて通院の介助ができなくなったため
3. 通院していたが、外出自粛によりフレイルが進行し、通院困難となったため
4. 入院していたが、感染リスクがあると考えて退院を希望したため
5. 入院していたが、看取りに向けて在宅での療養を希望したため
6. 入院していたが、医療機関に退院を促されたため
7. 入所施設が新規の受け入れを中断しており、在宅療養を行うしかなかったため
8. その他（具体的に： _____）
9. 増えている理由は特にない

問 11 貴施設は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関わる感染症対策の教育・指導を受けましたか。

（回答はひとつ）

1. 受けた
2. 受けていない

（「新型コロナウイルス感染症（COVID - 19）に関わる感染症対策の教育・指導を受けた」と回答した施設に伺います。）

問 1 2 あなたが受けた新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関わる感染症対策の教育・指導は、どなたから受けましたか。あてはまるものをすべてお答えください。

（回答はいくつでも）

貴施設の職員

1. 感染症看護専門看護師または感染管理認定看護師

2. その他（具体的に：

）

施設外の職員

4. 感染症専門医

5. その他の医師

6. 感染症看護専門看護師または感染管理認定看護師

7. その他（具体的に：

）

問 1 3 貴施設の職員で感染症を専門とする研修等を受講された職員をすべてお答えください。

（回答はいくつでも）

1. 感染症看護専門看護師

2. 感染管理認定看護師

3. その他（具体的に：

）

4. 研修を受けた職員はいない

問 1 4 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関わる感染対策や最新の知見について、どのように情報を収集しましたか。あてはまるものをすべてお答えください。

（回答はいくつでも）

1. 感染症専門医や感染症看護専門看護師・感染管理認定看護師から提供される情報

2. 行政からの事務連絡

3. 学会や職能団体等のガイドライン

4. 国立感染症研究所の指針

5. その他（具体的に：

）

6. 情報収集はしていない

問15 貴施設の感染症対策について、どこに相談しましたか。あてはまるものをすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

1. 外部の感染症専門医や感染管理認定看護師・感染症看護専門看護師
2. 保健所
3. 地区医師会
4. 地区の訪問看護連絡協議会など訪問看護団体
5. 在宅医療関連団体
6. 他の医療機関の専門家
7. その他(具体的に:)
8. 貴施設内で解決できた(相談したことはなかった)

問16 貴施設は他の訪問看護ステーションや訪問介護事業所等に対し感染症対策について助言・指導を行いましたか。

(回答はひとつ)

1. はい
2. いいえ

問17 地域の在宅医療・介護関係機関が統一した感染対策を行えるようマニュアル等を策定・運用しましたか。

(回答はひとつ)

1. はい
2. いいえ

(「マニュアル等を策定・運用した」と回答した施設に伺います)

問18 マニュアル等は、どのように作成しましたか。最もあてはまるものをひとつお答えください。

(回答はひとつ)

1. 貴施設職員が主体的に作成
2. 地域の関係者で共同作成した
3. 学会や職能団体等のガイドライン、国立感染症研究所の指針などを共有した
4. その他(具体的に:)

問19 令和2年1月以前より、地域における在宅医療・介護関係者間で、感染症対策にかかる研修会など統一した感染対策を行うための学習・共有の機会がありましたか。

(回答はひとつ)

1. はい
2. いいえ

問20 令和2年1～10月の間で予定外の人材確保が必要となったことがありましたか。

(回答はひとつ)

1. はい
2. いいえ

(「予定外の人材確保が必要となったことがある」と回答した施設に伺います。)

問21 予定外の人材確保が必要となった理由として、当てはまるものをすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

1. 職員に新型コロナウイルスの感染者・濃厚接触者が発生したため
2. 職員で急な退職者が発生したため
3. 利用者数が急に増加したため
4. 1人当たりの訪問時間が長くなり、より多くの人材が必要となったため
5. 保育所等の休園に伴い職員の出勤が困難となったため
6. 事務作業が増加したため
7. その他(具体的に:)

(「予定外の人材確保が必要となったことがある」と回答した施設に伺います。)

問22 予定外の人材確保を必要とした職種をすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

1. 看護職員
2. 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士
3. 事務職員
4. その他(具体的に:)

問23 個人防護具(PPE)は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行前から備蓄していましたが、また、備蓄していた施設では何日分の備蓄をしていたかについてもお答えください。

(回答はひとつ)

1. していた (約 日分)
2. していなかった

問24 個人防護具（PPE）をどのように入手しましたか。

（回答はいくつでも）

1. 国や都道府県からの配布
2. 寄付
3. 通常と同じ業者からの購入
4. 通常とは異なる業者からの購入
5. 同一法人内で在庫の融通をした
6. 地域の他の医療機関等からの支援
7. その他（具体的に： _____）

問25 令和2年1月以前から、災害時等の非常時に備えて事業継続計画（BCP）を策定していましたか。

（回答はひとつ）

1. はい
2. いいえ

（「令和2年1月以前から、事業継続計画（BCP）を策定していた」と回答した施設に伺います。）

問26 災害時等の非常時に備えて策定した事業継続計画（BCP）について、以下の質問にお答えください。

（回答はひとつ）

事業継続計画(BCP)に地域の関係医療機関や訪問看護ステーション等との連携を踏まえた内容が含まれていますか	1.はい 2.いいえ
事業継続計画(BCP)に物資の流通業者や医療機器メーカーとの調整や事前の取り決め等が含まれていますか	1.はい 2.いいえ
事業継続計画(BCP)にパンデミックを踏まえた内容が含まれていますか	1.はい 2.いいえ

問27 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）を踏まえて、パンデミックに備えた事業継続計画（BCP）を策定しましたか。

（回答はひとつ）

1. はい
2. いいえ

問28 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大によって、どのようなことが負担になりましたか。主なものを3つまでお答えください。

（回答は3つまで）

1. 感染防護対策
2. 利用者・家族等とのコミュニケーション
3. 職員の罹患や濃厚接触等によるシフト変更
4. 保育所等の休園に伴う職員の出勤困難
5. 事務作業の増加
6. 訪問前の電話等による利用者の状態確認及び訪問順の調整
7. 離職を希望する職員の増加

（該当する職種： ）

8. その他（具体的に： ）

9. 特に負担になることはなかった

問29 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大によって、ターミナルケアの件数はどのように変化しましたか。

※ターミナルケア加算や訪問看護ターミナルケア療養費を算定された利用者だけではなく、加算は算定されなかったが算定要件に合致するような利用者も含めご回答ください。

（回答はひとつ）

1. 増加した
2. 変わらない
3. 減少した

（「ターミナルケアの件数が増加した」または「減少した」と回答した施設に伺います。）

問30 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大によって、ターミナルケアの件数が変化した理由として最もあてはまるものをひとつお答えください。

（回答はひとつ）

1. 現在入院・入所中の医療機関・介護施設からの依頼
2. 利用者本人からの希望
3. 利用者家族からの希望
4. その他（具体的に： ）

質問は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた、 地域における医療提供体制の強化のための研究

居宅介護支援事業所分野別調査票

＜ご回答される居宅介護支援事業所のご担当者さま＞

- 各都道府県における医療提供体制の確保を図るため、5 疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神疾患）・5 事業（救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療）＋在宅医療に係る指標の見直し、疾病・事業横断的な医療提供体制の構築等が盛り込まれた各都道府県の二次医療圏単位の医療計画が策定されています。医療計画については、平時、および今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のような感染症の流行下においても対応できる計画であることが期待されています。
- 一方で、今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行により、各地域で医療需要が増大する等、地域の医療提供体制に様々な影響がありました。今後も同様の状況が起こりうることが予想され、感染症の流行に地域で適切に対応することが必要です。
- そこで本厚生労働科学研究班は、5 事業（救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療）＋在宅医療における今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による影響を明らかにし、感染症の流行等における効率的な医療提供体制の方法を検討することを目的としています。
- 本調査のデータは、医療施設が識別される形で集計を行うことはありません。調査結果は、施設・個人が識別されない形にした上で、関係する国の検討会等に報告するとともに、学会発表、論文、研究報告書等として公表する予定です。なお、本研究は、千葉大学の倫理委員会の審査・承認を得て実施しています（承認日令和2年11月19日：承認番号3926）。
- 本調査結果は、国の検討会にも報告することを予定しており、今後の医療計画や医療提供体制の在り方について検討する上で資料として活用されることが期待されています。このような調査の趣旨を踏まえ、回答者様におかれましては、お忙しい中恐縮ですが、ぜひ、調査にご協力いただきますようお願いいたします。
- 本調査は、12月28日（月）までにご回答ください。

お問い合わせ先（「新型コロナウイルス感染症による医療計画への影響に係る調査」事務局）
メールアドレス：toiawase-kaken2020@intage.com
フリーダイヤル：0120-856-780
（受付時間：祝日を除く月～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00）

令和 2 年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金
（厚生労働科学特別研究事業）

特に断りのない場合は、令和2年11月1日現在の状況をお答えください。

◎貴事業所についてお伺いします。貴事業所について、回答可能な管理者等がご回答くださいますようお願いいたします。

問1 貴施設の開設主体をお答えください。

(回答はひとつ)

1. 都道府県・市区町村・広域連合・一部事務組合
2. 社会福祉協議会
3. 社会福祉法人(社協以外)
4. 医療法人
5. 社団・財団法人
6. 協同組合及び連合会
7. 営利法人(株式・合名・合資・合同・有限会社)
8. 特定非営利活動法人(NPO)
9. その他の法人
10. その他()

問2 貴施設の職員数(実人数/常勤換算※)について以下の質問にお答えください。

		職員数	
		実人数	常勤換算数
介護支援専門員		人	人
	うち、主任介護支援専門員	人	人
	うち、その他の職員(管理者含む)	人	人

※. 非常勤職員の「常勤換算」は以下の方法で計算し、小数点第1位(小数点第2位を四捨五入)までご記入ください。

■ 1週間に数回勤務の場合: (非常勤職員の1週間の勤務時間) ÷ (貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間)

■ 1カ月に数回勤務の場合: (非常勤職員の1カ月の勤務時間) ÷ (貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間 × 4)

問3 貴施設の特定事業所加算の届出状況について、あてはまるものをお答えください。
(回答はひとつ)

- 1.特定事業所加算(Ⅰ)
- 2.特定事業所加算(Ⅱ)
- 3.特定事業所加算(Ⅲ)
- 4.特定事業所加算(Ⅳ)
- 5.届出なし

問4 令和2年2月・5月・8月の利用者についてお答えください(実数)。

	令和2年2月	令和2年5月	令和2年8月
要支援1・2(全利用者数)	人	人	人
うち、新規利用者数	人	人	人
要介護1・2(全利用者数)	人	人	人
うち、新規利用者数	人	人	人
要介護3～5(全利用者数)	人	人	人
うち、新規利用者数	人	人	人

	令和2年2月	令和2年5月	令和2年8月
要支援1・2要介護1～5(全利用者数)	自動計算	自動計算	自動計算
訪問診療を行っている利用者数	人	人	人
うち、新規利用者数	人	人	人
訪問看護を計画に取り入れている利用者数	人	人	人
うち、新規利用者数	人	人	人
訪問リハビリテーションを計画に取り入れている利用者数	人	人	人
うち、新規利用者数	人	人	人
医師が行う居宅療養管理指導を計画に取り入れている利用者数	人	人	人
うち、新規利用者数	人	人	人
薬剤師が行う居宅療養管理指導を計画に取り入れている利用者数	人	人	人
うち、新規利用者数	人	人	人
管理栄養士が行う居宅療養管理指導を計画に取り入れている利用者数	人	人	人
うち、新規利用者数	人	人	人

問5 平成31年2月・令和元年5月・8月の利用者についてお答えください（実数）。

	平成31年2月	令和元年5月	令和元年8月
要支援1・2(全利用者)	人	人	人
うち、新規利用者	人	人	人
要介護1・2(全利用者数)	人	人	人
うち、新規利用者数	人	人	人
要介護3～5(全利用者数)	人	人	人
うち、新規利用者数	人	人	人

	平成31年2月	令和元年5月	令和元年8月
要支援1・2要介護1～5(全利用者数)	自動計算	自動計算	自動計算
訪問診療を行っている利用者数	人	人	人
うち、新規利用者数	人	人	人
訪問看護を計画に取り入れている利用者数	人	人	人
うち、新規利用者数	人	人	人
訪問リハビリテーションを計画に取り入れている利用者数	人	人	人
うち、新規利用者数	人	人	人
医師が行う居宅療養管理指導を計画に取り入れている利用者数	人	人	人
うち、新規利用者数	人	人	人
薬剤師が行う居宅療養管理指導を計画に取り入れている利用者数	人	人	人
うち、新規利用者数	人	人	人
管理栄養士が行う居宅療養管理指導を計画に取り入れている利用者数	人	人	人
うち、新規利用者数	人	人	人

問6 令和2年1～10月に、新規利用者のうち、在宅医療に移行した理由として増えているものを3つまでお答えください。

(回答は3つまで)

1. 通院していたが、待合室等での感染リスクがあると考え訪問診療・訪問看護を希望したため
2. 通院していたが、通院介助者が感染リスクを恐れて通院の介助ができなくなったため
3. 通院していたが、外出自粛によりフレイルが進行し、通院困難となったため
4. 入院していたが、看取りに向けて在宅での療養を希望したため
5. 入院していたが、感染リスクがあると考えて退院を希望したため
6. 入院していたが、医療機関に退院を促されたため
7. 入所施設が新規の受け入れを中断しており、在宅療養を行うしかなかったため
8. その他(具体的に:)
9. 増えている理由は特にない

問7 貴施設は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関わる感染症対策の教育・指導を受けましたか。

(回答はひとつ)

1. 受けた
2. 受けていない

(「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関わる感染症対策の教育・指導を受けた」と回答した施設に伺います。)

問8 あなたが受けた新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関わる感染症対策の教育・指導は、どなたから受けましたか。あてはまるものをすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

1. 感染症専門医
2. その他の医師
3. 感染症看護専門看護師または感染管理認定看護師
4. その他(具体的に:)

問9 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関わる感染対策や最新の知見について、どのように情報を収集しましたか。あてはまるものをすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

1. 感染症専門医や感染症看護専門看護師・感染管理認定看護師から提供される情報
2. 行政からの事務連絡
3. 学会や職能団体等のガイドライン
4. 国立感染症研究所の指針
5. その他(具体的に:)
6. 情報収集はしていない

問10 貴施設は感染症対策について、どこに相談しましたか。あてはまるものをすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

1. 外部の感染症専門医や感染管理認定看護師・感染症看護専門看護師
2. 保健所
3. 地区医師会
4. 在宅医療関連団体
5. 他の医療機関の専門家
6. その他(具体的に:)
7. 貴施設内で解決できた(相談したことはなかった)

問11 地域の在宅医療・介護関係機関が統一した感染対策を行えるようマニュアル等を整備・運用しましたか。

(回答はひとつ)

1. はい
2. いいえ

(「マニュアル等を整備・運用した」と回答した施設に伺います)

問12 マニュアル等は、どのように作成しましたか。最もあてはまるものをひとつお答えください。

(回答はひとつ)

1. 地域の関係者で共同作成した
2. 学会や職能団体等のガイドライン、国立感染症研究所の指針などを共有した
3. その他(具体的に:)

問13 令和2年1月以前より、地域における在宅医療・介護関係者間で、感染症対策にかかる研修会など統一した感染対策を行うための学習・共有の機会がありましたか。

(回答はひとつ)

1. はい
2. いいえ

問14 令和2年1～10月の間で予定外の人材確保が必要となったことがありましたか。

(回答はひとつ)

1. はい
2. いいえ

(「予定外の人材確保が必要となった」と回答した施設に伺います)

問15 予定外の人材確保が必要となった理由として、当てはまるものをすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

1. 職員に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染者・濃厚接触者が発生したため
2. 職員で急な退職者が発生したため
3. 利用者数が急に増加したため
4. 1人当たりの対応時間が長くなり、より多くの人材が必要となったため
5. 保育所等の休園に伴い職員の出勤が困難となったため
6. 事務作業が増加したため
7. その他(具体的に: _____)

問16 個人防護具(PPE)は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行前から備蓄していませんか。また、備蓄していた施設では何日分の備蓄をしていたかについてもお答えください。

(回答はひとつ)

1. していた (約 _____ 日分)
2. していなかった

問17 令和2年1月以前より、災害時等の非常時に備えて事業継続計画(BCP)を策定していましたか。

(回答はひとつ)

1. はい
2. いいえ

(「事業継続計画(BCP)を策定した」と回答した施設に伺います)

問18 災害時等の非常時に備えて作成した事業継続計画(BCP)に、地域の関係医療機関や訪問看護ステーション等との連携を踏まえた内容が含まれていますか。

(回答はひとつ)

1. はい
2. いいえ

問19 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大によって、どのようなことが負担になりましたか。主なものを3つまでお答えください。

（回答は3つまで）

1. 感染防護対策
2. 利用者・家族等とのコミュニケーション
3. 職員の罹患や濃厚接触等によるシフト変更
4. 保育所等の休園に伴う職員の出勤困難
5. 事務作業の増加
6. 訪問前の電話等による利用者の状態確認及び訪問順の調整
7. 離職を希望する職員の増加
- （具体的な職種： ）
8. その他（具体的に： ）
9. 特に負担になることはなかった

問20 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大によって、ターミナルケアを行った件数はどのように変化しましたか。

※ターミナルケアマネジメント加算を算定された利用者だけではなく、加算は算定されなかったが算定要件に合致するような状態の利用者についてご回答ください。

（回答はひとつ）

1. 増加した
2. 変わらない
3. 減少した

（「ターミナルケアを行った件数が増加した」または「減少した」と回答した施設に伺います。）

問21 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大によって、ターミナルケアを行った件数が変化した理由として最もあてはまるものについてお答えください。

（回答はひとつ）

1. 現在入院・入所中の医療機関・介護施設からの依頼
2. 利用者本人からの希望
3. 利用者家族等からの希望
4. その他（具体的に： ）

質問は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。